

仕様書

(別紙 1 - 1) 業務仕様書

(別紙 1 - 2) 個別仕様書

業務仕様書

1	各施設の維持管理業務(共通事項)	1 ~ 2 ページ
2	国際会議場、展示場の管理、運営	3 ~ 6 ページ
3	産業振興センターの管理、運営	7 ページ
4	観光情報センター(かがわプラザ)の管理、運営	8 ~ 9 ページ
5	多目的広場の管理、運営	10 ~ 13 ページ
6	地下駐車場の管理、運営	14 ~ 24 ページ
7	高松駅前広場地下自転車駐車場の管理、運営	25 ~ 28 ページ
8	玉藻地区ハーバープロムナード第 1 駐車場	29 ~ 36 ページ
	港湾緑地第 2 駐車場、港湾緑地第 3 駐車場 キャッスルプロムナード駐車場の管理、運営	
9	高松駅南交通広場駐車場	37 ~ 43 ページ
	【参考資料】	44 ~ 47 ページ

1 各施設の維持管理業務（共通事項）

（１）施設の維持管理に関すること

① 設備保守点検業務等

次の項目に関する業務を行う。

業 務 名	国 際 会 議 場 展 示 場 産業振興センター 観光情報センター シンボルタワー地下駐車場 (パスポートセンター) (情報通信交流館) (かがわ DXLab)	多 目 的 広 場 地 下 駐 車 場 高 松 駅 前 広 場 地 下 駐 車 場 高 松 駅 前 広 場 地下自転車駐車場	多 目 的 広 場	玉藻地区ハーバー プロムナード第1 駐車場 港湾緑地第2、第 3駐車場 キャッスルプロム ナード駐車場 高松駅南交通広場 駐車場
設 備 点 検 業 務	※電 気 設 備 ※給 排 水 設 備 ※環 境 衛 生 設 備 ※空 調 設 備 ※防 災 設 備 ※昇 降 機 設 備 駐車管制設備 映像音響設備等 展 示 設 備	電 気 設 備 給 排 水 設 備 環 境 衛 生 設 備 空 調 設 備 防 災 設 備 昇 降 機 設 備 駐車管制設備	電 気 設 備 給 排 水 設 備 環 境 衛 生 設 備 防 災 設 備 水 景 設 備	駐車管制設備
保 安 警 備 業 務	※機 械 警 備 業 務 ※人 的 警 備 業 務 (再委託分) 人 的 警 備	機 械 警 備 業 務 人 的 警 備 業 務 (再委託分) 人 的 警 備	機 械 警 備 業 務 人 的 警 備	
清 掃 業 務	※日 常 清 掃 ※定 期 清 掃	日 常 清 掃 定 期 清 掃	日 常 清 掃	日 常 清 掃 定 期 清 掃
廃棄物搬出業務	※廃 棄 物 搬 出	廃 棄 物 搬 出		
管球類管理業務	※管 球 類 管 理	管 球 類 管 理	管 球 類 管 理	管 球 類 管 理
植 栽 管 理 業 務	—		植 栽 管 理	

注 ア) 網掛け部分の業務については、現在、高松シンボルタワーの防災センターとの関係、同防犯、防災の関係及び業務の重複や漏れを避けるとともに効率的な業務遂行により経費の削減を図る観点から、高松シンボルタワーの建物全体を一元的に管理することとして、高松シンボルタワー管理協議会（管理者：シンボルタワー開発（株））において委託業者を一括選定（競争入札）し、決定した業者とその入札金額で現指定管理者のシンボルタワー開発（株）において契約しています。

当該部分の業務については、指定管理者の業務に含まれますが、上記の内容を踏まえ、令和8年度以降も、このシステムを継続するものとします。高松シンボルタワー管理協議会において委託業者を一括選定し、決定した業者とその入札金額で契約していただくことを、予めご承知おきください。なお、この部分の契約金額については、管理経費に含めて、支払い

します。(今回提出していただく収支計画書の内容に当該経費を含める必要はありません。当該業務については、現在の業務内容にて、決定した業者とその入札金額で契約していただくことになりますが、他の部分と同様に、指定管理者の業務部分となります。)

詳細については、県及び市と指定管理者で協議します。

イ) ※印の業務については、今回指定管理をお願いする施設以外に高松シンボルタワー内県有施設であるパスポートセンター、情報通信交流館、かがわ DXLab、その他県有施設内の共用部についても管理の範囲に含みます。

②修繕業務

各施設の簡易な修繕(小規模な修繕)を行う。簡易な修繕(小規模な修繕)を除き、設備機器等の修繕を行う必要があるときは、県及び市と協議する。

③管理協議会の窓口対応業務

高松シンボルタワー内の県専有施設及び県、市のシンボルタワー地下駐車場に係る水道光熱費、廃棄物搬出処理費等については、シンボルタワー管理協議会(管理者:シンボルタワー開発(株))からの請求に基づき、納付してください。

ただし、電気代については、かがわ DXLab 使用部分(タワー棟3階)は含み、情報通信交流館(タワー棟4、5階)、産業振興センター入居者(タワー棟7階)及び観光情報センター内の(一社)四国ツーリズム創造機構使用部分(タワー棟3階)を除きます。

(2) 施設の利用の承認及び使用料等の収納事務に関すること

国際会議場、展示場、多目的広場を利用する者に対する利用の承認、追加、取消し等を行っていただきます。

又、駐車場、自転車駐車場に係る使用料を収納し、県及び市に納入していただきます。利用料金制度を活用して管理・運営していただく国際会議場、展示場、多目的広場の3施設の利用料金は指定管理者の収入とします。

※利用料金制度とは

公の施設の使用料を指定管理者の収入とし、それをもって運営のための人件費、営業活動費等を賄い、必要経費を超える収入については、指定管理者の収益となる制度です。利用料金制度が効果をあげるためには、施設利用者を増加させる必要があります。そのために指定管理者は、イベントのノウハウや創意工夫を最大限に発揮して、誘致活動やサービスの提供等に取り組んでいただくことになります。

(3) 施設の運営に関すること

施設の運営については、本仕様書の記載によるほか、添付の「利用の手引き」を参考にしてください。

(4) その他

①案内等に関すること

ア) 利用の手引き、パンフレット、リーフレット、案内図、料金一覧等を作成し、適宜更新すること。

イ) 交流拠点施設等のホームページを作成し、適宜更新すること。

②シンボルタワー県有施設の管理に関すること

ア) 空調の管理

イ) 非常用呼び出しの対応

ウ) 施設の鍵の管理及び貸出し等

2 国際会議場、展示場の管理

(1) 国際会議場、展示場の概要

管理を行う施設の概要は【別紙2-2】利用の手引きのとおり。

(2) 維持管理業務

①施錠業務（鍵の管理及び保管）

②保安業務

- ・各フロアー巡回 各施設開催時に巡回
- ・施設維持管理業務 照明器具や消耗品等の補充業務・パンフレット等の補充業務
- ・記録報告業務 日報・月報の作成等

③その他

- ・国際会議場施設協議会への参加
- ・封筒・用紙等の増刷印刷
- ・施設利用者からの苦情等処理 など

(3) 利用承認、運営業務

①受付・窓口等での問合せ・申込受付時の説明内容

ア) 利用の申込についての説明

- ・使用日及び使用時間
- ・申込受付開始日
- ・申込方法
- ・利用の制限

イ) 利用の承認についての説明

ウ) 利用権の譲渡・転貸についての説明

エ) 利用料金について

- ・会場使用料
- ・設備等使用料
- ・利用料金の支払い
- ・利用料金の還付

オ) 利用の追加・中止及び一部中止について

- ・利用の追加・中止及び一部中止の届出
- ・利用の追加・中止及び一部中止による使用料の取扱い

カ) 利用の承認の取消について

キ) 利用者の責務について

- ・防犯、防災、衛生等安全管理
- ・設備機器等の持込
- ・特別警備等
- ・設備等の損害報告
- ・原状回復の義務
- ・物品販売等
- ・官公庁への届出等
- ・指定管理者等の立入り

ク) 損害賠償及び免責について

ケ) 施設使用の打合せについて

コ) 飲食について

サ) その他貸館業務に必要な説明

②電話での対応について

ア) 施設の概要や使用料の簡易な内容について説明

- ・利用の手引き・パンフレットによる説明

イ) 相手方が利用を希望する場合は、利用計画（催物・イベントの内容）の確認及び打合せ記録簿の作成

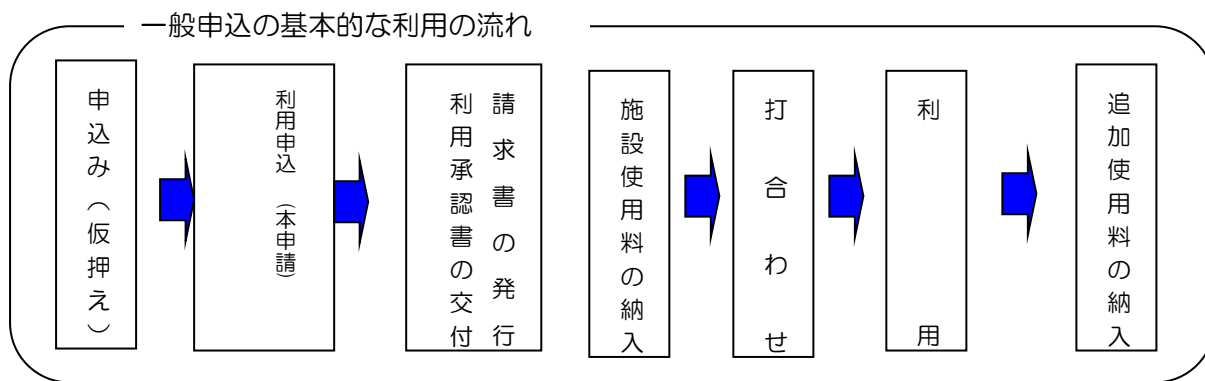
聞取り・記録内容

- ・申込者：会社名・担当者名・連絡先（住所・電話 FAX 番号）
- ・催物内容：催物名・催物内容・入場予定人員・開催日時

ウ) 利用可能かどうかの判断後、仮押え又は利用申込書の提出指示

エ) パンフレット等の送付希望の確認

③予約等の事務処理方法



ア) 申込開始時期(仮押さえ及び本申請)

①一般申込	利用開始日の2年前の月の初日から
②一般申込 ビジネスルームの単独利用	利用開始日の1ヶ月前から
③優先申込 ・国際会議関連 ・県主催の特別な催事 ・その他、県と当施設が協議の上、特別に認めたもの。	随時

イ) 申込み(仮押え)の対応

- ・持参、E-mail 又はFAXで受付可能
- ・重複して予約を受けることがないように、申し込み状況は施設管理データ及び台帳で、正確に管理すること。
- ・同一日の複数団体利用は午前利用と夜間利用の組み合わせを可能とする。

ウ) 本申請期限

- ・一般申込は利用日の6か月前、優先申込は3か月前までを目安に利用申込書の提出を指示すること。
- ・会場・設備案内のため、主催者でなくとも、委託を受けたPCO（一般社団法人日本コンベンション協会会員）や代理店の担当者でも可能

エ) 利用申込書の受付・確認(持参、E-mail 又はFAXに限る)

- ・申込用紙や添付書類の記入漏れ等の確認
- ・事業内容の確認

オ) 施設予約状況の掲載

カ) 承認書、請求書の発行

キ) 利用承認後の追加

- ・追加・延長届の受付・確認
- ・追加内容の確認

④利用料金の徴収

- ・現行の扱いについては、利用の手引きのとおり。
- ・指定管理者は県と協議の上、取り扱いを定めること。
- ・ただし、国、地方公共団体及びそれに準じる団体、並びにこれらから委託を受けた業者については後払いの取り扱いを可能とすること。

⑤利用の追加・中止

- ・現行の扱いについては、利用の手引きのとおり。
- ・指定管理者は県と協議の上、取り扱いを定めること。

⑥利用の取消し、停止

管理者は以下に記載する事実がある場合は、利用承認の取消し又は利用の停止を利用者に指示できる

- ・サンポート高松交流拠点施設条例、規則に違反し、又は管理者の指示に従わなかったとき
- ・偽りその他不正の手段により利用承認を受けたとき

- ・納期日までに使用料を納入しないとき
- ・利用の権利を第三者に譲渡もしくは転貸したとき
- ・衛生、防災、防犯に関して、管理者及び関係官庁の指示に従わないとき
- ・ほかの利用者及び近隣に迷惑を及ぼす恐れがあるとき
- ・その他施設の管理上支障があると認められるとき

⑦国際会議場・展示場の利用計画の打合せについて

ア) 打合せ時期：開催のおよそ1カ月前

イ) 提出書類：催物のプログラム

会場レイアウト ※平面図（HPからダウンロード可）

その他必要に応じた書類等

ウ) 打合せ内容 下記参考

区 分	内 容
催事の進行	進行プログラムの提出指示 入出場時間、入場予定人数等の確認 入場料徴収の場合の主催者側の対応確認（現金保管）等
連絡体制	準備・撤去時の担当者（氏名・連絡先）の確認 ※人数に応じ準備・撤去の時間を確認 運営の担当者（氏名・連絡先「携帯電話」）の確認 ※防災責任者の氏名
会場レイアウト	会場レイアウト・案内、警備員等の配置・運営担当者の所在が判明できる図面の提出指示（※展示場：主催者事務室での待機が必要） 基本配置（原状） 国際会議場：スクール形式（180席） 展 示 場：机・椅子等すべて無 ※会場の準備・片付けは主催者側で実施を指示 定員（座席数） 国際会議場：300名（6階）+94名（7階：うち身障者4名） 展 示 場：400名
飲食	国際会議場室内は原則飲食禁止だが、事前の打合せがあれば、施設や設備に影響のない範囲で可能とする。 展示場は可能（利用の条件有）
喫煙について	基本的に高松シンボルタワー全館禁煙 ※館外指定の場所での喫煙を指示
整理・誘導のスケジュール	多数の入場者等が予想される時、主催者において入場者等の案内・整理・誘導及び警備の配置を指示。 ※配置場所：デックスガレリア、EV前、エントランスホール、駐車場等 ※高価なものなどの展示等は、主催者側で警備員の配置・イベント保険加入の指示等
受付の有無	国際会議場⇒6階エントランスホールで受付設置可能 展示場⇒南側通路及び西側通路（共用部）可能
持ち込み機材の有無	機材の種類、用途、数量を確認
インターネット	国際会議場・展示場ともにインターネット使用可能 主催者側に必要な端末数に応じて、プロバイダー契約の必要
電気・ガス・水道	使用機器の数量等を確認
荷物の発送（宅配便）	原則、管理事務所では配達された荷物等の預かり不可。 主催者は直接運送業者から受け取る
清掃・ゴミ処理	清掃・ゴミ処理は使用時間の中で主催者にしてもらう。 ※対応できない場合は、主催者から専門業者に依頼の指示
荷物の搬出入計画	ホール棟建物への入口として1階展示場用搬入車両スペースが使用可能 ※展示場の搬入スペースはサンポートホール高松と共通となっているので、使用にあたっては高松市文化芸術財団（事務所はホール棟2階）と連携を図る必要があることを説明 タワー棟建物への入口として地下1階共用部駐車場の1箇所が使用可能 地下1階から6・7階までの経路としてエレベーター1基（EV a 10人荷用）

	が使用可能。 { エレベーター扉開口寸法 W1, 117mm、H2, 500mm エレベーター内寸法 W1, 750mm、D2, 000mm、H2, 700mm エレベーター最大積載重量 1, 600 kg
看板・ポスター等の掲示	看板・ポスター等の掲示を行う場合は、備え付けのサインスタンドでの利用可能。壁・扉・窓などへの掲示は不可
館内イベント情報配信管理システム	主催者の表示希望を確認後、会議名やイベント名を開催当日に来館者へモニター（総合インフォメーション）でお知らせする。 ※掲出使用料は無料
物品の配布・物販・展示	催物に関連した物品に限る。場所・内容等を事前に協議必要 ※関係機関への届出指示 ※提出先は「利用の手引き」（参考）
ビラ配り等の禁止	国際会議場や展示場の敷地内や出入口、あるいはシンボルタワー館内でのビラ配り等は禁止の指示
各種届出	法令等に定められた関係機関等への届出・許可申請は利用者が実施
駐車場	無料の付帯駐車場はない旨を周知 サンポート高松地下駐車場の利用を伝える。
緊急時の避難経路	非常時に備え、避難誘導案内図により、非常口等の確認を指示
立入り	会議場等の管理のため、指定管理者の立入りがあることを説明

⑧利用時の対応・サポートについて

ア) 指定管理者による施設の鍵の開閉（立会）

- ・展示場の搬入車両出入口の鍵の開閉

イ) 施設空調・音響機器の調整等

- ・簡易な操作については、指定管理者で行う。

ウ) 備品の貸出・保管の確認

- ・貸出時 貸出備品の数量等を確認し、打合せ記録簿に記入
- ・保管時 開催終了後、倉庫への返還を主催者が行う時に立会し、貸出と同じ数量を確認し、附属備品等使用申告書に主催者のサインをもらう。

エ) 利用料金の精算（追加料金・設備等利用料金）

- ・国際会議場展示場追加延長届、附属備品等使用申告書を確認して最終金額を算出し、利用者に設備使用料及び追加利用にかかる請求書を郵送し、期限内の納入を指示する。

（４）その他

①指定管理の委託料を充てて購入し、県が引き継ぐこととなる備品（取得価格５万円以上の物品）については、指定管理期間中においては、管理者において備品一覧表を整備すること。

②高松シンボルタワー内施設との連携

高松シンボルタワー内には県有施設のほかに市が所有するサンポートホール高松、民間が所有するサンポートビジネススクエア（オフィス等）及びマリタイムプラザ（商業施設）があるため、それぞれの施設を管理している（公財）高松市文化芸術財団及びシンボルタワー開発（株）と連携を図り、施設利用者の利便性の向上を図ること。

③施設予約に関して利便性向上を図ること（少なくともインターネット上での予約状況照会）
かがわ電子自治体システム（公共施設予約システム）を用いることも可とする。

3 産業振興センター

(1) 産業振興センターの概要

管理を行う施設の概要は次のとおりです。

- 名称：産業振興センター
- 位置：高松シンボルタワー タワー棟 7 階
- 規模等
 - ・利用状況：(独) 中小企業基盤整備機構四国本部が入居
 - ・規模等

区分	面積 (㎡)	入居団体名
賃貸スペース	5 0 2	(独) 中小企業基盤整備機構四国本部
その他	6 1	
計	5 6 3	

①目的

新たな事業展開を行う企業やこれら企業等の事業活動を支援する業務を行う者に事業スペースを賃貸し、その活動を支援することにより本県産業の振興などを図る。

②入居資格

- ア) 企業の事業活動を支援する業務を行うもの
- イ) 個人又は会社等であって、新たな事業を営もうとするもの

③使用料

4,070 円/月・㎡ (共益費、消費税を含む)

④使用期間

原則 3 年以内 (必要に応じ更新)

(2) 維持管理業務(現在と異なる団体が入居する場合には内容の見直しを行う)

①供用に関すること。

- ア) 巡回業務
- イ) 照明、TV、空調制御
- ウ) 広報資料等の掲示、配置、整理
- エ) ホームページの保守・更新
- オ) 施設のPRや入居者公募等への協力

②施設及び設備の維持管理に関すること。

- ア) 設備、備品等の維持修繕
- イ) 設備点検立会
- ウ) モニター監視
- エ) 施設の異常時の対応

③入居者に関すること。

- ア) カードリーダーの貸出・回収等の管理
- イ) ネームプレート・案内板等変更
- ウ) 入居者への説明、入居・退去時の現場確認
- エ) 入居者との連絡、管理規程等の遵守指導
- オ) 施設の秩序維持、苦情処理
- カ) 入居希望者等への施設についての説明

4 観光情報センター（かがわプラザ）の管理

（１）観光情報センター（かがわプラザ）の概要

管理を行う施設の概要は次のとおりです。

整備概要	香川の観光、物産、産業など多様な分野の情報や四国の他県の情報などを発信する施設。
施設規模	高松シンボルタワー タワー棟３階 広さ約４００㎡ ・清涼飲料水の自動販売機を１台設置している。（管理対象外） ・事務室（約１１０㎡）については、（一社）四国ツーリズム創造機構が使用している。（管理対象内）
施設内容	・サンポート高松のジオラマ展示や、宇高連絡船やお遍路に関する展示、香川や四国の観光情報、香川の地域密着型スポーツチーム情報などを紹介するゾーン ・休憩コーナーには、現在、香川県産木材を使った製品のＰＲやクラフト教室などを開催する「かがわの森アンテナショップ」を併設している。
開館時間	午前９時～午後６時 ただし、指定管理者は、県の承認を得て開館時間を変更することができる
休館日	１２月２９日～翌年の１月３日 ただし、指定管理者は、県の承認を得て休館日を変更することができる
入場料	無料
注意事項	館内は原則、飲食禁止

（２）維持管理業務

①供用に関すること。

- ア) 施設の開錠（午前９時）、施錠（午後６時）
- イ) 受付、案内、取材対応（案内は、団体等から要請があった場合）
- ウ) 各種パンフレット（四国四県、県内市町等）の収集及び展示ラック等への補充
 - ・四国四県及び県内市町等へ直接送付依頼を行い収集（なお、場合により県が仲介を行う。）
- エ) 香川のスポーツ振興コーナー及び宇高連絡船に関する展示コーナーの展示替等
 - ・県内で活動する地域密着型スポーツチーム（現在：４チーム）の紹介を行っているパネルやユニフォームなどの展示物について、チーム名や所属リーグの変更、戦績等に応じて、随時展示替えを行うこと。
 - ・宇高連絡船の展示物について、定期的に保管庫の備品と入れ替えを行うこと。
- オ) 企業展示コーナーの出展者募集、設営・撤収の指示(説明)等
 - ・企業に出展の呼びかけを行い、日程調整、設営・撤収の指示(説明)等を行っていただきます。
 - なお、展示内容は、原則、香川県および四国の魅力発信につながるものとする。
- カ) 休憩コーナー（イベント広場）の運営。ただし、「かがわの森アンテナショップ」の運営に関しては、清掃等を除き、管理外。

②施設及び設備の維持管理に関すること。

- ア) 施設の維持管理
- イ) 展示物等の維持管理
- ウ) 警備及び清掃
- エ) 簡易な修繕
- オ) 消耗品等の調達、取替補充及び処分

③管理に関する報告等に関すること。

ア) トラブル等発生時の関係機関への連絡

イ) 施設の利用状況の報告（日報、月報、年報）

5 多目的広場の管理

(1) 多目的広場等の概要

多目的広場の概要は利用の手引きのとおりです。

(2) 維持管理業務

①管理部門

多目的広場地下駐車場管理室でのＩＴＶによる監視（随時）及び巡回１日２回（ただし、イベント時は随時）を行い、次の点検を行い、必要な対応及び状況報告を行う。

日常業務	清掃状況の点検	
	水景施設の点検	荒ごみを拾う。
	施設の点検	水景施設の次亜塩素酸ソーダ補充タンク内の次亜塩素酸ソーダが少なくなっている場合は補充
	施設の管理	トイレ等の蛍光灯交換
	植栽の管理	剪定等
	公共用歩廊の管理	目視点検、軒樋金網清掃等

②事務部門

次の契約を行い履行確認及び支払を行う。（自らが業務を行っても構わない。）

契約・支払業務	年度当初	水景給排水施設保守点検業務委託
		水景給電気施設保守点検業務委託
		水景施設水質管理業務委託
		清掃業務委託（広場・トイレ）
		多目的トイレ自動ドア保守点検業務委託
		トイレ脱臭灰石防除剤取替業務
		施設賠償責任保険への加入
		公共用歩廊(キャノピー)保守点検業務委託
		修繕業務の契約
		光熱水費等管理経費の支払
その他	水景施設、照明施設の運転管理等	メンテナンス室の鍵管理
		水景施設の干満時間の変更、水抜き操作（湧水時の対応を含む）
		照明施設の点灯時間の変更の操作
		故障時のメンテナンス業者への連絡
	消耗品等の補充	トイレトーパー
		次亜塩素酸ソーダ
	専用使用に関する業務	専用使用の受付業務(国際会議場及び展示場の内容に準じる。但し、予約受付は利用開始日の１年前の月の初日から)
		専用使用の状況データを香川県に提出

(3) その他

① 周辺対策

イベント等を実施する場合には、周辺住民及び周辺施設の迷惑とならないよう音量等の管理を十分に行うこと。

② 周辺施設との連携

周辺施設と連携しながら、施設の利用促進を図ること。

③ 多目的広場地下駐車場の入口

多目的広場には多目的広場地下駐車場への入口があるので、イベント等で利用する場合には駐車場利用者の動線を確保すること。

④ 監視設備等

多目的広場の監視カメラ、トイレの緊急呼び出し等の設備は多目的広場地下駐車場の管理室に繋がっている。

⑤ 水景設備

多目的広場の中央部には噴水等の設備があるため、多目的広場に車輛等が進入する際には設備の破損等が起こらないよう注意すること。

■サンポート高松多目的広場 設備概要

1. 機械設備

1) 給水設備

a) 引込み口径及び給水方式

- ・水景用地下貯留槽補給水用…上水:40mm(直圧給水方式)
- ・公衆トイレ及び広場内水飲器給水用…上水25mm(直圧給水方式)
- ・公衆トイレ及び広場内散水給水用…再生水:40mm(受水槽+加圧給水方式)
- ・歩行者専用道路散水給水用…再生水:20mm(直圧給水方式)

b) 設備容量

- ・再生水受水槽 … 公衆トイレ横、地下躯体水槽
- ・再生水給水ポンプユニット… 加圧給水ポンプユニット、270ℓ/min×25mH×1相210V1.1kW、2台ローテーション運転

2) 排水設備

- ・排水方式 … 自然流下方式(公衆トイレ内、汚水雑排水分流方式。屋外第一桝にて合流)
※・ただし、水景用貯留槽オーバーフローは、地下駐車場下部雨水槽へ、
水景用ろ過機ろ材逆洗用排水は地下駐車場下部雑排水槽へ放流。

3) 水景設備

- ・広場噴水ポンプ … 150φ×125φ×4,000ℓ/min×22mH×3相210V22kW×1台(インバータ制御)
- ・満潮ポンプ … 125φ×100φ×1,700ℓ/min×14mH×3相210V7.5kW×1台(インバータ制御)
- ・ヘアーキャッチャー(ストレーナ)… 広場噴水ポンプ用:SUS製200φ用、水抜きバルブ20A付
満潮ポンプ用:SUS製125φ用、水抜きバルブ20A付
- ・広場噴水ノズルユニット … 特殊ジェットノズル×36本、分水ヘッダー、水量調整バルブ付
- ・水景用ろ過機 … 上向流式高速ろ過機:60m³/h(ろ材:発砲PS樹脂)
ろ過ポンプ:80φ×1,000ℓ/min×14.2mH×3相210V3.7kW×1台
攪拌装置:噴流式攪拌、3相210V5.5kW、制御盤共
塩素滅菌装置:薬注ポンプ:8.3cc/min×1相200V40W、500ℓ薬液タンク付
PH調整装置:ポンプ付PH計:3cc/min×1相200V25W、200ℓ薬液タンク付
- ・排水ポンプ … 300ℓ/min×6mH×3相210V0.75kW、2台ローテーション運転、非常時同時×1set
- ・排水槽 … ろ過機逆洗排水用、SUS製900×600×900H
- ・水景設備制御用操作盤

2. 電気設備

1) 電灯コンセント設備

- ・ 電灯分電盤 … 1L-1: 公衆トイレ用 (回路数: 実装16、予備2)
1L-2: 広場用 (回路数: 実装25、予備4)
1L-3: 歩行者専用道路用 (回路数: 実装1、予備5)
イベント用コンセント盤 (回路数: 実装8、予備2)
- ・ 照明制御盤 … タッチパネル式液晶ディスプレイ (ANN: 160窓、CPU、プリンター付)
制御内容: 個別制御、パターン制御、グループ制御、スケジュール制御
システム異常監視、データ保存 (FD)、日時管理
- ・ 照明器具 … ボラードライト: HID70W×1灯用、計38基
ポールライト: HID250W×1灯用、計8基
ベースライト: HID250W×1灯用、計9基
ステージ部埋込み照明: LED0.8W×1灯用、計12台
噴水部光ファイバー照明: 光源装置 (メタルハライドランプ150W×1灯) ×5台
光ファイバーケーブル (0.75×100芯) ×36台分
光ファイバー照明発光部×36台

2) ITV設備

- ・ ITV架 … 19型カラーモニター、システムコントローラー、デジタルディスクレコーダー、
フレームスイッチャー、マトリクススイッチャー、電源制御ユニット、8ポートHUB
ネットワークアダプター、リレーユニット、
※・B1F駐車場監視室
21.5型フルHDモニター、ネットワークレコーダー、ネットワークアダプター
UPコンバーター、8ポートHUB
※・タワー棟6階指定管理者事務所に設置
- ・ 屋外型カメラ … 屋外旋回型ネットワークカメラ×2台、高感度型15倍ズームレンズ、
CCD×3台

3) 放送設備

- ・ 屋外ホーン型スピーカ … 15Wタイプ×3台 ※・地下駐車場監視室内アンプに接続

4) 音声誘導設備 (視覚障害者用)

- ・ 屋外自立型3方向仕様 … 音声制御装置×1台、スピーカ3台、磁気センサー: 計4セット
※・歩行者専用道路に設置

3. その他

1) 公共用歩廊 (キャノピー)

- ・ 歩廊本体 (約77.5m)
- ・ ダウンライト×46個

6 地下駐車場の管理

第1編 地下駐車場の概要

管理を行う施設の概要は次のとおりです。

施設概要	<p>(1) 多目的広場地下駐車場</p> <p>ア 所在地 高松市サンポート4番1号</p> <p>イ 収容台数 302台</p> <p>(うち車椅子用8台のうち37台分は、自動二輪駐車場74台分として使用中)</p> <p>ウ 構造 鉄筋コンクリート造 地下2階 自走式</p> <p>エ 延面積 15,149.75㎡</p> <p>オ 設備概要 自動車入口2か所 出口1か所 利用者用出入口3か所 身体障害者仕様エレベーター2基 全自動精算機3台 事前精算機4台</p> <p>(2) 高松シンボルタワー地下駐車場</p> <p>ア 所在地 高松市サンポート2番1号</p> <p>イ 収容台数 218台(うち車椅子用6台)(県79台、高松市139台)</p> <p>ウ 構造 鉄筋コンクリート造 地下2階 自走式</p> <p>エ 延面積 9,165.68㎡</p> <p>オ 設備概要 自動車出口1か所 利用者用出入口3か所 全自動精算機2台 事前精算機2台</p> <p>(3) 高松駅前広場地下駐車場</p> <p>ア 所在地 高松市浜ノ町1番17号</p> <p>イ 収容台数 396台(うち車椅子用8台)</p> <p>ウ 構造 鉄筋コンクリート造 地下2階 自走式</p> <p>エ 延面積 18,971㎡</p> <p>オ 設備概要 自動車出口2か所 利用者用出入口3か所 身体障害者仕様エレベーター2基 全自動精算機5台 事前精算機5台</p>
駐車させることのできる自動車	<p>自動二輪車(道路交通法第3条に規定する大型自動二輪車のうち側車付きでないもの及び普通自動二輪車のうち側車付きでないもの。)</p> <p>その他の自動車(道路交通法第2条第1項第9号に規定する自動車(自動二輪車を除く。))で、車体(積載物又は取付物を含む。)の大きさが長さ5メートル以下、幅2メートル以下、高さ2.1メートル以下のもの。)</p>
駐車期間の制限	1週間を超えて引き続き駐車してはならない。ただし、香川県知事及び高松市長が特に必要と認めた場合は、この限りでない。
駐車の拒否	<p>次の各号の一に該当する場合は、駐車を拒否するものとする。</p> <p>(1) 発火性又は引火性の物品を積載しているとき。</p> <p>(2) 駐車場の施設等を汚損し、又はき損するおそれのあるとき。</p> <p>(3) 前2号のほか、駐車場の管理に支障を及ぼすおそれのあるとき。</p>
禁止行為	<p>駐車場における禁止行為は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 他の自動車の駐車を妨げること。</p> <p>(2) 駐車場の施設等を汚損すること。</p> <p>(3) 公の秩序又は善良な風俗を乱す行為をすること。</p> <p>(4) 区画線に従わないで自動車を駐車させること。</p> <p>(5) 前各号のほか、駐車場の管理に支障を及ぼす行為をすること。</p>
営業時間	午前6時30分から午後12時まで。

駐車料金	普通自動車	基本	2時間迄 20分ごと	100円
			2時間を超えると 30分ごと	100円
		回数券等	100円券（11枚）	1,000円
			100円券（60枚）又は 6,000円券	5,000円
			100円券（100枚）又は10,000円券	8,000円
			100円券（300枚）	22,500円
		定期	平日定期（1か月）	18,000円
			平日定期（3か月）	48,600円
			夜間定期（17:30～翌日9:00）（1ヶ月）	10,000円
			夜間定期（17:30～翌日9:00）（3ヶ月）	27,000円
	自動二輪車	基本	1日	300円
		定期	1か月	5,000円

第2編 施設の運営

1 施設の運営に関する業務

施設の運営に当たっては、公営駐車場の公共性を念頭に置き、施設利用者が、平等に安全・安心して利用でき、かつ施設の効用を最大限発揮できること、及び香川県サポート高松交流拠点施設条例、同施行規則、高松市駐車場条例、同施行規則、高松市有料自転車等駐車場条例、同施行規則、その他関係法令、条例等に基づき適切な人員を配置し、管理運営に努めるものとする。

主な内容は、下記のとおりであるが、施設を供用していく上で必要な記載のない事項についても、指定管理者の業務内容に含まれる。

（1）管理業務の概要

ア 管理部門

駐車場の供用に関し、次の業務を行う。

日常業務	(6時30分) 営業開始前から 9時ごろ	警備会社からの引継ぎ
		前日の売上金集金・計算（翌日の釣銭準備、釣銭設定、金種別計算書作成）
		駐車場場内の簡易な清掃
		夜間宿泊車両の確認
	9時から 23時30分	監視カメラによる場内監視
		売上金を県及び高松市の口座へ納付
		トラブル対応（機器の故障、駐車券の紛失、釣銭切れ、駐車券・ロール紙切れ、蛍光灯交換等）
		回数券、プリペイドカード、定期券の販売、紙幣の両替、釣銭の両替
		駐車場場内の清掃
		駐車場内巡視
		混雑時の車両の整理誘導
		精算機から現金、駐車券、回数券、ロール紙の回収、釣銭補充

		現金、駐車券等の枚数確認、整理
		警備会社への引継ぎ
	23時30分以降 (警備会社)	場内巡回
		夜間宿泊車両の確認
		出入口施錠、設備機器等運転停止(シャッター閉鎖)

イ 事務部門

(ア) 駐車場の供用に関し、次の業務を行う

日常業務	8時30分から 17時	駐車券、回数券の枚数確認及び整理
		駐車場管理システムへ必要事項入力の上、入出庫台数、売上金等の確認
		売上計算書等の作成
		回数券、プリペイドカード、定期券の売上の確認及び補充
		受託者収入計算書の作成、台帳記載等
		金種票の作成し、現金確認の上、金融機関に納入 (売上金を県及び高松市の口座へ納付)
		場内の点検
		各種トラブルの対応(機器の故障、苦情等)
		混雑時における管理員の応援

(イ) 次の契約を行い、履行確認及び支払を行う。(自らが業務を行っても構わない。)

契 約 ・ 支払業務	年 度 当 初	機械設備点検業務
		保安警備業務
		清掃業務
		廃棄物搬出業務
そ の 他	随 時	管理経費等の支払(電気料金、水道料金、電話料金、施設賠償責任保険料)
	月 報 ・ 年 報	月当初に、前月分のデータ(月報)を出力し提出
		年度当初に、前年度分のデータ(年報)を出力し提出
	物品等の調達	ロール紙、その他消耗品、印刷物等の在庫を把握し、不足分の発注・台帳整理
	簡 易 な 修 繕	設備・機器類等の故障等の状況を把握し修繕
	そ の 他	駐車場周辺施設の催物等の情報収集

(注) 現在、駐車場の管理業務については高松駅前広場地下自転車駐車場の管理業務と合わせて、警備会社に業務委託して実施している時間帯があります。

警備会社に業務委託して実施している業務(業務仕様書の最後(44ページ～47ページ)に【参考資料】として添付)については、シンボルタワー管理協議会で一括して業者選定及び経費額の決定をし、この経費を加えて指定管理料としますので、今回の積算には算入しないで下さい。(指定管理者と警備会社との引継ぎ時間等は協議により変更可能。)

(2) 配置人員等

ア 指定管理者は業務全体の管理責任者を定めること。なお、管理責任者は常勤とすること。

イ 業務を行う者は、その内容に応じ、必要な知識及び技能を有するものとし、又、法令等により業務を行う者の資格が定められている場合は、当該資格を有する者が業務を行う。

(防火管理者、防災センター要員等も含む)

ウ 各駐車場において、管理人1名を配置すること。(他駐車場や管理人との兼務も可能ですが、緊急時には、早急に対応できる体制とすること。)

- エ 各駐車場の管理事務所において、管理人 1 名以上を配置し、円滑な駐車場運営が行える、適正な人員配置とすること。
- オ 緊急時等、24 時間対応のできる人員体制を確保すること。
- カ 管理人の勤務形態は、駐車場の運営及び市民サービスに支障がないように定めること。
- キ 管理人に対して、施設の管理運営に必要な研修を実施すること。

(3) 駐車場の利用者の対応

- ア 駐車場の利用者について、円滑な駐車場利用ができるよう、的確に対応すること。
- イ 各種問合せ、利用者からの苦情等にも、適切に対応すること。

(4) 駐車場の開場、閉場

- ア 毎日、営業を開始する前に場内の安全を確認し、開場すること。
- イ 毎日、閉場前に場内を巡視し、残留する車両及び利用者等の確認を行い、利用者が残留している場合は速やかに退出するよう呼びかけるほか、不審物等がないことを確認し、閉場すること。
- ウ 駐車場の営業時間に合わせて、適切に開場、閉場業務を行うこと。

(5) 車両の入出庫の管理

- ア 安全かつ適正な入出庫の指導。
- イ 不正な行為の防止。
- ウ 駐車場の入庫時には、駐車券を取るよう指導すること。

(6) 車両の整理誘導及び案内

- ア 常時、駐車状況及び混雑状況を監視し、必要に応じ場内誘導等利用者サービスに努めること。
- イ 近隣施設等でのイベント、催し物の情報を事前に把握し、事前に、管理人の増員、又は警備員の配置等、適切な車両の整理誘導が行えるよう対処すること。
- ウ 大きなイベント等が開催される場合、香川県（以下「県」という。）及び高松市（以下「市」という。）が誘導體制について指示する場合がある。

(7) 駐車場設備機器の操作、運転及び故障時の対応

- ア 各設備の機能を十分に把握し、駐車場の安全性、経済性及び利用者の快適条件等を勘案した適正な操作、運転マニュアルを策定し対応すること。
- イ 設備機器の異常発見に留意し、事故の発生を未然に防止するとともに、不測の故障発生時にはその拡大を防止し、二次災害の発生を抑えるように努めること。

(8) 問合せ、苦情及び事故等の対応

- ア 施設に関する問い合わせ、苦情等に対しては、丁寧かつ適切に対応し、利用者の満足が得られるよう努めること。
- イ 場内での車両事故、その他トラブル等に、適切かつ迅速に対処するとともに、速やかに報告書を作成し、県及び市に報告すること。

(9) 料金精算機等の釣り銭補充及び利用者の両替対応

- ア 料金精算機等の釣り銭、両替金等は指定管理者で準備すること。
- イ 料金精算機は、定期的に釣り銭補充を行い、釣り銭切れ等のトラブルが発生しないようにすること。
- ウ 各管理事務所等で、両替金を準備し、駐車場の利用者の両替の対応をすること。
なお、各駐車場備え付けの自動精算機は 1 万円札、5 千円札、2 千円札には対応していないの

で、注意すること。

(10) 光熱水費等の支払い

ア 駐車場の光熱水費等の支払いを行うこと。

(11) 各種保険への加入

ア 施設賠償責任保険、保管物賠償責任保険等については（別紙1－2）の「3施設賠償責任保険」と同等以上の内容で契約すること。

(12) 放置自動車への対応

ア 場内に、長期間駐車している車両については、必要な措置を行うとともに、県及び高松市へ報告するものとする。

(13) 駐車を拒否する時の対応

ア 駐車の拒否に当たっては、条例を遵守して行わなければならない。
イ 拒否する時の対応は、細心の注意を払い、適切に行うこと。

(14) 駐車場の全部又は一部を休止する時の対応

ア 県及び市の決定に基づき、駐車場の全部又は一部を休止する場合があります。この場合、県及び市の指示に従い、対応すること。

(15) 行政財産の目的外使用許可に関する業務

ア 携帯アンテナ、自動販売機等の運営に係る行政財産目的外使用許可に関する業務は、県又は市が行う。

(16) 災害時等の対応

ア 各施設の状況、設備、資材等を把握し、台風、大雨、その他災害時の対応マニュアルを策定するとともに、資機材等を備えておくこと。又、利用者の安全性確保についても対応マニュアルに明記し、管理人に周知し訓練を行う等、十分な対策を講じること。

2 施設及び設備の維持管理に関する業務

施設等の維持管理業務の実施に当たっては、施設の公共性を念頭に置き、建物施設設備、敷地内工作物、植栽等の全般の機能を良好に維持管理、運用し、関係条例、法令の規定に基づき施設全般を常に良好で安全な状態に保つものとする。なお、対象施設設備全般について、故障等の発生又は短期間のうちに確実に故障等が発生すると見込まれる場合は、速やかに修繕工事等を行うものとする。

対象施設設備の概要は（別紙1－2）のとおりであるが、記載のない施設設備等についても施設全般の維持管理の対象に含まれる。なお、業務の全部を他の業者へ再委託することは認められないが、業務の一部については再委託を可能とする。この場合、事前に県及び市の承認を得ることとする。

(1) 業務内容

施設等の維持管理業務は法令等の定めるところに準拠し、安全、経済運転、良好な環境の維持、事故防止の4項目を基本理念とする。

又、施設等の維持管理業務については、実施計画（運転操作監視、点検整備、その他法令に基づく測定、検査、調査等）を年度当初又は委託業務開始当初に作成し、県及び市に提出すること。

なお、計画に従って実施した点検・評価結果、整備状況、修繕等については記録を行い、実施計画に反映させること。

ア 施設維持管理業務

建築基準法に基づく法定点検並びに施設の維持管理に必要な定期点検を行い、必要な対応及び状況報告を行う。

(ア) 施設の維持管理業務の対象範囲

- ① 施設の維持管理業務の対象範囲は、施設の屋根、外壁、建具、天井、壁、階段、スロープ等、施設全般とし、その点検、保守等を実施する。

(イ) 仕様・水準

- ① 部材の劣化、破損、腐食、変形等について調査、診断、判定を行い、迅速に保守、修繕等を行い、施設の性能及び機能が発揮できる状態に保つこと。
- ② 結露やかびの発生防止に努めること。
- ③ 開閉、施錠装置等が正常に作動する状態に保つこと。
- ④ 施設において重大な破損、火災、事故等が発生し、緊急に対処する必要がある場合の被害拡大防止に努めること。

イ 設備機器の運転操作及び監視業務

(ア) 対象設備

- ① 中央監視設備
- ② 電気設備関係（受電設備・負荷設備・弱電設備・その他の電気設備）
- ③ 空気調和設備関係（熱源設備・空気調和設備等）
- ④ 換気設備
- ⑤ 給排水設備
- ⑥ 衛生設備
- ⑦ 防災消火設備の機能管理（消火設備・警報設備・その他の防災消火設備）
- ⑧ 駐車場管制設備機器
- ⑨ その他運営上必要な設備機器

(イ) 運転操作及び監視における留意点等

- ① 運転操作及び監視にあたっては、用途及び四季の気温の変化などによって、経済性及び快適条件等を勘案して適正に行う。
- ② 機器装置の稼働状態の監視を行い、良好な運転の継続に努めること。
- ③ 運転中の異常は早期に発見し、事故の未然防止に努めること。不測の事故に備え、対応マニュアルを策定し、事故の拡大と二次災害の防止のため、定期的に訓練を行うこと。

ウ 設備機器の維持管理業務

(ア) 巡視点検業務

- ① 各設備、機器装置の正常な運転を維持するため、点検計画表（日・週・月・年毎の対象点検機器、点検項目、要領等）を作成し、正確かつ厳重に励行し、点検結果を記録しておくこと。

(イ) 定期点検整備

- ① 法定点検については、各設備の関係法令の定めにより実施すること。
- ② 定期点検については、各設備について、常に良好な状態を維持できるよう、設備系統ごとに定期点検を行うこと。
- ③ 設備機器の定期点検整備については、(別紙 1 - 2) の項目及び点検回数を最低限とすること。

(注) 高松シンボルタワー地下駐車場の設備（駐車場管制設備等 一部の設備を除く）については、業務仕様書 1 ページ、「1 各施設の維持管理業務（共通事項）」の（1）施

設の維持管理に関すること、①設備保守点検業務等、注ア) のとおり。

- ④ 点検により設備の不具合が発見された場合、又は何らかの悪影響を及ぼすと考えられる場合には、適切な方法（保守、補修、交換、分解整備等）により迅速に対応すること。
- ⑤ 実施結果は、定期点検整備記録簿に記録し、その後の点検に活用すること。
- ⑥ 機械予備品、消耗品等の需給表の作成、改定及び在庫管理を行うこと。
- ⑦ 整備、修繕等の報告
設備機器の整備、修理等の内容については県及び市に報告すること。

エ 施設（設備機器、備品等含む）の小規模な修繕

（ア）小規模な修繕

施設（設備、機器、備品等含む）の修繕等において、工事の経費が1件当たり（合理的な理由のある工事単位）100万円以下のもの。（以下「小規模な修繕」という。）

- （イ）小規模な修繕については、指定管理者の負担により実施すること。なお、事前に、県及び市の承認を得ること。
- （ウ）1件100万円を超える施設（設備機器等含む）の修繕については、県及び市と協議すること。

※施設、機器の不備又は管理上の瑕疵による事故及び臨時休業等に伴う利用者に対する損害については、指定管理者が負担すること。

オ 清掃業務

施設的环境を維持し、快適な環境を保つため、清掃業務を適切に行うこと。

日常清掃及び定期清掃を行うほか、定期的に廃棄物の収集処理等を行うこと。

- （ア）床、壁、天井、扉、ガラス、鏡、備品、照明器具、衛生機器、施設設備等の施設及び設備全般について、場所ごとに、日常清掃、定期清掃を組合せ、環境維持に努める。
- （イ）各施設の日常清掃、定期清掃の範囲及び回数等については、（別紙1－2）、2、（2）を最低限とし、必要に応じて、その都度強化すること。
- （ウ）廃棄物収集処理

施設内で発生した廃棄物は、日常及び定期作業時に所定の位置に集積し、適正に処理すること。

カ 警備業務

各施設での、火災、盗難、破壊等の発生を未然に防止し、警戒・防止することにより、財産の保全と利用者の安全を確保するため、警備業を行うものとする。

- （ア）各施設においては、機械警備を実施すること。

（注）機械警備業務及び人的警備業務については、業務仕様書1ページ、「1 各施設の維持管理業務（共通事項）の（1）施設の維持管理に関すること、①設備保守点検業務等、注ア) のとおり。

なお、内容については、【参考資料】（業務仕様書44ページ～47ページ）のとおり。

- （イ）イベント時等 混雑時には、適切に警備員等を配置し、利用者サービスに努めること。
高松祭りの花火大会及び各種イベント時には混雑するので、出庫方法の工夫及び十分な人員の配置が必要となります。
なお、花火大会については、事前に県及び市その他関係機関と協議を行い、調整を図った上で、警備計画を作成し、県及び市に提出すること。
- （ウ）管理人は、定期的に場内巡回を実施し、施設の保全に努めること。

キ 備品等管理業務

- （ア）県又は市所有の備品等について

※サンポート高松地下駐車場の回数券及びプリペイドカードは他の県営及び市営の駐車場では利用できない。

(4) 駐車券等の印刷

ア 回数券、プリペイドカード及び定期券は、県及び市が印刷し、指定管理者へ支給するものとする。

ただし、これらの管理に必要な消耗品等(回数駐車券用表紙付保存袋等)については、指定管理者が準備すること。

イ 駐車券は、指定管理者が印刷し、用意すること。

4 施設の管理に係る報告等に関すること

(1) 施設における事故、トラブル等発生時の関係機関への連絡と報告書提出

ア 施設内で、事故、トラブル等が発生した場合は、的確に状況を把握し、適切な一時対応及び関係機関への連絡を行うこと。

イ 施設又は施設利用者に被害等があった場合は、迅速かつ適切に対応し、直ちに県及び市に報告し、報告書を提出すること。

(2) 管理報告業務等

ア 施設利用及び収入状況に関する管理月報、収納金報告書(月報・年報等)を作成し、月報及び収納金報告書については毎月、年報については当該年度終了後、県及び市が指定した日までに提出すること。

イ 業務に関する日報を作成し、県又は市が提出を求めた場合は提出すること。

ウ 施設設備保守点検記録を作成し、県又は市が提出を求めた場合は提出すること。

エ その他随時必要な報告を行うこと。

(3) 施設利用者アンケートの実施及び報告

指定管理者は、施設利用者の利便性の向上を図るためアンケートの実施などにより、施設利用者の意見を聴取し、その内容及び業務改善の対応について、県及び市に報告すること。

(4) 帳簿類等の提出要求

県又は市の監査委員等が事務を監査するため必要と認めた場合、指定管理者に対して帳簿書類その他の記録の提出を求める場合がある。この場合、指定管理者は、県又は市の求めに応じて必要な帳簿類を提出しなければならない。

5 施設利用の促進に関する業務

(1) 広報・PRにより施設利用の拡大を図ること

施設の利用促進を図るため、積極的かつ効果的に広報・宣伝を行うこと。

(2) 利用者サービスの向上等により施設利用の拡大を図ること

ホームページの作成を行うなど、利用者のサービス向上等により施設の利用拡大を図ること。

6 その他事項

(1) 業務終了時の取扱い

指定管理者は、指定管理業務の終了時において、全ての施設が本仕様書で提示した性能を発揮できる機能を有し、著しい損傷が無い状態とすること。又、次期指定管理者に業務を引き継ぐ場合、業務期間終了時の3か月前を目処に、業務に支障が生じないように適切に引き継ぎ業務を開始するものとする。

ア 指定管理者が設置した備品等

- (ア) 指定管理業務の終了時、指定管理者は、自らの費用負担において設置した備品等を撤去し、原状回復することを原則とする。
- (イ) 指定管理者は、前号の備品等を県又は市に無償譲渡することを望む場合は、県又は市にその旨を申し出、県又は市が承認した場合は、無償で譲渡できるものとする。この場合、県又は市は譲渡に係る一切の費用を負担しないものとする。
- (ウ) 指定管理者は次期指定管理者との間で(ア)の備品等の譲渡に合意し、県又は市が承認した場合は、それらを撤去せずに次の指定管理者に引き継ぐことができるものとする。

イ 管球類等管理用消耗品の管理

管球類、事務用消耗品等は、業務終了時に業務開始時の残数を確保すること。このため指定管理業務開始時に、品目、数量等内容確認書を作成し、県及び市に提出するとともに、指定管理者においても保管すること。

ウ 関連資料等の引継ぎ

- (ア) 指定管理者は、指定管理運営業務に係る全ての資料を県及び市に引き渡さなければならない。
- (イ) 指定管理者は、本施設を県及び市又は県及び市が指定する第三者が継続使用できるように県及び市に本施設の管理運営業務に関して必要な事項を説明すること。
- (ウ) 指定管理者は、施設や設備に係る操作要領、申し送り事項及びその他の資料（本施設の修繕等履歴及び利用に係るデータを含む。）を県及び市に引き渡すこと。
- (エ) 指定管理業務の満了又は指定管理者の指定取消し等に伴う業務の引継ぎは、適性かつ十分に行うこと。

(2) その他

ア 駐車場共通事項

- (ア) 各地下駐車場を結ぶ地下連絡通路は歩行者通行禁止となっているので、地上から駐車場に帰る際は、各地下駐車場の地上出入口を利用するよう周知徹底すること。
- (イ) 管理等についての疑義が生じた場合は、県又は市と指定管理者が協議し、決定する。

イ 多目的広場地下駐車場

- (ア) 多目的広場地下駐車場の入口2箇所（東側、西側）は3駐車場の共通入口となっている。
- (イ) 多目的広場地下駐車場の出口は港側（東側）だけとなっている。
- (ウ) 地下連絡通路は多目的広場から高松駅前広場方向への一方通行となっている。
- (エ) 多目的広場地下駐車場に駐車した車は、高松シンボルタワー地下駐車場及び高松駅前広場地下駐車場の各出口からも出庫できる。

ウ 高松シンボルタワー地下駐車場

- (ア) 高松シンボルタワー地下駐車場は県と高松市が共有しているが、それぞれに管理する区域を設定している。（【別紙3】のとおり）
- (イ) 高松シンボルタワー地下駐車場の出口車路は民間駐車場等との共用車路になっているので、事故等が起こらないよう注意すること。
- (ウ) 高松シンボルタワー地下駐車場に駐車した車は駅前広場地下駐車場の出口からも出庫できる。ただし、多目的広場地下駐車場方面へは行けない。
- (エ) 高松シンボルタワー地下駐車場の電気料金の支払いは、高松シンボルタワー管理協議会からの請求により、高松シンボルタワー管理協議会に支払うこと。

エ 高松駅前広場地下駐車場

- (ア) 高松駅前広場地下駐車場に駐車した車はシンボルタワー地下駐車場、多目的広場地下駐車場方面へは行けない。
- (イ) J Rホテルクレメント高松の地下駐車場と地下で連絡（精算機あり）しているので、利用及び防災等について連携を図ること。又、J Rホテルクレメント高松の地下駐車場の回数券が当該駐車場で使用できることから、この料金徴収業務についても、対応すること。

7 高松駅前広場地下自転車駐車場の管理

第1編 駐輪場の概要

管理を行う施設の概要は次のとおりです。

施設概要	(1) 高松駅前広場地下自転車駐車場				
	イ 所在地	高松市浜ノ町1番17号			
	ウ 収容台数	2,411台（うちミニバイク180台）			
	エ 構造	鉄筋コンクリート造 地下1階			
	オ 延面積	5,009㎡			
	カ 設備概要	自転車出入口（料金ゲート）（4か所）			
駐車できる車両	自転車及び125cc以下の原動機付自転車				
駐車期間の制限	一時駐車で7日を超えて引き続き駐車してはならない。ただし、高松市長が特に必要と認めた場合は、この限りでない。				
禁止行為	高松市有料自転車等駐車場条例第10条に規定する行為				
営業時間	午前4時から翌日の午前2時まで。				
駐車料金	自転車	一時駐車		1回	100円
		定期駐車	一般	1ヶ月	2,000円
				3ヶ月	5,500円
			学生等	1ヶ月	1,800円
				3ヶ月	5,000円
		原動機付自転車	一時駐車		1回
	定期駐車		一般	1ヶ月	4,000円
				3ヶ月	11,000円
			学生等	1ヶ月	3,600円
				3ヶ月	10,000円

第2編 施設の管理運営

施設の運営に当たっては、公営駐輪場の公共性を念頭に置き、施設利用者が、平等に安全・安心して利用でき、かつ施設の効用を最大限発揮できること、及び高松市有料自転車等駐車場条例、同規則、その他関係法令、条例等に基づき適切な人員を配置し、管理運営に努めるものとする。主な内容は、下記のとおりであるが、施設を供用するために必要なものについては、記載のない事項についても、指定管理者の業務内容に含まれる。

1 管理業務の概要

・ 日常業務

開場、閉場

入出場ゲート付近での、不正出庫等の指導、監視

場内の自転車等の整理整頓

搬送コンベア、自動ゲート、定期更新機確認

長期駐車車両の確認

清掃等

- ・ 月単位業務
 - 場内照明灯の確認、取替え
 - 自転車ラックの油さし
- ・ 年単位業務
 - 各種設備機器灯の保守点検委託契約
 - 保険の加入
- ・ 不定期業務
 - 搬送コンベア、自動ゲート、定期更新機等の異常時の対応（復旧、委託業者連絡）
 - 長期駐車車両を市の委託業者に引き渡し

2 営業業務の概要

- ・ 日常業務
 - 売上金の集金、釣銭補充、精算・集計業務、振込業務
 - 定期利用の承認、定期券発行
 - 機器の保守点検等（委託事業）の立会い、確認
- ・ 月単位業務
 - 報告書等の作成・提出
 - 必要な経費等の支払い
 - 勤務表の作成
- ・ 年単位業務
 - 予算、決算書の作成
 - 報告書等の作成・提出
- ・ 不定期業務
 - 施設、設備機器等の修繕

3 施設の供用に関する業務

- ・ 人員配置等
 - ① 指定管理者は指定管理業務全体の管理責任者を定めること。
 - ② 各業務を行う者は、その内容に応じ、必要な知識及び技能を有するものとし、又、法令等により業務を行う者の資格が定められている場合は、当該資格を有する者が業務を行う。
 - ③ 指定管理者は、施設ごとに主任管理者を配置し、円滑な施設運営ができるよう努める。
 - ④ 施設において、開場から閉場まで1名以上の管理人(主任管理者が兼ねることができる。)を配置する。
 - ⑤ 管理人の勤務形態及び、人数は、施設の運営及び市民サービスに支障がないように定めること。
 - ⑥ 管理人に対して、施設の管理運営に必要な研修、訓練を実施すること。
- ・ 施設の開場及び閉場
 - ① 施設の入場及び出場の時間は、高松市有料自転車等駐車場条例施行規則第2条による。
 - ② 指定管理者は、①の時間に合せて、開場、閉場の業務を適正に行う。
 - ③ 施設、設備等の安全点検を行い、開場する。
 - ④ 閉場時には、場内巡視を行い（利用者等の残留、火災等の原因となる不審物の放置など）異常がないことを確認し閉場する。
- ・ 施設の利用案内及び禁止行為等の防止
 - ① 施設の利用に関する看板等の維持管理、補修、改修、新設
 - ② 施設の利用に関するチラシ等の作成、配布
 - ③ 施設の利用に関し必要な事項を分かりやすく説明し、トラブル等を防ぐ
 - ④ 禁止行為の防止及び遵守事項の周知徹底（施設内は完全禁煙とする。）
- ・ 入場、出場の管理
 - ① 安全かつ適正な入場、出場の指導（自動ゲート等）

- ② 不正な行為の防止
 - ・ 駐車車両の誘導案内、整理整頓及び長期駐車車両の確認
 - ① 車両及び利用種別により分類された駐車ゾーンへの誘導案内
 - ② 施設内に駐車された車両の整理整頓
 - ③ 一時駐車により7日を超えて駐車している車両及び定期駐車によりその承認期間終了後、7日を超えて引続き駐車されている車両の特定及び市への報告
 - ④ ③の車両を市の委託業者が引取りに来た場合、1階まで移動するなど補助業務を行う
 - ・ 設備機器の操作、運転及び保守点検並びに事故等の対応

※ゲートを含む駐輪場管理システムは、レンタサイクル管理システムと一体管理する必要があることから当該指定管理者の管理用務から除き、レンタサイクル管理センターが管理します。

ただし、日常の点検業務及び故障時の初期対応は行っていただきます。

 - ① 設備機器の操作、運転等については、管理責任者及び各係員が内容（復旧方法等）を把握し、安全性、経済性及び利用者の快適条件を勘案し適正に行う。
 - ② 設備機器の保守、点検（既存の保守点検以上を実施し、必要により外部委託する。）
 - ③ 設備機器については常に安全運転に心がけ、事故の発生を未然に防ぐ。
 - ④ 事故の発生時においては、その拡大を防止するとともに、利用者等の安全を確保するなど2次災害の発生の防止に努める。
 - ・ 問合せ、要望、苦情、事故等の対応
 - ① 利用者等からの問合せ、要望、苦情への受答えは丁寧に対応し理解を得ること。
 - ② 指定管理者の権限で対応できる要望については迅速に対応し、それ以外のものについては市に報告し指示を仰ぐ。
 - ③ 事故等が発生した場合は、安全確保など一次対応の後、マニュアル等に従い適切に対応する。
 - ④ 問合せ、要望、苦情、事故等については、報告書を作成し、必要なときは市に報告する。
 - ・ 料金精算機等のつり銭の補充
 - ① 料金精算機等の釣銭、両替金等は指定管理者において準備すること。
 - ② 料金精算機等については釣銭等の管理を行い、必要に応じ補充するなど適正な管理に努める。
 - ③ 管理事務室等において予備の両替金を準備し、利用者からの依頼に応ずる。
 - ・ 光熱水費等の支払

各施設の光熱水費等の支払を行う。
 - ・ 機器等のリース契約及び支払
 - ① 施設の管理運営のために必要な機器等のリース契約（点検補修等契約を含む）及びその支払を行う。
 - ② 当該機器等のトラブル等に備え緊急連絡票等を作成する。
 - ・ 各種保険の加入
 - ① 事故等により車両が破損、滅失した場合に備え、既存の損害賠償責任保険以上の補償が担保させる保険に加入する。
 - ② 事故等により車両が破損、滅失した場合、誠意を持ってその補償にあたる。
 - ・ 定期駐車の利用承認及びその変更並びに取消し
 - ① 定期の駐車に関する承認及び変更事務
 - ② 定期駐車の利用の取消事務
 - ・ 施設の全部又は一部の利用を休止する時の対応
 - ① 市長の決定により施設の利用を休止、又は緊急に制限する場合の対応
 - ② 施設の利用を休止又は緊急に制限する場合の対応マニュアルの作成
 - ・ 火災及び災害時等の対応

- ① 火災及び台風、大雨、その他の災害などの発生に備え必要な資材等の確認、準備する。
 - ② 火災を含む災害等の発生に備え対応マニュアルを作成し、係員等に必要な研修、訓練を実施する。
 - ③ 各施設の状況を把握し災害等の発生が予見できるときは、市に連絡し指示を受け対応する。
 - ④ 火災を含む災害等の発生時には、初期活動として安全確保及び二次災害の発生を防止するとともに市及び関係機関に通報し指示に従う。
- 4 駐車場等の使用料（駐車料）の収納等
- ・ 駐車料の徴収、回収等
 - ① 徴収する駐車料は、条例に定められた金額とする。
 - ② 一時駐車については、車両を出場させる際に徴収し必要により領収書を発行する。
 - ③ 定期駐車については、利用の承認の際に徴収し領収書を発行する。
 - ④ 定期駐車券等に要するカード等は、指定管理者においてあらかじめ準備しておいてください。
 - ⑤ 使用済み定期利用券を回収し、再利用してください。
 - ⑥ 既納の駐車料については返還しないと定められています。ただし、定期駐車による有効期間が1月を超えて残存し、市長が特別の理由があると認めたときは、市から返還します。指定管理者は利用者に手続き等についての説明をするとともに必要な事務の補助を行います。
 - ・ 収納等
 - ① 徴収した駐車料は、徴収日ごとに回収、集計及び確認の作業を行い、翌日中に納入通知書を添えて指定金融機関に納入する。
(ただし、納入日が指定金融機関の営業日にあたらない場合は、直近の営業日まで保管し納入する。)
- 5 施設及び設備の維持管理に関する業務
- 6 施設の管理に係る報告等に関すること
- 7 施設利用の促進に関する業務
- 上記5～6の業務については、駐車場で記述された内容を準用してください。(ただし「県又は高松市」とあるものは、「高松市」と読み替えてください。)

8 玉藻地区ハーバープロムナード第1駐車場、港湾緑地第2駐車場、港湾緑地第3駐車場、キャッスルプロムナード駐車場の管理、運営

第1編 駐車場の概要

管理を行う施設の概要は次のとおりです。

施設概要	<p>(1) 玉藻地区ハーバープロムナード第1駐車場</p> <p>ア 所在地 高松市サンポート1番287</p> <p>イ 収容台数 33台（普通車）</p> <p>ウ 延面積 1,165.90㎡</p> <p>エ 設備概要 駐車場発券機、自動精算機、カーゲート、照明</p> <p>(2) 港湾緑地第2駐車場</p> <p>ア 所在地 高松市サンポート1番259</p> <p>イ 収容台数 50台（普通車）</p> <p>ウ 延面積 1,493.20㎡</p> <p>エ 設備概要 駐車場発券機、自動精算機、カーゲート、照明</p> <p>(3) 港湾緑地第3駐車場</p> <p>ア 所在地 高松市サンポート323番6</p> <p>イ 収容台数 10台（大型車）</p> <p>ウ 延面積 1,940.00㎡</p> <p>エ 設備概要 駐車場発券機、自動精算機、カーゲート、照明</p> <p>(4) キャッスルプロムナード駐車場</p> <p>ア 所在地 高松市玉藻町57番1</p> <p>イ 収容台数 10台（普通車）</p> <p>ウ 延面積 1,072.00㎡</p> <p>エ 設備概要 自動精算機、フラップ板</p>	
駐車させることのできる自動車	第1駐車場	道路交通法第3条に規定する普通自動車で、車体（積載物又は取付物を含む。）の大きさが、長さ5m以下、幅2m以下、高さ2.3m以下のものとする。
	第2駐車場	道路交通法第3条に規定する普通自動車で、車体（積載物又は取付物を含む。）の大きさが、長さ5m以下、幅2m以下、高さ2.3m以下のものとする。
	第3駐車場	道路交通法第3条に規定する大型自動車で、車体（積載物又は取付物を含む。）の大きさが、長さ12m以下、幅2.5m以下のものとする。
	キャッスルプロムナード駐車場	道路交通法第3条に規定する普通自動車で、車体（積載物又は取付物を含む。）の大きさが、長さ5m以下、幅2m以下、高さ2.3m以下のものとする。
駐車期間の制限	1週間を超えて引き続き駐車してはならない。ただし、香川県知事が特に必要と認めた場合は、この限りでない。	
駐車拒否	<p>次の各号の一に該当する場合は、駐車を拒否するものとする。</p> <p>(1) 発火性又は引火性の物品を積載しているとき。</p> <p>(2) 駐車場の施設を汚損し、又はき損するおそれのあるとき。</p> <p>(3) 前2号のほか、駐車場の管理に支障を及ぼすおそれのあるとき。</p>	

禁 止 行 為	駐車場における禁止行為は、次のとおりとする。 (1) 他の自動車の駐車を妨げること。 (2) 駐車場の施設等を汚損すること。 (3) 公の秩序又は善良な風俗を乱す行為をすること。 (4) 区画線に従わないで自動車を駐車させること。 (5) 前各号のほか、駐車場の管理に支障を及ぼす行為をすること。		
営 業 時 間	24時間、365日（年中無休）		
基本駐車料	第1、第2駐車場	30分までごと	100円
	第3駐車場	30分までごと※	510円
	第3駐車場	※午後4時から翌日の午前9時までの間における3時間を超える利用に係る使用料	3,080円
	キャッスルプロムナード駐車場	30分までごと ※20分を超えない場合の利用に係る使用料は無料とする。	150円

第2編 施設の運営

1 施設の運営に関する業務

施設の運営に当たっては、公営駐車場の公共性を念頭に置き、施設利用者が、平等に安全・安心して利用でき、かつ施設の効用を最大限発揮できること、及び香川県港湾管理条例、同施行規則、その他関係法令、条例等に基づき適切な人員を配置し、管理運営に努めるものとする。

主な内容は、下記のとおりであるが、施設を供用していくうえで必要な記載のない事項についても、指定管理者の業務内容に含まれる。

(1) 管理業務の概要

ア 管理部門

駐車場の供用に関し、次の業務を行う。

日常業務	前日の売上計算（翌日の釣銭準備、金種別計算書作成）
	駐車場場内の簡易な清掃
	金融機関への売上金納付の準備
	売上金を県の口座へ納付
	トラブル対応（機器の故障、駐車券の紛失、釣銭切れ、駐車券・ロール紙切れ、）
	紙幣の両替、釣銭の両替
	駐車場内巡視
	精算機から現金、駐車券、ロール紙の回収、釣銭補充
	現金、駐車券等の枚数確認、整理

イ 事務部門

(ア) 駐車場の供用に関し、次の業務を行う

日常業務	駐車券の枚数確認及び整理
	駐車場管理システムへ必要事項入力の上、入出庫台数、売上金等の確認
	売上計算書等の作成
	受託者収入計算書の作成、台帳記載等
	金種票を作成し、現金確認の上、金融機関に納入

	場内の点検
	各種トラブルの対応（機器の故障、苦情等）

（イ）次の契約を行い、履行確認及び支払を行う。（自らが業務を行っても構わない。）

契 約 ・ 支払業務	年 度 当 初	機械設備管理業務
		機械設備点検業務
		除草作業業務
	随 時	管理経費等の支払（電話料金等）
そ の 他	月 報 ・ 年 報	月当初に、前月分のデータ（月報）を出力し提出
		年度当初に、前年度分のデータ（年報）を出力し提出
	物品等の調達	ロール紙、その他消耗品、印刷物等の在庫を把握し、不足分の発注・台帳整理
	簡 易 な 修 繕	設備・機器類等の故障等の状況を把握し修繕
	そ の 他	駐車場周辺施設の催物等の情報収集

（２）配置人員等

- ア 指定管理者は業務全体の管理責任者を定めること（他駐車場との兼務も可）。
- イ 業務を行う者は、その内容に応じ、必要な知識及び技能を有するものとし、又、法令等により業務を行う者の資格が定められている場合は、当該資格を有する者が業務を行う。
- ウ 緊急時には、早急に対応できる体制をとるなど、円滑な駐車場運営が行える、適正な人員配置とすること。
- エ 管理人の勤務形態は、駐車場の運営及び利用者等に支障がないように定めること。
- オ 管理人に対して、施設の管理運営に必要な研修を実施すること。

（３）駐車場の利用者の対応

- ア 駐車場の利用者について、円滑な駐車場利用ができるよう、的確に対応すること。
- イ 各種問合せ、利用者からの苦情等にも、適切に対応すること。

（４）車両の入出庫の管理

- ア 安全かつ適正な入出庫の指導。
- イ 不正な行為の防止。
- ウ 駐車場の入庫時には、駐車券を取るよう指導すること。

（５）駐車場設備機器の操作及び故障時の対応

- ア 駐車場設備の操作に関しては、管理人が、的確に内容を把握し、駐車場の安全性、経済性及び利用者の快適条件等を勘案して適性に行う。
- イ 設備機器の異常発見に留意し、事故の発生を未然に防止するとともに、不測の故障発生時にはその拡大を防止し、二次災害の発生を抑えるように努めること。

（６）問合せ、苦情及び事故等の対応

- ア 施設に関する問い合わせ、苦情等に対しては、丁寧かつ適切に対応し、利用者の満足が得られるように努めること。
- イ 駐車場内での車両事故、その他トラブル等が発生した場合は、適切かつ迅速に対処するとともに、速やかに報告書を作成し、県に報告すること。

(7) 料金精算機等の釣り銭補充及び利用者の両替対応

ア 料金精算機等の釣り銭、両替金等は指定管理者で準備すること。

イ 料金精算機は、定期的に釣り銭補充を行い、釣り銭切れ等のトラブルが発生しないようにすること。

ウ 管理事務所（多目的広場地下）等で、両替金を準備し、駐車場の利用者の両替の対応をすること。（24時間対応できる体制をとること。）

なお、各駐車場備え付けの自動精算機は1万円札、5千円札、2千円札には対応していないので、注意すること。

※港湾緑地第3駐車場備え付けの自動精算機は、新千円札、新5百円硬貨についても対応不可

(8) 各種保険への加入

施設賠償責任保険については（別紙1－2）の「3施設賠償責任保険」と同等以上の内容で契約すること。

(9) 放置自動車への対応

駐車場内に、長期間駐車している車両については、必要な措置を行うとともに、県へ報告するものとする。

(10) 駐車を拒否する時の対応

ア 駐車の拒否に当たっては、条例を遵守して行わなければならない。

イ 拒否する時の対応は、細心の注意を払い、適切に行うこと。

(11) 駐車場の全部又は一部を休止する時の対応

県の決定に基づき、駐車場の全部又は一部を休止する場合があります。この場合、県の指示に従い、対応すること。

(12) 行政財産の目的外使用許可に関する業務

携帯アンテナ、自動販売機等の運営に係る行政財産目的外使用許可に関する業務は県が行います。

(13) 災害時等の対応

各施設の状況、設備、資材等を把握し、台風、大雨、その他災害時の対応マニュアルを策定するとともに、資機材等を備えておくこと。又、利用者の安全性確保についても対応マニュアルに明記し、管理人に周知し訓練を行う等、緊急時の対応について十分な対策を講じること。

2 施設及び設備の維持管理に関する業務

施設等の維持管理業務の実施に当たっては、施設の公共性を念頭に置き、各種設備、工作物、植栽等の全般の機能を良好に維持管理、運用し、関係条例、法令の規定に基づき施設全般を常に良好で安全な状態に保つものとする。なお、対象施設設備全般について、故障等の発生又は短期間のうちに確実に故障等が発生すると見込まれる場合は、速やかに修繕工事等を行うものとする。

対象施設設備の概要は（別紙1－2）のとおりであるが、記載のない施設設備等についても施設全般の維持管理の対象に含まれる。なお、業務の全部を他の業者へ再委託することは認められないが、業務の一部については再委託を可能とする。この場合、事前に県の承認を得ることとする。

(1)業務内容

ア 施設維持管理業務

(ア) 施設の維持管理業務の対象範囲

施設の維持管理業務の対象範囲は、施設全般とし、その点検、保守等を実施する。

(イ) 仕様・水準

- ① 部材の劣化、破損、腐食、変形等について調査、診断、判定を行い、迅速に保守、修繕等を行い、施設の性能及び機能が発揮できる状態に保つこと。
- ② 施設内外の通行を妨げず、運営業務に支障をきたさないこと。
- ③ 施設において重大な破損、事故等が発生し、緊急に対処する必要がある場合の被害拡大防止に努めること。

イ 設備機器の運転操作及び監視業務

(ア) 対象設備

- ① 駐車場管制設備機器
- ② その他運営上必要な設備機器

(イ) 運転操作及び監視における留意点等

- ① 機器装置の稼働状態の監視を行い、運転状態の良否の判定及び改善に寄与するよう努めること。
- ② 駐車券切れ、ロール紙切れ等に留意し、不足時には早急に対処すること。

ウ 設備機器の維持管理業務

(ア) 巡視点検業務

各設備、機器装置の正常な運転を維持するため、点検計画表（月・年毎の対象点検機器、点検項目、要領等）を作成し、正確かつ厳重に励行するとともに、その結果を記録しておくこと。

(イ) 定期点検整備

- ① 定期点検については、各設備について、常に正常な機能を維持できるよう、設備系統ごとに定期的に点検対応を行うこと。
- ② 設備機器の定期点検整備については、(別紙 1－2) の項目及び点検回数を最低限とすること。
- ③ 点検により設備が正常に機能しないことが明らかになった場合、又は何らかの悪影響を及ぼすと考えられる場合には、適切な方法（保守、補修、交換、分解整備等）により迅速に対応すること。
- ④ 実施結果は、定期点検整備記録簿に記録し、解析を行うなど効率的な運用を行うこと。
- ⑤ 機械予備品、消耗品等の需給表の作成、改定及び在庫管理を行うこと。
- ⑥ 設備機器の整備、修理等の内容については県に報告すること。

エ 施設（設備機器等含む）の小規模な修繕

(ア) 施設（設備機器等含む）の小規模な修繕とは、修繕工事の経費が 1 件当たり（合理的な理由のある工事単位）100 万円以下のものとする。

(イ) 施設（設備機器等含む）の小規模な修繕については、指定管理者において実施すること。
なお、事前に、県の承認を得ること。（連絡すること）

(ウ) 施設（設備機器等含む）の修繕において、1 件 100 万円を超える場合は、県と協議すること。

※施設、機器の不備又は管理上の瑕疵による事故及び臨時休業等に伴う利用者に対する損害については、指定管理者が負担すること。

オ 清掃業務

施設の環境を維持し、快適な環境を保つため、清掃業務を適切に行うこと。

日常及び定期清掃を行うこと。

(ア) 設備全般について、場所ごとに、日常清掃、定期清掃を組合せ、環境整備に努める。

(イ) 各駐車場の日常清掃、定期清掃の範囲及び回数等については、(別紙1－2)に記載の内容を最低限とし、必要に応じて、その都度強化すること。

カ 備品等管理業務

施設の運営に支障をきたさないよう施設の運営上必要な備品等を確保しておくこと。なお、備品等を購入する場合は、あらかじめ県と協議すること。

キ 施設の消耗品等の調達、取替補充及び処分

(ア) 施設及び設備等の消耗品については、管理台帳を整備したうえ、在庫管理を行い、適時、補充及び交換を行うこと。

(イ) 現在の指定管理者が準備して残った物品等(駐車券など)は、使用を義務付けるものとします。

ク 施設整備不備等による損害賠償

施設設備の不備及び管理上の不備により、利用者の財物等に損害を与えた場合には、指定管理者において賠償すること。

ケ 法令等に基づく業務

指定管理者は、法令等に基づく業務の実施計画を作成し、計画に従って業務を実施するものとし、法改正等により必要となる業務にも対応すること。又、測定、検査、調査その他によって改善変更を要すると認められた事項については、施設設備等の整備修理の中で適切に改善を図ること。

3 駐車場の使用料(駐車料金)の収納に関すること

(1) 使用料の回収、県への納付

ア 使用料は、駐車場利用者から自動車を出場させるときに徴収する。

イ 徴収した使用料は、その日の徴収分(金融機関が休日のときは直近の営業日)を集計及び確認作業を行い、翌日中に納入通知書を添えて指定金融機関に納入する。

ウ 駐車場利用者より徴収する使用料の額は、県が定めるものとし、指定管理者は徴収業務を代行し、県に使用料収入の総額を納付すること。

(2) 駐車券の回収

ア 駐車券は、ジャーナル等で使用枚数を確認するものとし、回収漏れが生じないよう細心の注意を払うこと。

イ 回収した駐車券については、指定管理者が管理し、適切に処分すること。

(3) 駐車券の印刷

駐車券は、指定管理者において印刷し、用意すること。

4 施設の管理に係る報告等に関すること

(1) 施設における事故、トラブル等発生時の関係機関への連絡と報告書提出

ア 施設内で、事故、トラブル等が発生した場合は、的確に状況を把握し、適切な一時対応及び関係機関に連絡を行うこと。

- イ 施設又は施設利用者に被害等があった場合は、迅速かつ適切に対応し、直ちに県に報告し、報告書を提出すること。

(2) 管理報告業務等

- ア 施設利用及び収入状況に関する管理月報、収納金報告書（月報・年報等）を作成し、月報及び収納金報告書については、毎月、年報については、当該年度終了後、県が指定した日までに提出すること。
- イ 業務に関しての日報を作成し、県が提出を求めた場合は提出すること。
- ウ 施設設備保守点検記録を作成し、県が提出を求めた場合は提出すること。
- エ その他随時必要な報告に対応すること。

(3) 施設利用者アンケートの実施及び報告

指定管理者は、施設利用者の利便性の向上を図るためアンケートの実施などにより、施設利用者の意見を聴取し、その内容及び業務改善の対応について、県に報告すること。

(4) 帳簿類等の提出要求

監査委員等が事務を監査するために必要があると認める場合、指定管理者に対して帳簿書類その他の記録の提出を求める場合がある。この場合、指定管理者は、県の求めに応じて必要な帳簿類を提出しなければならない。

5 施設利用の促進に関する業務

(1) 広報・PRにより施設利用の拡大を図ること

施設の利用促進を図るため、積極的かつ効果的に広報・宣伝を行うこと。

(2) 利用者サービスの向上等により施設利用の拡大を図ること

ホームページの作成を行うなど、利用者のサービス向上等により施設の利用拡大を図ること。

6 その他事項

(1) 業務終了時の取り扱い

指定管理者は、指定管理業務の終了時において、全ての施設が本仕様書で提示した性能を発揮できる機能を有し、著しい損傷が無い状態とすること。又、次期指定管理者へ業務を引き継ぐ場合、業務期間終了時の3か月前を目処に、業務に支障が生じないように適切に引き継ぎ業務を開始するものとする。

ア 指定管理者が設置した備品等

(ア) 指定管理業務の終了時、指定管理者は、自らの費用負担において設置した備品等を撤去し原状回復することを原則とする。

(イ) 指定管理者は、前号の備品等を県に無償譲渡することを望む場合は、県にその旨を申し出、県が承認した場合は、無償で譲渡できるものとする。この場合、県は譲渡に係る一切の費用を負担しないものとする。

(ウ) 指定管理者は、次期指定管理者との間で（ア）の備品等の譲渡に合意し、県が承認した場合は、それらを撤去せずに次の指定管理者に引き継ぐことができるものとする。

イ 管球類等管理用消耗品の管理

管球類、事務用消耗品等は、業務終了時に業務開始時の残数を確保すること。このため指定管理業務開始時に、品目、数量等内容確認書を作成し、県に提出するとともに、指定管理者においても保管すること。

ウ 関連資料等の引継ぎ

- (ア) 指定管理者は、指定管理運営業務に係る全ての資料を県に引き渡さなければならない。
- (イ) 指定管理者は、本施設を県又は県が指定する第三者が継続使用できるよう、県に本施設の管理運営業務に関して必要な事項を説明すること。
- (ウ) 指定管理者は、施設や設備に係る操作要領、申し送り事項及びその他の資料（本施設の修繕等履歴及び利用に係るデータを含む。）を県に引き渡すこと。
- (エ) 指定管理業務の満了又は指定管理者の指定取り消し等に伴う業務の引継ぎは、適性かつ十分に行うこと。

(2) その他

- ア 玉藻地区ハーバープロムナード第1駐車場、港湾緑地第2駐車場及びキャッスルプロムナード駐車場に備え付けのインターホンは現指定管理者において委託契約をした警備会社に繋がっている（港湾緑地第3駐車場には備え付けのインターホンがないため管理事務所と防災センターの連絡先を表示）。インターホンの接続変更等を行う場合は、県と協議することとし、その変更等に係る費用は指定管理者が負担すること。
- イ 指定管理者から提案された利用者及び使用料収入の増加策は、公の施設としての性格から採択できない場合がある。
- ウ 管理等についての疑義が生じた場合は、県と指定管理者との協議によること。

9 高松駅南交通広場駐車場の管理

第1編 駐車場の概要

管理を行う施設の概要は次のとおりです。

施設概要	(1) 高松市立高松駅南交通広場駐車場 ア 所在地 高松市浜ノ町1番31号 イ 収容台数 36台（普通車） ウ 延面積 926.00㎡ エ 設備概要 照明灯（単独柱）、防犯カメラ、料金精算機、駐車車両管理用フラップ、標識・看板類
駐車させることのできる自動車	道路交通法第3条に規定する普通自動車で、車体（積載物又は取付物を含む。）の大きさが、長さ5m以下、幅2m以下のものとする。
駐車期間の制限	1週間を超えて引き続き駐車してはならない。ただし、市長が特に必要と認めた場合は、この限りでない。
利用の制限	次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、使用をさせないことができる。 (1) 発火、引火又は爆発のおそれのある物品を積載しているとき。 (2) 著しく悪臭を発する物品を積載しているとき。 (3) 駐車場の施設・設備等を損傷するおそれのあるとき。 (4) 前3号に掲げるもののほか、駐車場の管理上支障があるとき。
禁止行為	駐車場における禁止行為は、次のとおりとする。 (1) 施設等を汚損し、又は損傷すること。 (2) 駐車中の他の自動車を汚損し、又は損傷すること。 (3) 他の自動車の駐車を妨げること。 (4) 区画線に従わないで自動車を駐車させること。 (5) 前各号に掲げるもののほか、駐車場の管理に支障を及ぼすおそれのある行為をすること。
営業時間	午前零時から午後12時まで（年中無休）
使用料	1台につき駐車時間30分間までごとに150円とする。 ただし、駐車時間が20分間未満である場合は、無料とする。

第2編 施設の運営

1 施設の運営に関する業務

施設の運営に当たっては、公営駐車場の公共性を念頭に置き、施設利用者が、平等に安全・安心して利用でき、かつ施設の効用を最大限発揮できること、及び高松市立高松駅南交通広場駐車場条例、同施行規則、その他関係法令、条例等に基づき適切な人員を配置し、管理運営に努めるものとする。

主な内容は、下記のとおりであるが、施設を供用していく上で必要な記載のない事項についても、指定管理者の業務内容に含まれる。

(1) 管理業務の概要

ア 管理部門

駐車場の供用に関し、次の業務を行う。

日常業務	前日の売上計算（翌日の釣銭準備、金種別計算書作成）
	駐車場場内の簡易な清掃
	金融機関への売上金納付の準備
	売上金を市の口座へ納付
	トラブル対応（機器の故障、釣銭切れ、ロール紙切れ）
	紙幣の両替、釣銭の両替
	駐車場内巡視
	精算機から現金、ロール紙の回収、釣銭補充
	現金確認、整理

イ 事務部門

（ア）駐車場の供用に関し、次の業務を行う。

日常業務	駐車場管理システムへ必要事項入力の上、入出庫台数、売上金等の確認
	売上計算書等の作成
	受託者収入計算書の作成、台帳記載等
	金種票を作成し、現金確認の上、金融機関に納入
	場内の点検
	各種トラブルの対応（機器の故障、苦情等）

（イ）次の契約を行い、履行確認及び支払を行う。（自らが業務を行っても構わない。）

契 約 ・ 支払業務	年 度 当 初	機械設備管理業務
		機械設備点検業務
	随 時	管理経費等の支払（電話料金等）
そ の 他	月 報 ・ 年 報	月当初に、前月分のデータ（月報）を出力し提出
		年度当初に、前年度分のデータ（年報）を出力し提出
	物品等の調達	ロール紙、その他消耗品等の在庫を把握し、不足分の発注・台帳整理
	簡 易 な 修 繕	設備・機器類等の故障等の状況を把握し修繕
	そ の 他	駐車場周辺施設の催物等の情報収集

（２）配置人員等

ア 指定管理者は業務全体の管理責任者を定めること（他駐車場との兼務も可）。

イ 業務を行う者は、その内容に応じ、必要な知識及び技能を有するものとし、又、法令等により業務を行う者の資格が定められている場合は、当該資格を有する者が業務を行う。

ウ 緊急時には、早急に対応できる体制をとるなど、円滑な駐車場運営が行える、適正な人員配置とすること。

エ 管理人の勤務形態は、駐車場の運営及び利用者等に支障がないように定めること。

オ 管理人に対して、施設の管理運営に必要な研修を実施すること。

（３）駐車場の利用者の対応

ア 駐車場の利用者について、円滑な駐車場利用ができるよう、的確に対応すること。

イ 各種問合せ、利用者からの苦情等にも、適切に対応すること。

（４）車両の入出庫の管理

ア 安全かつ適正な入出庫の指導。

イ 不正な行為の防止。

(5) 駐車場設備機器の操作及び故障時の対応

- ア 駐車場設備の操作に関しては、管理人が、的確に内容を把握し、駐車場の安全性、経済性及び利用者の快適条件等を勘案して適性に行う。
- イ 設備機器の異常発見に留意し、事故の発生を未然に防止するとともに、不測の故障発生時にはその拡大を防止し、二次災害の発生を抑えるように努めること。

(6) 問合せ、苦情及び事故等の対応

- ア 施設に関する問い合わせ、苦情等に対しては、丁寧かつ適切に対応し、利用者の満足が得られるよう努めること。
- イ 駐車場内での車両事故、その他トラブル等が発生した場合は、適切かつ迅速に対処するとともに、速やかに報告書を作成し、市に報告すること。

(7) 料金精算機等の釣り銭補充及び利用者の両替対応

- ア 料金清算機等の釣り銭、両替金等は指定管理者で準備すること。
- イ 料金精算機は、定期的に釣り銭補充を行い、釣り銭切れ等のトラブルが発生しないようにすること。
- ウ 管理事務所（駅前広場地下）等で、両替金を準備し、駐車場の利用者の両替の対応をすること。（24時間対応できる体制をとること。）
なお、各駐車場備え付けの自動精算機は1万円札、5千円札、2千円札には対応していないので、注意すること。

(8) 各種保険への加入

施設賠償責任保険については（別紙1－2）の「3施設賠償責任保険」と同等以上の内容で契約すること。

(9) 放置自動車への対応

駐車場内に、長期間駐車している車両については、必要な措置を行うとともに、市へ報告するものとする。

(10) 駐車を拒否する時の対応

- ア 駐車の拒否に当たっては、条例を遵守して行わなければならない。
- イ 拒否する時の対応は、細心の注意を払い、適切に行うこと。

(11) 駐車場の全部又は一部を休止する時の対応

市の決定に基づき、駐車場の全部又は一部を休止する場合があります。この場合、市の指示に従い、対応すること。

(12) 行政財産の目的外使用許可に関する業務

携帯アンテナ、自動販売機等の運営に係る行政財産目的外使用許可に関する業務は市が行います。

(13) 災害時等の対応

各施設の状況、設備、資材等を把握し、台風、大雨、その他災害時の対応マニュアルを策定するとともに、資機材等を備えておくこと。又、利用者の安全性確保についても対応マニュアルに明記し、管理人に周知し訓練を行う等、緊急時の対応について十分な対策を講じること。

2 施設及び設備の維持管理に関する業務

施設等の維持管理業務の実施に当たっては、施設の公共性を念頭に置き、各種設備、工作物等の全般の機能を良好に維持管理、運用し、関係条例、法令の規定に基づき施設全般を常に良好で安全な状態に保つものとする。なお、対象施設設備全般について、故障等の発生又は短期間のうちに確実に故障等が発生すると見込まれる場合は、速やかに修繕工事等を行うものとする。

対象施設設備の概要は（別紙１－２）のとおりであるが、記載のない施設設備等についても施設全般の維持管理の対象に含まれる。なお、業務の全部を他の業者へ再委託することは認められないが、業務の一部については再委託を可能とする。この場合、事前に市の承認を得ることとする。

（１）業務内容

ア 施設維持管理業務

（ア）施設の維持管理業務の対象範囲

施設の維持管理業務の対象範囲は、施設全般とし、その点検、保守等を実施する。

（イ）仕様・水準

- ① 部材の劣化、破損、腐食、変形等について調査、診断、判定を行い、迅速に保守、修繕等を行い、施設の性能及び機能が発揮できる状態に保つこと。
- ② 施設内外の通行を妨げず、運営業務に支障をきたさないこと。
- ③ 施設において重大な破損、事故等が発生し、緊急に対処する必要がある場合の被害拡大防止に努めること。

イ 設備機器の運転操作及び監視業務

（ア）対象設備

- ① 駐車場管制設備機器
- ② その他運営上必要な設備機器

（イ）運転操作及び監視における留意点等

- ① 機器装置の稼働状態の監視を行い、運転状態の良否の判定及び改善に寄与するよう努めること。
- ② ロール紙切れ等に留意し、不足時には早急に対処すること。

ウ 設備機器の維持管理業務

（ア）巡視点検業務

各設備、機器装置の正常な運転を維持するため、点検計画表（月・年毎の対象点検機器、点検項目、要領等）を作成し、正確かつ厳重に励行するとともに、その結果を記録しておくこと。

（イ）定期点検整備

- ① 定期点検については、各設備について、常に正常な機能を維持できるよう、設備系統ごとに定期点検を行うこと。
- ② 設備機器の定期点検整備については、（別紙１－２）の項目及び点検回数を最低限とすること。
- ③ 点検により設備が正常に機能しないことが明らかになった場合、又は何らかの悪影響を及ぼすと考えられる場合には、適切な方法（保守、補修、交換、分解整備等）により迅速に対応すること。
- ④ 実施結果は、定期点検整備記録簿に記録し、解析を行うなど効率的な運用を行うこと。
- ⑤ 機械予備品、消耗品等の需給表の作成、改定及び在庫管理を行うこと。
- ⑥ 整備、修繕等の報告

設備機器の整備、修理等の内容については市に報告すること。

エ 施設（設備機器等含む）の小規模な修繕

（ア）施設（設備機器等含む）の小規模な修繕とは、修繕工事の経費が1件当たり（合理的な理由のある工事単位）100万円以下のものとする。

（イ）施設（設備機器等含む）の小規模な修繕については、指定管理者の負担により実施すること。なお、事前に、市の承認を得ること。（連絡すること）

（ウ）施設（設備機器等含む）の修繕において、1件100万円を超える場合は、市と協議すること。

※施設、機器の不備又は管理上の瑕疵による事故及び臨時休業等に伴う利用者に対する損害については、指定管理者が負担すること。

オ 清掃業務

施設の環境を維持し、快適な環境を保つため、清掃業務を適切に行うこと。

日常清掃及び定期清掃を行うこと。

（ア）設備全般について、場所ごとに、日常清掃、定期清掃を組合せ、環境整備に努める。

（イ）各駐車場の日常清掃等の範囲及び回数等については、（別紙1－2）に記載の内容を最低限とし、必要に応じて、その都度強化すること。

カ 備品等管理業務

施設の運営に支障をきたさないよう施設の運営上必要な備品等を確保しておくこと。なお、備品等を購入する場合は、あらかじめ市と協議すること。

キ 施設の消耗品等の調達、取替補充及び処分

（ア）施設及び設備等の消耗品については、管理台帳を整備したうえ、在庫管理を行い、適時、補充及び交換を行うこと。

（イ）現在の指定管理者が準備して残った物品等は、使用を義務付けるものとします。

ク 管理不備等による損害賠償

施設設備の不備及び管理上の不備により、施設又は利用者に損害を与えた場合には、指定管理者において賠償すること。

ケ 法令等に基づく業務

指定管理者は、法令等に基づく業務の実施計画を作成し、計画に従って業務を実施するものとし、法改正等により必要となる業務にも対応すること。又、測定、検査、調査その他によって改善変更を要すると認められた事項については、施設設備等の整備修理の中で適切に改善を図ること。

3 駐車場の使用料（駐車料金）の収納に関すること

（1）使用料の回収、市への納付

ア 使用料は、駐車場利用者から自動車を出場させるときに徴収する。

イ 徴収した使用料は、その日の徴収分（金融機関が休日のときは直近の営業日）を集計及び確認作業を行い、翌日中に納入通知書を添えて指定金融機関に納入する。

ウ 駐車場利用者から徴収する利用料の額は、市が定めるものとし、指定管理者は徴収業務を代行し、市に使用料収入の総額を納付すること。

4 施設の管理に係る報告等に関すること

(1) 施設における事故、トラブル等発生時の関係機関への連絡と報告書提出

- ア 施設内で、事故、トラブル等が発生した場合は、的確に状況を把握し、適切な一時対応及び関係機関に連絡を行うこと。
- イ 施設又は施設利用者に被害等があった場合は、迅速かつ適切に対応し、直ちに市に報告し、報告書を提出すること。

(2) 管理報告業務等

- ア 施設利用及び収入状況に関する管理月報、収納金報告書（月報・年報等）を作成し、月報及び収納金報告書については、毎月、年報については、当該年度終了後、市が指定した日までに提出すること。
- イ 業務に関する日報を作成し、市が提出を求めた場合は提出すること。
- ウ 施設設備保守点検記録を作成し、市が提出を求めた場合は提出すること。
- エ その他随時必要な報告を行うこと。

(3) 施設利用者アンケートの実施及び報告

指定管理者は、施設利用者の利便性の向上を図るためアンケートの実施などにより、施設利用者の意見を聴取し、その内容及び業務改善の対応について、市に報告すること。

(4) 帳簿類等の提出要求

監査委員等が事務を監査するために必要があると認めた場合、指定管理者に対して帳簿書類その他の記録の提出を求める場合がある。この場合、指定管理者は、市の求めに応じて必要な帳簿類を提出しなければならない。

5 施設利用の促進に関する業務

(1) 広報・PRにより施設利用の拡大を図ること

施設の利用促進を図るため、積極的かつ効果的に広報・宣伝を行うこと。

(2) 利用者サービスの向上等により施設利用の拡大を図ること

ホームページの作成を行うなど、利用者のサービス向上等により施設の利用拡大を図ること。

6 その他事項

(1) 業務終了時の取り扱い

指定管理者は、指定管理業務の終了時において、全ての施設が本仕様書で提示した性能を発揮できる機能を有し、著しい損傷が無い状態とすること。又、次期指定管理者に業務を引き継ぐ場合、業務期間終了時の3か月前を目処に、業務に支障が生じないように適切に引き継ぎ業務を開始するものとする。

ア 指定管理者が設置した備品等

(ア) 指定管理業務の終了時、指定管理者は、自らの費用負担において設置した備品等を撤去し原状回復することを原則とする。

(イ) 指定管理者は、前号の備品等を県に無償譲渡することを望む場合は、市にその旨を申し出、市が承認した場合は、無償で譲渡できるものとする。この場合、市は譲渡に係る一切の費用を負担しないものとする。

(ウ) 指定管理者は、次期指定管理者との間で（ア）の備品等の譲渡に合意し、市が承認した場合は、それらを撤去せずに次の指定管理者に引き継ぐことができるものとする。

イ 管球類等管理用消耗品の管理

管球類、事務用消耗品等は、業務終了時に業務開始時の残数を確保すること。このため指定管理業務開始時に、品目、数量等内容確認書を作成し、市に提出するとともに、指定管理者においても保管すること。

ウ 関連資料等の引継ぎ

(ア) 指定管理者は、指定管理運営業務に係る全ての資料を市に引き渡さなければならない。

(イ) 指定管理者は、本施設を市又は市が指定する第三者が継続使用できるよう、市に本施設の管理運営業務に関して必要な事項を説明すること。

(ウ) 指定管理者は、施設や設備に係る操作要領、申し送り事項及びその他の資料（本施設の修繕等履歴及び利用に係るデータを含む。）を市に引き渡すこと。

(エ) 指定管理業務の満了又は指定管理者の指定取り消し等に伴う業務の引継ぎは、適性かつ十分に行うこと。

(2) その他

ア 駐車場に備え付けのインターホンが現指定管理者において委託契約をした警備会社に繋がっている。インターホンの接続変更等を行う場合は、市と協議することとし、その変更等に係る費用は指定管理者が負担すること。

イ 指定管理者から提案された利用者及び使用料収入の増加策は、公の施設としての性格から採択できない場合があること。

ウ 管理等についての疑義が生じた場合は、市と指定管理者との協議によること。

【参考資料】

高松シンボルタワー地下駐車場・多目的広場地下駐車場・高松駅前広場地下駐車場・高松駅前広場地下自転車駐車場の施設における「業務仕様書 1 ページ 1 各施設の維持管理業務（共通事項）－（１）設備保守点検業務等－注ア）の網掛け部分」の機械警備業務、人的警備業務（再委託分）の参考仕様書

駐車場等管理業務仕様書（警備会社再委託分）

1 機械警備業務委託

（１）高松駅前広場地下駐車場、高松駅前広場地下自転車駐車場

ア）機械警備

- ・地下駐車場 B 1 管理事務室出入口 4 カ所（ドア 4）
- ・地下駐車場 B 1 管理事務室窓 2 カ所（はめ込み、引き違い 2）
- ・地下駐車場車両出入口 3 カ所（シャッター 3、ドア 2）
- ・地下駐車場内 8 カ所（シャッター 3、ドア 5）
- ・駅前広場階段出入口 3 カ所（シャッター 1、ドア 2）
- ・地下駐輪場出入口 3 カ所（シャッター 3、ドア 3）
- ・その他（火災報知警報、水害時冠水警報、公衆便所多目的トイレ警報（地上部高松駅前広場公衆便所含む）、パッシブセンサー、金庫感知器、カード型送信機等）
- ・恐喝事件発生時に通報する隠しスイッチ（カード型送信機でも 可）
管理事務室内 2 カ所
- ・警報機械類の故障時は 1 日 3 回程度の夜間巡視を実施するものとする。

イ）参考

- ・駐輪場出入口斜路部分には埋め込み配管あり。
- ・地下 1 階は天井のラックにて配線されたい。
- ・地下駐車場と地下自転車駐車場及び中央監視室においては、それぞれ配線系統を分けて、個別警備のセット及び解除ができるようにすること。

（２）高松シンボルタワー地下駐車場

ア）機械警備

- ・地下駐車場 B 1 管理事務室出入口 2 カ所（ドア 2）
- ・地下駐車場 B 1 管理事務室窓 1 カ所（引き違い 1）
- ・地下駐車場内 29 カ所（シャッター 9、ドア 20）
- ・その他（火災報知警報、呼出用警報、パッシブセンサー、カード型送信機等）
- ・恐喝事件発生時に通報する隠しスイッチ（カード型送信機でも 可）
管理事務室内 2 カ所
- ・警報機械類の故障時は 1 日 3 回程度の夜間巡視を実施するものとする。

（３）多目的広場地下駐車場

ア）機械警備

- ・地下駐車場 B 1 管理事務室出入口 2 カ所（ドア 2）
- ・地下駐車場 B 1 管理事務室窓 2 カ所（引き違い 2）
- ・地下駐車場車両出入口 3 カ所（シャッター 3、ドア 3）
- ・多目的広場階段出入口 3 カ所（ドア 3）
- ・その他（火災報知警報、水害時冠水警報、公衆便所多目的トイレ警報、パッシブセンサー、カード型送信機等）
- ・恐喝事件発生時に通報する隠しスイッチ（カード型送信機でも 可）

- ・警報機械類の故障時は 1 日 3 回程度の夜間巡視を実施するものとする。

2 人的警備業務

(1) 高松駅前広場地下駐車場、高松駅前広場地下駐輪場

ア) 管理員派遣業務に関すること

A) 早朝開場業務 (AM 3 : 3 0 頃～AM 7 : 0 0 頃)

- ・ AM 4 : 0 0 までに
地下駐輪場照明点灯、駐輪場場内巡回
- ・ 地下駐輪場、4 ～ 6 番階段入口シャッター開放、場内 I T V 監視
1 番入口ドア開放、1 番入口 E V 運転開始 (階層 1 F ～ B 1 間)
- ・ AM 6 : 0 0 までに
地下駐車場照明 ON、駐車場場内巡回
- ・ AM 6 : 3 0 までに
地下駐車場車輛出口シャッター開放、違法駐車防止チェーン撤去
2 ・ 3 番入口シャッター、ドアの開放
1 番入口 E V 運転階層変更 (1 F ～ B 1 間を 1 F ～ B 2 間に)
3 番入口 E V 運転階層変更 (2 F ～ 1 F 間を 2 F ～ B 2 間に)
- ・ AM 6 : 3 0
指定管理者職員出勤、業務引継後管理業務終了 (AM 7 : 0 0)

B) 深夜閉場業務 (PM 1 1 : 0 0 ～AM 2 : 3 0 頃)

- ・ PM 1 1 : 0 0
警備会社管理員出勤、指定管理者職員から業務引継、指定管理者職員は帰宅 (PM 1 1 : 3 0)、
場内 I T V 監視
- ・ PM 1 2 : 0 0 を過ぎて
1 番入口 E V 運転階層変更 (1 F ～ B 2 間を 1 F ～ B 1 間に)
3 番入口 E V 運転階層変更 (2 F ～ B 2 間を 2 F ～ 1 F 間に)
地下駐車場車輛出口シャッター閉鎖、違法駐車防止チェーン設置
ホテル地下通路シャッター閉鎖、ホテル側のシャッター閉鎖確認、
2、3 番入口シャッター・ドアの閉鎖、駐車場場内巡回 (駐車車輛ナンバーを記録)、地下駐車場照明消灯
- ・ AM 2 : 0 0 を過ぎて
1、4 ～ 6 番出入口シャッター・ドアの閉鎖、1 番出入口 E V 運転停止
駐輪場場内巡回、地下駐輪場照明 OFF
夜間警報セット、管理事務室の施錠、管理業務終了

C) 異常時警報の通報、対応業務

地下駐車場、地下駐輪場設備
駅前広場エスカレーター、エレベーター

公衆便所（多目的トイレ）、地下駐車場多目的トイレ
火災報知警報、水害時冠水警報

イ) その他

別途、臨時的に夜間の開場閉場業務を発注する予定がある

(2) 高松シンボルタワー地下駐車場

ア) 管理員派遣業務に関すること

A) 早朝開場業務（AM5：30頃～AM7：00頃）

・AM5：30頃

警備会社管理員出勤、連絡通路から管理事務室へ入り、夜間警報解除

・AM6：00までに

地下駐車場照明ON、駐車場場内巡回、場内I T V監視

・AM6：30までに

ホール棟出入口、タワー棟出入口及び駐輪場出入口 自動ドア開放
車両出入口 シャッター開放

・AM6：30

指定管理者職員出勤、業務引継後管理業務終了（AM7：00）

B) 深夜閉場業務（PM11：00～AM1：00頃）

・PM11：00

警備会社管理員出勤、指定管理者職員から業務引継、指定管理者職員は帰宅（PM11：30）、
場内I T V監視

・PM11：30

多目的広場管理事務所へ移動

・PM12：00を過ぎて

場内巡回（駐車車両ナンバーを記録）、地下駐車場照明OFF
夜間警報セット、管理事務室の施錠、連絡通路から退出・施錠、管理業務終了
ホール棟出入口、タワー棟出入口及び駐輪場出入口 自動ドア閉鎖
車両出入口 シャッター閉鎖

C) 異常時警報の通報、対応業務

地下駐車場設備、火災報知警報、水害時冠水警報

(3) 多目的広場地下駐車場

ア) 管理員派遣業務に関すること

A) 早朝開場業務（AM5：30頃～AM7：00頃）

・AM5：30頃

警備会社管理員出勤、3番入口から管理事務室へ入り、夜間警報解除

- ・ AM6：00までに
地下駐車場照明点灯、駐車場場内巡回、場内 I T V 監視
- ・ AM6：30までに
車両出入口シャッター開放、違法駐車防止チェーン撤去
1・2番入口シャッター、ドアの開放、E V 運転開始
- ・ AM6：30
指定管理者職員出勤、業務引継後管理業務終了（AM7：00）

B) 深夜閉場業務（PM11：00～AM1：00頃）

- ・ PM11：30
指定管理者職員から業務引継、指定管理者職員は帰宅（PM11：30）、
場内 I T V 監視
- ・ PM12：00を過ぎて
E V 運転停止、車輛出入口シャッター閉鎖、違法駐車防止チェーン設置
1～3番出入口シャッター・ドアの閉鎖、場内巡回（駐車車輛ナンバーを記録）、
地下駐車場照明 O F F
夜間警報セット、管理事務室の施錠、3番階段から退出・施錠、管理業務終了

C) 異常時警報の通報、対応業務

地下駐車場設備、エレベーター
多目的広場多目的トイレ、地下駐車場多目的トイレ
火災報知警報、水害時冠水警報

イ) その他

別途、臨時的に夜間の開場閉場業務を発注する予定がある

個別仕様書

1 設備管理業務

(1) 国際会議場、展示場設備管理業務

- ア 調光装置・照明器具・化粧扉、遮光扉・吊物装置・
展示パネル、管理用シャッター保守点検業務仕様書 1～ 9 ページ
- イ 音響映像設備保守点検業務仕様書 10 ページ
- ウ 国際会議場、展示場等設備オペレート等業務仕様書 11 ページ

(2) 多目的広場管理業務仕様書 12～ 15 ページ

(3) 多目的広場地下駐車場

- ア 設備定期点検業務仕様書 16～ 26 ページ
- イ 設備巡回管理業務仕様書 27～ 34 ページ
- ウ 設備機器表 35～ 49 ページ

(4) 高松シンボルタワー地下駐車場

- ア 設備定期点検業務仕様書 50～ 52 ページ
- イ 設備機器表 53～ 54 ページ
- ウ 参考資料
 - 設備定期点検業務（再委託分） 55～ 61 ページ
 - 設備巡回管理業務（再委託分） 62～ 69 ページ
 - 設備機器表（再委託分） 70～ 77 ページ

(5) 玉藻地区ハーバープロムナード第1駐車場

港湾緑地第2駐車場、港湾緑地第3駐車場、キャッスルプロムナード駐車場

- ア 定期点検業務仕様書 78～ 79 ページ
- イ 主要設備一覧表 80～ 82 ページ

(6) 高松駅前広場地下駐車場、高松駅前広場地下自転車駐車場

- ア 設備定期点検業務仕様書 83～ 93 ページ
- イ 設備巡回管理業務仕様書 94～ 101 ページ
- ウ 設備機器表 102～ 124 ページ

(7) 高松駅南交通広場駐車場

- ア 定期点検業務仕様書 125～ 126 ページ
- イ 主要設備一覧表 127 ページ

2 清掃業務

(1) 高松シンボルタワー県施設清掃業務

- ア 清掃業務仕様書 128～ 137 ページ
- イ 清掃面積・数量表 138～ 164 ページ

(2) 屋外広場、駐車場等清掃業務

- ア 清掃業務仕様書 165～ 168 ページ
- イ 面積内訳書 169 ページ

3 施設賠償責任保険 170～ 172 ページ

4 観光情報センター受付業務 173 ページ

5 多目的広場植栽管理業務 174～ 175 ページ

**国際会議場、展示場
設備管理業務仕様書**

調光装置点検業務仕様書

1. 国際会議場

No.	点 検 対 象 設 備	数 量	点 検 項 目
1	主幹・調光盤	2 面	<div>1. 外観、構造</div> <ul style="list-style-type: none"> ・各部品の損傷、亀裂確認 ・各接続端子の増締め ・配線、半田付け箇所の確認 ・表示灯の点灯確認 ・盤、卓内部の清掃 ・記憶と再生動作の確認 ・負荷点灯確認 <div>2. 動作確認・特性試験</div> <ul style="list-style-type: none"> ・入力電圧測定（各相電圧） ・調光出力電圧測定 （ユニット出力電圧特性） ・直流電源出力電圧 <div>3. 絶縁抵抗測定</div> <div>4. コンセントの損傷、亀裂確認</div>
2	操作卓	1 台	
3	ケーブルリール	2 台	

照明器具点検業務仕様書

1. 国際会議場

No.	点 検 対 象 設 備	数 量	点 検 項 目
1	スポットライト	6 台	1. ケーブルの損傷、亀裂確認 2. ケーブル縄れの確認 3. 接続端子部の増締め 4. 点灯確認 5. 絶縁抵抗測定

化粧扉、遮光扉点検業務仕様書

1. 国際会議場

点検名	機器数	回数
化粧扉、遮光扉保守点検		
化粧扉設備点検・調整	1 式	2 / 年
遮光扉設備点検・調整	1 式	2 / 年

吊物装置点検業務仕様書

1. 国際会議場

対象設備	数量	点検内容
美術ボタン	3 本	<div>1. ワイヤー、滑車、ガイドレール</div> <div>各部品亀裂損傷確認</div> <div>各部端子増締め</div> <div>ボタンレベル調整</div> <div>カウンターウェイト調整</div> <div>リミッター調整</div> <div>各所清掃</div> <div>各機能動作確認</div> <div>2. マ シ ン</div> <div>各部端子増締め</div> <div>運転中の異音、振動確認</div> <div>制動力の確認</div> <div>停止位置の確認</div> <div>3. 制 御 盤</div> <div>各部品亀裂損傷確認</div> <div>各部端子増締め</div> <div>配線の劣化、ハンダ箇所の確認</div> <div>供給電源電圧測定</div> <div>各表示灯の確認</div> <div>各動作機能確認</div> <div>4. 電気特性</div> <div>絶縁抵抗測定</div>
照明ボタン	2 本	
制 御 盤	1 面	
操 作 盤	1 面	

調光装置点検業務仕様書

2. 展 示 場

No.	点 検 対 象 設 備	数 量	点 検 項 目
1	主幹・調光盤	2 面	<p>1. 外観、構造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部品の損傷、亀裂確認 ・各接続端子の増締め ・配線、半田付け箇所の確認 ・表示灯の点灯確認 ・盤、卓内部の清掃 ・記憶と再生動作の確認 ・負荷点灯確認 <p>2. 動作確認・特性試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入力電圧測定（各相電圧） ・調光出力電圧測定 （ユニット出力電圧特性） ・直流電源出力電圧 <p>3. 絶縁抵抗測定</p> <p>4. コンセントの損傷、亀裂確認</p>
2	操作卓	3 台	
3	ケーブルリール	2 台	

照明器具点検業務仕様書

2. 展 示 場

No.	点 検 対 象 設 備	数 量	点 検 項 目
1	スポットライト	12台	1. ケーブルの損傷、亀裂確認 2. ケーブル縄れの確認 3. 接続端子部の増締め 4. 点灯確認 5. 絶縁抵抗測定

吊物装置点検業務仕様書

2. 展 示 場

対象設備	数量	点検内容
美術ボタン	2 本	1. ワイヤー、滑車、ガイドレール 各部品亀裂損傷確認 各部端子増締め ボタンレベル調整 カウンターウェイト調整 リミッター調整 各所清掃 各機能動作確認 2. マ シ ン 各部端子増締め 運転中の異音、振動確認 制動力の確認 停止位置の確認 3. 制 御 盤 各部品亀裂損傷確認 各部端子増締め 配線の劣化、ハンダ箇所の確認 供給電源電圧測定 各表示灯の確認 各動作機能確認 4. 電気特性 絶縁抵抗測定
照明ボタン	2 本	
制 御 盤	1 面	
操 作 盤	2 面	

展示パネル、間仕切りパネル、管理用シャッター点検業務仕様書

2. 展示場

点検名	機器数	回数
<u>展示パネル・間仕切りパネル保守点検</u> 移動展示パネル点検・調整 レール、クロスレール調整（交差部レール） 間仕切りパネル点検・調整 レール、クロスレール調整（交差部レール）	2 8 枚 1 4 枚	1 / 年
<u>管理用シャッター点検</u> 電動スチールシャッター 上下限リミットスイッチの点検調整	5 台	2 / 年

音響映像設備保守点検業務仕様書

1. 音響映像設備等保守点検

項 目	数量	単位	摘 要	備 考
○かがわ国際会議場音響映像設備保守点検	1	式	年2回点検	
○かがわ国際会議場同時通訳設備保守点検	1	式	年2回点検	
○展示場音響映像設備保守点検	1	式	年2回点検	
○上記システム点検	1	式	年2回点検	

国際会議場、展示場等設備オペレート等業務仕様書

1. 概要

「かがわ国際会議場」「展示場」等において開催される国際会議や国内会議また各種展示会等について、当施設が有する設備を十分に熟知した上で機器の設営・撤去及び開催時において、機器等の操作説明等を実施し、会議・展示会等の円滑な運営を計るものである。

2. 業務の内容

- ① 「国際会議場」「展示場」等における音響設備、照明設備、映像設備等のシステムガイダンス
- ② 「国際会議場」「展示場」等における音響設備、照明設備、映像設備等の操作説明
- ③ 「国際会議場」「展示場」等における全設備・機器の点検とメンテナンスアドバイス

3. 業務体制

- ① 円滑な運営が可能な人員を配置すること
- ② 同一日に複数団体の利用(午前利用と夜間利用の組み合わせに対応)がある場合に対応できる人員配置とすること

4. 従事者の業務実施上の留意点

- ① 業務の実施にあたっては、常に来館者の立場に立ち、親切、丁寧、適切かつ迅速な対応を心がけること。
- ② 業務の実施にあたっては、施設の概要・行事・催事などの状況を常に把握しておくこと。

**多目的広場
管理業務仕様書**

1 噴水施設等の維持管理

1. 一般事項

1) 目的

本仕様書は、サンポート高松多目的広場噴水施設及び公共用歩廊(キャノピー)の各設備機器機能を、常に正常に維持するための定期的な点検及び調整業務等を実行するに当たっての、業務内容を定めるものである。

2) 業務履行

本設備がサンポート高松多目的広場の重要な施設であることを十分認識し、本仕様書及びその他関係書類等に基づき、係員の指示に従って誠実かつ効率的に業務を遂行すること。

3) 定期点検業務の実施

- ①定期点検整備業務の実施に当たっては、予防保全の趣旨を原則として設備が常に正常な機能を発揮する状態に保つようにすること。
- ②業務実施の細目については、第2章の内容に基づいて作業を実施すること。

4) 故障修理等

定期点検時に発見した異常あるいは運転中に発生した故障等で、大規模な修理は本維持管理業務の範囲外とし、その対策については別途協議するものとする。

5) 報告等

業務の執行に当たっては次の書類を作成し、係員に提出して承認を受けるものとする。

- ①定期点検報告
- ②従業者名簿一覧
- ③その他係員が必要と認め指示するもの

6) 安全管理

受託者は、作業中常に安全管理に留意し、作業従事者に適宜安全教育を実施して労働災害の防止に努めるものとする。

7) 法令等の遵守

雇用者及び使用者として、労働関係法令等を遵守すること。

2. 噴水施設維持管理業務内容

1) 維持管理範囲

維持管理範囲は、噴水施設に関する下記設備（附属機器を含む）とする。

①広場噴水ポンプ	1 台
②満潮ポンプ	1 台
③ヘアーキャッチャー（広場噴水ポンプ用）	1 台
④ヘアーキャッチャー（満潮ポンプ用）	1 台
⑤ヘアーキャッチャー（ろ過機用）	1 台
⑥ろ過機	1 台
⑦排水ポンプ	2 台
⑧塩素滅菌装置	1 台
⑨PH自動管理装置	1 台
⑩自動給水装置	1 台
⑪水景設備操作盤	1 台
⑫電動バタフライ弁	6 台
⑬水位計	1 台
⑭附属照明器具	1 式

2) 点検業務詳細

原則として下記要領により、点検調整を行うものとする。

①定期点検調整業務	点検回数	4 回／年（4 月、7 月、10 月、1 月）
	点検人員	技術員 1 名／回 作業員 1 名／回
	点検内容	各機器施設の運転管理 電流絶縁抵抗測定管理 各機器及びレベル制御の作動確認 遠隔操作・警報確認 その他保守点検業務

②薬品補給及びストレーナー清掃業務

薬品補給及び清掃業務 2名／2回／月

薬品補給方法 滅菌剤を薬注タンクへ補給し、運転上支障のないものとする。

清掃業務内容 噴水施設ストレーナー及び噴水周りのごみ（落葉等）除去清掃
機械室内へアーキャッチャーのごみ（落葉等）除去清掃

③水質検査測定業務 測定業務 3回／年（7月、8月、9月）

3. 公共用歩廊維持管理業務内容

1) 維持管理範囲

維持管理範囲は、公共用歩廊に関する下記設備(附属物を含む)とする。

①歩廊本体 約77.5m

②ダウンライト(LED10W) 46個

2) 点検業務詳細

原則として下記要領により、点検調整を行うものとする。

- ・ 日常巡視点検
 - 点検回数 1回/日
 - 点検内容 照明点灯目視確認
点字インターロッキング目視確認
全体概観目視確認
- ・ 定期点検
 - 点検回数 適宜
 - 点検内容 軒樋金網清掃

**多目的広場地下駐車場
設備定期点検業務仕様書**

設備定期点検業務仕様書

1. 共通事項	18
2. 電気設備定期点検基準	20
3. 空調設備定期点検基準	22
4. 給排水設備定期点検基準	23
5. 防災設備定期点検基準	24
6. 昇降機等定期点検基準	25
7. 環境衛生設備定期点検基準	26
8. 駐車場管制設備定期点検基準	26

1. 共通事項

1. 1 点検区分

1) 法定点検

- ① 法定点検は、施設維持管理に関する関係法令等を遵守し、法令等に定める点検、計測、整備を行う。
- ② 点検作業結果報告書は、関係諸官庁へ報告できる報告書にまとめる。
- ③ 点検作業結果で不具合が発見された場合は、すぐ対応措置できるものはその場で措置を行う。すぐ対応できない事項については、改善案等を具申する。
- ④ 点検作業結果はデータを蓄積し、将来の修繕、改修、更新のための基礎資料にまとめる。

2) 自主点検

- ① 自主点検は、設備機器等の性能・機能の状況確認及び維持保全を目的に行う。
- ② 点検作業結果で不具合が発見された場合は、すぐ対応措置できるものはその場で措置を行う。すぐ対応できない事項については、改善案等を具申する。
- ③ 点検作業結果はデータを蓄積し、将来の修繕、改修、更新のための基礎資料にまとめる。

1. 2 契約区分

1) 点検

- ① 決められた周期、点検仕様にに基づき点検作業を実施すること。
- ② 点検作業以外の不具合発生対応措置費用は別途とする。

2) 保守

- ① 決められた周期、点検仕様にに基づき点検作業を実施すること。
- ② 点検作業以外の不具合発生対応措置費用も含む。(オンコール契約)
- ③ 保守点検は、1年間の年間保守契約で行う。

1. 3 点検作業計画の承認

- ① 管理開始時に年間計画を作成し、点検時期の承認を得る。
- ② 作業前は工程表を作成し、事前に作業内容を説明して承認を得る。
- ③ 作業にあたっては、関係部署に通知・案内を実施して協力を得る。
- ④ 特に影響の大きい、停電・断水・ベル鳴動は通知・案内を徹底する。

1. 4 点検作業の実施

- ① 点検作業は、必ず作業責任者を選任する。
- ② 外注の専門会社点検作業の場合は、安全管理者を選任し立会する。
- ③ 点検作業前、作業後は必ず発注担当者に報告する。

1. 5 点検作業時間

1) 施設利用に影響を及ぼさない点検作業

平日の9:00～17:00の間で実施する。

2) 施設利用に影響を及ぼす点検作業

平日の夜間で実施する。(建物閉館後)

1. 6 報告

1) 法定点検

① 点検報告書は、法令で定められた様式の報告書とする。

② 特記報告書などは、受託者の様式の報告書とする。

2) 自主点検

① 点検報告書は、受託者または専門会社の様式の報告書とする。

② 特記報告書などは、受託者の様式の報告書とする。

2. 電気設備定期点検基準

設 備 名	定期点検／保守点検		点検 区分	契約 区分	備 考
	内 容	点検回数			
受変電設備 対象機器： 変電設備 1 式 トランス容量 1,050KVA	受変電設備精密点検（保安規定） ・遮断器、トランス等外観目視点検 ・継電器特性試験 ・制御機器作動試験（シーケンス試験） ・絶縁抵抗（配電盤より一括測定） ・接地抵抗測定 ・端子部増し締め ・盤内清掃 ・遠隔監視・制御試験	1 回／年	法定	点検	電気事業法第42条「保安規定」
自家発電機設備 対象機器：1 基 ガスタービン 300KVA	非常用発電機設備点検 ・原動機、発電機の作動・機能点検 ・制御機器作動試験（シーケンス試験） ・継電器特性試験 ・絶縁抵抗・接地抵抗測定 ・盤内清掃、端子部増し締め ・消防法に基づく点検 （外観／機能／総合点検）	2 回／年	法定	点検	電気事業法第42条「保安規定」 消防法第17条
蓄電池設備 対象機器：1 セット 直流電源装置 100AH/10HR 蓄電池仕様：MSE 54セル	直流電源装置点検 ・蓄電池、充電器の機能点検 ・充電器、電池電圧測定 ・電池電解液の比重、温度測定 ・絶縁抵抗測定 ・整流器盤の点検 ・盤、蓄電池の清掃 ・消防法に基づく点検 （外観／機能／総合点検）	2 回／年	法定	点検	
中央監視設備 対象機器：1 式 BuilUnity-system	中央監視盤設備点検 ・FMP・FCP 機能動作確認、プログラム点検、 電源部点検、測定、調整、 データバックアップ、時刻調整 ・LCP 機能動作確認、プログラム点検、 電源部点検、測定、調整 ・システム 機能・状態の確認、診断 ・キーボード／マウス 動作試験、清掃 ・CRT 設定要素の確認、清掃 ・UPS 電源電圧測定、清掃	2 回／年	自主	点検	
I T V 設備 対象機器 1 式	I T V 設備点検 ・ITV カメラ作動確認 ・レンズ部清掃 ・レンズ部清掃、起動動作点検	1 回／年	自主	点検	

設 備 名	定期点検／保守点検		点検	契約	備 考
	内 容	点検回数	区分	区分	
電話設備 対象機器：1 式	電話交換機点検保守 ・ 電話交換機の作動、機能点検 ・ 電源装置の機能点検（充電器・蓄電池） ・ 回線点検（接続・絶縁等）	2 回／年	自主	点検	
インターホン設備 対象機器：1 式	インターホン設備点検 ・ 通話試験 ・ 絶縁抵抗測定	1 回／年	自主	点検	
ラジオ再放送設備 対象機器：1 式	ラジオ再放送設備点検 ・ 電源点検 ・ 入力電波確認 ・ 送信確認 ・ 端子増締め	1 回／年	自主	点検	

3. 空調設備定期点検基準

設 備 名	定期点検／保守点検		点検 区分	契約 区分	備 考
	内 容	点検回数			
空冷ヒートポンプパッケージ 対象機器：5セット	空冷ヒートポンプパッケージ点検 屋外機 5台 ・電動機、ファン機能点検 ・冷媒容量確認（ガス温度・圧力） ・保安装置機能点検 ・フィン汚れ確認 室内機 6台 ・温調、風量調整装置点検 ・プレフィルター汚れ点検 ・ドレンパン、ドレンアップポンプ確認	2回／年	自主	点検	
フィルターユニット 対象機器：2台	フィルターユニット点検 ・OAガラリ汚れ点検 ・フィルター汚れ点検	2回／年	自主	点検	
全熱交換器 対象機器：3台	全熱交換器設備点検 ・ファン機能点検 ・エレメント清掃 ・ダクト接続部点検 ・プレフィルター洗浄	1回／年	自主	点検	
プレフィルター洗浄 対象機器：8台 空冷ヒートポンプパッケージ フィルターユニット	プレフィルター洗浄 ・プレフィルター洗浄	4回／年	自主	点検	
除塩フィルター 対象機器： フィルターユニット 2台 除塩フィルター フル 2個 ハーフ 1個	フィルターユニット ・除塩フィルター交換	1回／年	自主	点検	材工共・廃棄処分費含む
送排風機 対象機器： 送風機 6台 排風機 6台	送排風機点検 ・基礎部固定部点検 ・外観点検 ・電動機機能点検 ・軸受け、Vベルト、プーリ点検 ・羽根車点検	2回／年	自主	点検	

設 備 名	定期点検／保守点検		点検 区分	契約 区分	備 考
	内 容	点検回数			
自動制御設備 対象機器：1 式	自動制御設備点検 ・センサー、制御装置等機能点検 ・センサー清掃、弁整備 ・伝送装置、インターフェース点検 ・電源点検 点検機種 1) 検出器・発信器 2) 調節計 3) 変換器 4) 操作器 5) 自動制御用調整弁	1 回／年	自主	点検	

4. 給排水設備定期点検基準

設 備 名	定期点検／保守点検		点検 区分	契約 区分	備 考
	内 容	点検回数			
加圧給水ポンプユニット 対象機器：2 セット 上水用、再生水用	加圧給水ポンプユニット点検 ・ポンプ運転状況点検 ・ポンプシール部点検、調整 ・ポンプ圧力制御機能点検、調整 ・ポンプ台数制御機能点検、調整 ・電動機ベアリング機能点検 ・電動機絶縁測定	2 回／年	自主	点検	

5. 防災設備定期点検基準

設 備 名	定期点検／保守点検		点検 区分	契約 区分	備 考
	内 容	点検回数			
自動火災報知設備 ・機器点検 ・機器・総合点検	受信機機能操作試験、感知器作動試験 感知器感度試験、絶縁抵抗測定	2回／年	法定	保守	消防法第17条の3の3 「消防設備等の定期点検」
防排煙設備 ・機器点検 ・機器・総合点検	受信機機能操作試験、感知器作動試験 感知器感度試験、絶縁抵抗測定	2回／年	法定	保守	
消火器 ・機器点検	容器・レバー・安全装置の状態確認	2回／年	法定	点検	
誘導灯設備 ・機器点検 ・機器・総合点検	器具の外観点検、予備電源切り替え確認 器具の清掃点検	2回／年	法定	点検	
非常コンセント設備 ・機器点検 ・機器・総合点検	端子電圧、相の確認、 ケースの外観点検	2回／年	法定	点検	
非常放送設備 ・機器点検 ・機器・総合点検	機器作動試験、スピーカー鳴動確認、予備 電源切替確認、スピーカー音量試験	2回／年	法定	点検	
防災監視盤 ・機器点検 ・機器・総合点検	支援・制御機能試験、モニターTV・CPU盤 作動確認、総合作動試験	2回／年	法定	点検	
無線通信補助設備 ・機器点検 ・機器・総合点検	機能操作試験、予備電源切替試験 端子・増幅器・分配器状態確認、清掃点検	2回／年	法定	点検	
固定式泡消火設備 ・機器点検 ・機器・総合点検	ポンプ作動試験、水槽・呼水・制御盤等の状 態確認、ヘッドの水漏れ確認 アラーム弁圧力確認、絶縁抵抗測定	2回／年	法定	点検	
連結送水管設備 ・機器点検 ・機器・総合点検	放水、放水口、器具収納箱の状態確認	2回／年	法定	点検	
連結散水設備 ・機器点検 ・機器・総合点検	放水、放水口、ヘッド及び器具収納箱の状 態確認	2回／年	法定	点検	

6. 昇降機等定期点検基準

設 備 名	定期点検／保守点検		点検 区分	契約 区分	備 考
	内 容	点検回数			
エレベータ 対象機器：2基	エレベータ保守点検（フルメンテナンス） ・遠隔自動監視 ・定期自主点検、整備	12回／年	法定	保守	建築基準法第8条 ※メーカー系保守会社とする
	エレベータ法定性能検査 ・機能点検 ・保護装置点検	1回／年	法定	点検	建築基準法第12条 「報告、検査等」
自動ドア 対象機器：8台	自動ドア設備点検 ・変形、損傷状態の確認 ・ドアエンジン、チェーン等の動作点検 ・開閉状態、速度の点検、調整 ・安全センサーの点検、調整	2回／年	自主	点検	
管理用シャッター 対象機器：3台	シャッター設備点検 ・開閉器、ブレーキ装置の作動確認 ・巻き取りシャフト・ブラケット点検 ・降下状態・巻き上げ状態点検 ・リミットスイッチ点検、調整 ・制御盤・押し釦スイッチの点検	2回／年	自主	点検	

7. 環境衛生設備定期点検基準

設 備 名	定期点検／保守点検		点検 区分	契約 区分	備 考
	内 容	点検回数			
上水貯水槽 対象機器： 受水槽 FRP製 1槽式 1.0m ³	上水貯水槽清掃 ・ 槽内清掃及び消毒 ・ 制御盤・ポンプ・配管状態点検 ・ 定水位弁機能点検	1回／年	自主	点検	水道法施行規則第23条 「管理基準」
再生水貯水槽 対象機器： 受水槽 FRP製 1槽式 2.0m ³	再生水貯水槽清掃 ・ 槽内清掃及び消毒 ・ 制御盤・ポンプ・配管状態点検 ・ 定水位弁機能点検	1回／年	自主	点検	
上水設備 水質検査 対象機器：1検体	簡易項目水質検査 ・ 省略不可項目（11項目）	1回／年	法定	点検	水道法第20条「水質検査」
排水槽清掃 対象機器： 汚水槽 20m ³ 1槽 雑排水槽 20m ³ 1槽	汚水槽清掃 ・ 槽内清掃、汚泥処理（バキューム） ・ 水中ポンプインペラ清掃 ・ 制御盤・ポンプ・配管・レベルスイッチ等点検	2回／年	自主	点検	
害虫駆除 延床面積 14,441.0m ²	害虫駆除 ・ 発生箇所駆除施工 （蚊、蝇、ダニ、ゴキブリ、ねずみ等）	2回／年	自主	保守	※ 生息検査は全面駆除を除く月に実施
	生息検査 ・ 生息状況検査 ・ 部分駆除（厨房等害虫発生箇所）	10回／年	自主		
ガソリントラップ 対象機器：2基 100 ^{リットル}	トラップ清掃 ・ トラップ内汚泥処理（バキューム）	2回／年	自主	点検	

8. 駐車場管制設備定期点検基準

設 備 名	定期点検／保守点検		点検 区分	契約 区分	備 考
	内 容	点検回数			
駐車場管制設備 対象機器：1式 発券機、自動精算機、事前精 算機、カーゲート、車両感知 機、種々表示灯・看板	管制装置、プログラム作動点検 ゲート、非接触リーダー作動点検 表示灯、看板、点検清掃	1～3回 ／年	自主	点検	※各々の設備により点検回数が異なる

**多目的広場地下駐車場
設備巡回管理業務仕様書**

設備巡回管理業務仕様書

1. 管理業務の内容等	2 9
2. 設備巡回管理業務基準	3 1
2.1 電気設備	
2.2 空調設備	
2.3 給排水設備	
2.4 防災設備	
2.5 昇降機・自動扉設備	
2.6 駐車場管制設備	

1. 管理業務の内容等

1.1 業務内容

1) 巡視点検

- ① 巡視点検計画に基づき巡視点検し、機器の外観から機能及び劣化の状態を調べる。
- ② 機器の電流計など検針記録し、正常であるか判断する。
- ③ 機器が異常と判断した場合は、必要な措置を講じる。
- ④ 日常的保守作業が必要な機器は、フィルター清掃、消耗品交換など適切に行う。
- ⑤ 巡視点検の管理基準は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「建築保全業務共通仕様書」を基準とする。

2) 不具合対応

- ① 建築設備の異常・不都合に対し、その時点の最善な措置を講じる。
- ② 委託者からの不具合対応要請の受付業務を行う。
- ③ 不具合対応要請で受付した業務は、的確に判断して敏速に対応措置を行う。
- ④ 修理が必要なものは、委託者と協議のうえ修理方法を決め措置を行う。

3) 小修理

- ① 点検用保守工具及び常備している材料でできる範囲の修理を行う。
- ② 小修理作業は、巡視点検、不具合対応業務に支障がない範囲とする。

1.2 業務遂行条件

1) 業務責任者

- ① 管理開始時に業務責任者を定め、委託者に届出、承認を得る。
- ② 業務責任者は、業務を総合的に把握でき業務の調整ができる人材とする。
- ③ 業務責任者の不在時は、代理人を選任し業務に支障をきたさないようにする。

2) 業務従事者

- ① 業務従事者は、業務に必要な教育訓練を受けた人材とする。
- ② 管理開始前に業務従事者名簿を委託者に届出、承認を得る。

3) 業務計画

- ① 管理開始時に管理体制、運転計画、点検工程など契約業務に基づく業務計画を提出し承認を得る。
- ② 業務計画書は年度計画・月間計画及び業務別作業計画書とする。
- ③ 運転・監視業務及び巡視点検は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「建築保全業務共通仕様書」を遵守して当該建物に合わせた内容とする。
- ④ 各業務を実施する際は、建物維持管理関係法令を遵守して行う。

4) 安全衛生管理

- ① 安全衛生に関する管理は、業務責任者が責任者となり、関係法令に遵守して行う。

5) 危険防止の措置

- ① 業務の実施にあたっては、常に整理整頓を行い、危険な場所には必要な安全措置を講じ事故の防止に努める。
- ② 日常業務の中で危険な場所または危険的作業が発生する場合は、委託者に改善の具申をする。

1.3 業務報告

1) 巡回点検報告書

- ① 毎月作成して翌月最初に委託者に報告する。

- ② 内容は、巡回点検の内容を整理したもの、月間作業実施結果報告などとする。
- ③ また、当月の月間作業計画も報告する。
- 2) 年度報告書
 - ① 年度末に作成して委託者に報告する。
 - ② 内容は、巡回点検報告書及び定期点検記録（年間作業実施記録）を整理したものとする。
 - ⑤ 業務内容を分析し、業務の効率化・改善の提案を行う。
- 3) その他報告書
 - ① 事故等が発生措置した場合は、原因、処置内容、改善策内容の報告書を提出する。
 - ② 管理機器の不具合を発見し修理等改善が必要な場合は、速やかに報告して、発注者と修理方法等協議する。

1. 4 管理記録書類の作成及び管理保管

- 1) 計画・報告書類 [保存期間 5年]
 - ① 年間・月間作業計画（作業実施）表
 - ② 巡回点検報告書・年間報告書
- 2) 点検記録類 [保存期間 5年]
 - ① 電気設備点検表
 - ② 空気調和設備点検表
 - ③ 給排気設備点検表
 - ④ 給排水衛生設備点検表
- 3) 整備・補修・事故記録類 [保存期間 永年]
 - ① 整備記録
 - ② 補修記録
 - ③ 事故・障害記録
- 4) その他書類整備

上記以外に建物維持管理上必要な書類等または委託者が要望したものは、作成及び管理保管をする。

2. 設備巡回管理業務基準

設備巡回管理業務基準は、次のとおりとする。

2. 1 電気設備

設備名	設備巡回管理業務内容	点検回数	備考
受変電設備	巡視点検（保安規定） <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日点検（外観目視点検、指示値の記録） ・ 月例点検（外観目視点検） 不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 停電時措置 	1 回／日 1 回／月 都度	
蓄電池設備	巡視点検 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外観目視点検 ・ 充電器、蓄電池セル端子電圧測定 	1 回／月 2 回／年	
非常用発電機設備	巡視点検 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外観目視点検 ・ 油タンク油糧記録 	毎日 毎日	
動力制御盤	巡視点検 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外観目視点検 ・ 盤清掃、端子増し締め 不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 開閉器トリップ措置 	2 回／年 1 回／年 都度	
照明・コンセント設備	巡視点検 <ul style="list-style-type: none"> ・ 照明不点管球交換 ・ 照明器具、コンセント器具不具合点検 不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 不点、器具不良措置 	都度 2 回／年 都度	材料は支給とする。 材料は支給とする。
非常照明・誘導灯設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誘導灯不点管球交換 ・ 照明器具外観点検及びバッテリー点灯確認 不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 不点、器具不良措置 	都度 2 回／年 都度	材料は支給とする。 消防点検時に準ずる 材料は支給とする。
照明制御設備	不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 遠隔発停不良措置 	都度	
インターホン設備	不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 通話不良時の点検、修理 	都度	材料は支給とする。
中央監視設備	運転監視 <ul style="list-style-type: none"> ・ サマリグラフ画面の監視、操作 ・ 警報発報時の操作、対応措置 ・ 遠隔発停の操作 巡視点検 <ul style="list-style-type: none"> ・ CRT 画面、バックアップ機能目視点検 不具合受付 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 次対応後、専門業者への連絡 	随時 随時 随時 2 回／年 都度	駐車場管理員にて対応 同上 同上
ITV 設備	不具合受付 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 次対応後、専門業者への連絡 	都度	

設備名	設備巡回管理業務内容	点検回数	備考
トイレ非常警報設備	巡視点検 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外観目視点検 ・ 警報作動試験 不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 作動不良時の点検、修理 	1回／年 1回／年 都度	警報発報時の措置は警備業務とする。

2. 2 空調設備

設備名	設備巡回管理業務内容	点検回数	備考
空冷ヒートポンプ パッケージ	巡視点検（室外機） <ul style="list-style-type: none"> ・ 外観目視点検、指示値の記録 （室内機） <ul style="list-style-type: none"> ・ フィルター汚れ点検 不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 温調調整、風量調整 ・ 結露対応 	2回／年 2回／年 都度 都度	
フィルターユニット	巡視点検 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外観目視点検、中性能フィルターの汚れ点検 不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 温調調整、風量調整 ・ 結露対応 	2回／年 都度 都度	
換気設備 （給気・排気ファン）	巡視点検 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外観目視点検、指示値の記録 不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 風量調整、ダンパー調整 	1回／年 都度	
自動制御設備	巡視点検 <ul style="list-style-type: none"> ・ CO測定値記録 不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門業者への連絡 	1回／日 都度	

2. 3 給排水設備

設備名	設備巡回管理業務内容	点検回数	備考
上水給水設備	不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 警報発報時の対応措置 	都度	
再生水給水設備	不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 警報発報時の対応措置 	都度	

2. 4 防災設備

設備名	設備巡回管理業務内容	点検回数	備考
自動火災報知設備	運転監視・・・常駐管理員主体 ・火災警報発報時の現地確認、措置 不具合対応 ・不良感知器交換	都度 都度	材料は支給とする。
防火・排煙設備	運転監視・・・警備常駐管理員主体 ・火災警報発報時の現地確認、措置 不具合対応 ・不良感知器交換 ・自動閉鎖装置の調整	都度 都度 都度	材料は支給とする。
誘導灯	不具合対応 ・不点時の管球交換	都度	
非常コンセント	巡視点検 ・外観目視点検、電圧確認	2回／年	
非常放送	不具合対応 ・音量調整	都度	
非常通報装置	不具合対応 ・電源トラブル等の措置	都度	
無線通信補助設備	巡視点検 ・コネクタ箱、アンテナ線の外観目視点検	1回／年	
固定式泡消火設備	巡視点検 ・外観目視点検、ヘッド水漏れ、アラーム弁圧力確認 不具合対応 ・専門業者への連絡業務	1回／日 都度	
消火器	巡視点検 ・消火器外観目視点検	2回／年	

2. 5 昇降機・自動扉設備

設備名	設備巡回管理業務内容	点検回数	備考
エレベータ	運転監視・・・状況確認 不具合対応 ・閉じ込め対応（一次処置）	1回／日 都度	
自動扉	不具合対応 ・開閉不具合一次措置 ・一次側電源供給措置	都度 都度	
電動式防水扉	巡視点検 ・警報発令時、コンプレッサ起動確認 不具合対応 ・一次側電源供給・停止措置	都度 都度	

2. 6 駐車場管制設備

設備名	設備巡回管理業務内容	点検回数	備考
駐車場管制設備	巡視点検 <ul style="list-style-type: none"> ・ 機器破損個所の目視点検 ・ 表示灯不点灯球交換 不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 管理員からの不具合連絡対応 	1 回／月 都度 都度	

**多目的広場地下駐車場
設備機器表**

多目的広場地下駐車場設備機器表

1. 電気設備	37
(1) 受変電設備	
(2) 蓄電池設備	
(3) 自家発電設備	
(4) 中央監視設備	
(5) 弱電設備	
(6) E L V、自動ドア等	
2. 空調設備	44
(1) 空冷ヒートポンプパッケージ	
(2) 全熱交換器	
(3) フィルターユニット	
(4) 送風機	
(5) 自動制御	
3. 防災設備	47
4. 給排水衛生設備	48
(1) 給水設備	
(2) 排水設備	
(3) トラップ類	
5. 駐車場管制設備	49

1. 電気設備

(1) 受変電設備

設備区分	機器名称	仕様	数量
受変電設備	高圧引込盤・受電盤	取引用変成器(VCT) 四国電力	1
		断路器(DS)	1
		真空遮断器(VCB)	1
		計器用変圧器(VT)	1
		計器用変圧器(CT)	2
		不足電圧継電器(UVR)	1
		過電流継電器(OCR)	1
		過電流継電器(OCR)	1
		VT用(PF)	4
	コンデンサ盤	SC 負荷開閉器(VCS)	3
		SC PF	9
		力率改善(SC)	3
		SC用(リアクトル)	3
	一般電灯盤No.1	負荷開閉器(LBS)	1
		PF	2
		変圧器(1φ100kVA)	1
		配線用遮断器(MCCB)	5
	一般電灯盤No.2	負荷開閉器(LBS)	1
		PF	2
		変圧器(1φ100kVA)	1
		配線用遮断器(MCCB)	4
	一般電灯盤No.3	負荷開閉器(LBS)	1
		PF	2
		変圧器(1φ50kVA)	1
		配線用遮断器(MCCB)	4
	一般動力盤No.1	負荷開閉器(LBS)	1
		PF	3
		変圧器(3φ500kVA)	1
		配線用遮断器(MCCB)	9
	一般動力盤No.2	負荷開閉器(LBS)	1
		PF	3
		変圧器(3φ50kVA)	1
		配線用遮断器(MCCB)	5
	一般動力盤No.3	負荷開閉器(LBS)	1
		PF	3
		変圧器(3φ200kVA)	1
		配線用遮断器(MCCB)	5
	非常動力盤	配線用遮断器(MCCB)	7
	保安電灯盤	配線用遮断器(MCCB)	7

(2) 蓄電池設備

設備区分	機器名称	仕様	数量
蓄電池設備	サイリスタ整流器	型式:GTSC100-30	1
		整流方式:三相全波整流	
		相数:三相3線	
	蓄電池	種類:制御弁式据置鉛蓄電池	
		型式:MSE100-6	
		公称電圧:108V	
		個数:18個	

(3) 自家発電設備

設備区分	機器名称	仕様	数量
自家発電設備	発電機盤	型式:鋼板製搭載型	1
		配線用遮断器(600V800A)	
	原動機(ガスタービン)	型式:単純開放サイクル1軸式	1
		定格出力:272kW(370PS)	
		回転数:1800rpm	
		始動方法:セルモーターによる電気始動	
		燃料:灯油	
	発電機	型式:回転界磁形、保護形(JP20)	1
		定格容量:300kVA	
		端子電圧:220V(3φ3W)	
		周波数:60Hz	
		力率:0.8(遅れ)	
	直流電源	型式:鉛蓄電池(MSE)	1
		公称電圧:24V	
		セル数:12セル	

(4) 中央監視設備

設備区分	機器名称	仕様	数量
中央監視設備	中央監視制御装置	ANN付FCP 通信制御装置 FMPE ST13512 インテリジェント型 12 L2スイッチ ポートスイッチングハブ	1式

設備区分	機器名称	仕様	数量
	リモートステーション	盤名:RS-T02 自立型 700×1950×350 盤名:RS-T01 壁掛型 700×1400×300	1 式
	無停電電源装置	容量:0.5KVA	2台

(5) 弱電設備

設備区分	機器名称	仕様	数量
電話設備	電話機	電話 DA2030B 電話機	1
		電話 4YB1261-1131P001	3
TV 共聴	CATV 増幅器	N7A282 周波数帯域 上り10～55,下り70～770	1
	直列ユニット	HPRU-77 TV 端子2ヶ付	2
計器用変圧器 (VT)	ITV 架	17型モニター 型式: C-LC173 LCD: 17型	4
		デジタルビデオレコーダー 型式: WJ-HL216B	4
		シークエンティアルスイッチャー 型式: SW-503 C-SQ81	3 1
		フレームスイッチャー 型式: TKF600B	3
		ビデオデストリビュター 型式: DU-102	13
		パワーコントローラー 型式: PS-P32-H	2
	ITV カメラ (屋内用)	撮像素子: 1/3型インターライン転送方式 解像度: 水平:480本、垂直:350本 レンズ: CS マウント/C マウント 機能: 逆光補正、輪郭補正	23
	ITV カメラ (屋外用)	撮像素子: 1/3型インターライン転送方式 解像度: 水平:480本、垂直:350本 レンズ: CS マウント/C マウント	2

設備区分	機器名称	仕様	数量
		機能: 逆光補正、輪郭補正	
インターホン設備	インターホン親機 (20局用)	TC-20G	1
	増設線局部 (20局用)	TC-20G	1
	インターホン子機	TB-SE 壁掛形	26
ラジオ再放送設備	受信空中戦	型式: ホイップ型空中線 型名: WH-025A 受信周波数帯域: 中波、短波 入力インピーダンス: 1k Ω ～10k Ω	1
	アンテナ整合器	型式: RMC-7 使用周波数帯域: AM(0.5～2)	1
	AM レベルセッター	型式: ALS-300B 使用周波数帯域: 525kHz～1629kHz(指定の3波) レベル調整範囲: 0db～-25db 連続可変	1
ラジオ再放送設備	前置増幅器	型式: ARH-100B-Ⅱ 使用周波数帯域: 525Hz～1629Hz 入力インピーダンス: 75 Ω 利得: 10db～40db 連続可変	1
	コモンモードフィルター	型式: ACF:100B 使用周波数帯域: 525Hz～1629Hz 入力インピーダンス: 75 Ω	2
	AM ラジオ再放送装置	型式: AMRS-35D-MUW3	1
	コモンモードフィルター	型式: ACF:100R 使用周波数帯域: 525Hz～1629Hz 入力インピーダンス: 75 Ω	1
	入力フィルター部	型式: AIF-301R 使用周波数帯域: 525kHz～1629kHz(指定の3波) 自動出力調整: 入力レベル: 40db～80db μ V の変化において出力偏差 \pm db 以内	1
	割込制御部	型式: AAI-300R 使用周波数帯域: 525Hz～1629Hz 標準入力レベル: 80db μ V 出力レベル: 80db μ V 入出力インピーダンス: 50 Ω	1
	増幅部 (3W)	型式: ARA-3501-Ⅲ 使用周波数帯域: 525kHz～1629kHz(指定の1波) 標準出力レベル: db μ 電源: AC100V 入出力インピーダンス: 50 Ω	3
	出力混合部	型式: AOF-312R 使用周波数帯域: 525kHz～1629kHz(指定の3波) 挿入損失: 3db 以下 電源: 100V 入出力インピーダンス: 50 Ω	1
	監視部	型式: AMU-303 監視波数: 3波 電源: 100V 故障表示: 送信出力異常時、誘導線断線	1

設備区分	機器名称	仕様	数量
	電源部	主NFB: AC100V 50/60Hz 10A 副NFB: AC100V 50/60Hz 5A(雑用)	1
	結合器	型式: ABX-103D 使用周波数帯域:525Hz～1629Hz 入力インピーダンス:50Ω	2
	終端抵抗器	型式: ADR-103D 使用周波数帯域:525Hz～1629Hz 使用電力:30W 以下 抵抗値:50～700Ω	2
無線通信補助 設備	150/400MHz 帯共用器	型式: D-UV050 使用周波数 V1:150MHz 帯の1指定周波数(150MHz 帯消防波) V2:150MHz 帯の1指定周波数(150MHz 帯警察波) V3:150MHz 帯の1指定周波数(150MHz 帯警察波) U1:350MHz 帯の1指定周波数(350MHz 帯消防波) 周波数間隔:V1～V2 4.0MHz 以上 入出力インピーダンス:50Ω	2
	150/400MHz 帯2混合器	型式: J-UV018 使用周波数 V1:150MHz 帯の1指定周波数(150MHz 帯消防波) V2:150MHz 帯の1指定周波数(150MHz 帯消防波) V3:150MHz 帯の1指定周波数(150MHz 帯警察波) U1:350MHz 帯の1指定周波数(350MHz 帯警察波) 入出力インピーダンス:50Ω	1
	UHF/VHF 共用3分配整合器	型式: JHR3-1540 使用周波数 V1:150MHz 帯の1指定周波数(150MHz 帯消防波) V2:150MHz 帯の1指定周波数(150MHz 帯消防波) V3:150MHz 帯の1指定周波数(150MHz 帯警察波) U1:350MHz 帯の1指定周波数(350MHz 帯警察波) 入出力インピーダンス:50Ω	1
	UHF/VHF 共用 2分配整合器	型式: JHR2-1540 使用周波数 V1:150MHz 帯の1指定周波数(150MHz 帯消防波) V2:150MHz 帯の1指定周波数(150MHz 帯消防波) V3:150MHz 帯の1指定周波数(150MHz 帯警察波) U1:350MHz 帯の1指定周波数(350MHz 帯警察波) 入出力インピーダンス:50Ω	2
	無方向3分配器	型式: JRT3-154503 使用周波数 V1:150MHz 帯の1指定周波数(150MHz 帯消防波) V2:150MHz 帯の1指定周波数(150MHz 帯消防波) V3:150MHz 帯の1指定周波数(150MHz 帯警察波)	1

設備区分	機器名称	仕様	数量
		U1:350MHz 帯の1指定周波数(350MHz 帯警察波) 入出力インピーダンス:50Ω	
	無方向2分配器	型式: JRT2-154503 使用周波数 V1:150MHz 帯の1指定周波数(150MHz 帯消防波) V2:150MHz 帯の1指定周波数(150MHz 帯消防波) V3:150MHz 帯の1指定周波数(150MHz 帯警察波) U1:350MHz 帯の1指定周波数(350MHz 帯警察波) 入出力インピーダンス:50Ω	1
	VHF/UHF 帯 中継増幅器	型式: RP-154001 使用周波数 (VHF 帯) F1:150MHz 帯指定周波数1波 F2:150MHz 帯指定周波数1波 F3:150MHz 帯指定周波数1波 (UHF 帯) F4:150MHz 帯指定周波数1波 インピーダンス:50Ω(不平衡)	1
トイレ非常警報 設備	表示機 CAN-LE\$7	10窓用 全窓通話機能付き	1
	子機 NA-NL27	スピーカ子機、	4
	表示灯、ボタンなど	廊下灯、復旧ボタン・呼出ボタン	各4

(6) E L V、自動ドア等

設備区分	機器名称	仕様	数量
運搬機械	エレベーター LC01	人荷用ロープ式エレベーター 積載荷重: 1,300kg、速度:45m/分、着床階数:3 遠隔監視: S-TERM 付加仕様: 車椅子兼用、火災時管制運転装置、P波付 地震時管制運転装置、停電時自動着床装置 オートアナウンス	1
	エレベーター LC02	乗用ロープ式エレベーター 定員: 11名、速度:60m/分、着床階数:3 遠隔監視: S-TERM 付加仕様: 車椅子兼用、火災時管制運転装置、P波付 地震時管制運転装置、停電時自動着床装置 オートアナウンス	1
自動扉	自動ドア	自動開閉装置 B1F-1B/STD: 東入口 VS-85S B1F-2B/STD: 西入口 DS-75	1 1

		B1F-6/SD：多目的トイレ（男・女） DSN-60S	2
		B2F-1A/STD：東入口 DSN-75S	1
		B2F-2A/STD：西入口 DS-75	1
		B2F-10A/SD：多目的女子トイレ DSN-60S	1
		B2F-10B/SD：多目的男子トイレ DSN-60S	1
電動式防水板	電動式防潮板	起伏式防水板 AWS、7000W×900H 電 源： 3 φ 200V×0.40 k w	1
シャッター	管理用シャッター	<div> <div>電動スチールシャッター</div> <div>熱感知器連動</div> </div> <div> SS-8（東入口） B1F W6, 105× H2, 400 SS-5（東出口） B1F W6, 250× H2, 400 SS-6（西入口） B1F W6, 360× H2, 460 </div>	3

2. 空調設備

(1) 空冷ヒートポンプパッケージ

機器番号	機器名称	仕様							数量
		型式	区分		屋内機型	馬力 (HP)	屋外機	屋内機	
			室外機	室内機					
PAC-B2-01	B2F電気室B201	一方向型	○	○	床置直吹出型	5	2	2	2
PAC-B1-01	B1F駐車場監視室	一方向型	○	○	床置直吹出型	4	1	1	1
PAC-B1-02	B1F休憩室	一方向型	○	○	天吊り型	2.0	1	1	1
PAC-B1-03	B1F更衣室	一方向型	○	○	天吊り型	1	1	1	1

(2) 全熱交換器

機器番号	機器名称	仕様		数量
		型式	風量(m³/h)	
AHE-B1-01	B1F駐車場監視室	天井埋込ダクト型	400	1
AHE-B1-02	B1F休憩室	天吊カセット型	250	1
AHE-B1-03	B1F更衣室	天吊カセット型	250	1

(3) フィルターユニット

機器番号	機器名称	仕様				数量
		型式	風量 (m³/h)	フィルター		
				除塩	プレ	
FU-B2-01	B2F車路	天吊露出型	4,400	比色法90%以上	重量法80%以上	1
FU-B1-01	B1F車路	天吊露出型	400	比色法90%以上	重量法80%以上	1

(4) 送風機

機器番号	機器名称	仕様			数量
		型式	風量(m³/h)	容量	
【給気ファン】					
SF-B2-01-1	B2F駐車場系統	両吸込みシロッコ型	72,000	30.00kw	1
SF-B2-01-2	B2F駐車場系統	両吸込みシロッコ型	72,000	30.00kw	1
SF-B2-03	B2F受水槽系統	ストレートシロッコファン	1,000	0.45kw	1
SF-B2-04	B2FELV機械室西系統	ストレートシロッコファン	280	0.35kw	1
SF-B2-05	B2F電気室系統	ストレートシロッコファン	3,600	2.20kw	1
SF-B2-06	B2F発電機室系統	斜流型	11,400	3.70kw	1
SF-B2-07	B2F多目的施設	ストレートシロッコファン	1,350	0.87kw	1
SF-B2-08	B2F多目的電気室	ストレートシロッコファン	1,200	0.87kw	1
SF-B2-09	B2F多目的倉庫	ストレートシロッコファン	750	0.45kw	1
SF-B2-10	B2F泡消火室・消火水槽室系統	ストレートシロッコファン	2,000	1.55kw	1
SF-B2-11	B2F倉庫系統	ストレートシロッコファン	600	0.45kw	1
SF-B2-12	B2FCO2ボンベ庫系統	ストレートシロッコファン	1,200	0.87kw	1
SF-B2-13	B2F発電機室系統	ストレートシロッコファン	1,000	0.75kw	1
SF-B1-01-1	B1F駐車場系統	両吸込みシロッコ型	84,000	37.00kw	1
SF-B1-01-2	B1F駐車場系統	両吸込みシロッコ型	84,000	37.00kw	1
SF-B1-03	B1F倉庫、諸室系統	ストレートシロッコファン	700	0.35kw	1
SF-B1-04	B1F倉庫系統	ストレートシロッコファン	900	0.35kw	1
SF-B1-05	B1F防災センター	ストレートシロッコファン	400	0.97kw	1
【排気ファン】					
EF-B2-01-1	B2F駐車場系統	両吸込みシロッコ型	72,000	30.00kw	1
EF-B2-01-2	B2F駐車場系統	両吸込みシロッコ型	72,000	30.00kw	1
EF-B2-02	B2F発電機室系統	ストレートシロッコファン	1,000	0.35kw	1
EF-B2-03	B2F電気室系統	ストレートシロッコファン	3,600	1.50kw	1
EF-B2-04	B2F倉庫系統	ストレートシロッコファン	1,200	0.45kw	1
EF-B2-05	B2FELV機械室西系統	ストレートシロッコファン	280	0.35kw	1
EF-B2-06	B2F受水槽系統	ストレートシロッコファン	1,000	0.45kw	1
EF-B2-07	B2F便所系統	ストレートシロッコファン	1,200	0.87kw	1
EF-B2-09	B2F多目的施設	ストレートシロッコファン	1,350	0.45kw	1
EF-B2-10	B2F多目的電気室	ストレートシロッコファン	1,200	0.45kw	1
EF-B2-11	B2F多目的倉庫	ストレートシロッコファン	750	0.35kw	1
EF-B2-13	B2F泡消火室・消火水槽室系統	ストレートシロッコファン	2,000	0.87kw	1
EF-B2-14	B2F倉庫系統	ストレートシロッコファン	600	0.35kw	1
EF-B1-01-1	B1F駐車場系統	両吸込みシロッコ型	84,000	37.00kw	1
EF-B1-01-2	B1F駐車場系統	両吸込みシロッコ型	84,000	37.00kw	1
EF-B1-02	B1F便所系統	ストレートシロッコファン	1,200	0.45kw	1
EF-B1-04	B1F監視室便所系統	消音ライン型	400	0.32kw	1
EF-B1-06	B1F倉庫B103	天井扇	100	0.02kw	1
EF-B1-07	B1Fシャワー室	ライン型	100	0.02kw	1
EF-B1-08	B1F倉庫B102	ストレートシロッコファン	900	0.35kw	1
EF-B1-09	B1F湯沸し室	ストレートシロッコファン	200	0.35kw	1
【排煙ファン】					
SEF-B1-01	B1F・B2F駐車場系統	片吸込みリミット型	62,000	45.00kw	1
【デリバントファン】					
DF-B2-01	B 2 F 駐車場系統	天吊ファン内臓	636	0. 06 k w	22

機器番号	機器名称	仕様			数量
		型式	風量(m³/h)	容量	
DF-B1-01	B 1 F 駐車場系統	天吊ファン内臓	636	0.06 k w	21
DF-B1-02	B 1 F 駐車場系統 (連絡通路)	天吊ファン内臓	636	0.06 k w	9

(5) 自動制御

制御名称	制御項目	系統名	SET数
駐車場換気ファン制御	1. CO濃度によるファン発停及びファン回転数制御 2. 給排気ファンの連動インターロック	B2F駐車場 B1F駐車場	4
パッケージファン連動制御	1. 温度制御	B2F電気室B201	1
ファン発停制御 1	1. T1にて室内温度を検知してファンのON/OFF制御	B2F EV機械室 B2F 浄化施設室	2
ファン発停制御 2	1. H1にて室内温度を検知してファンのON/OFF制御	B2F 受水槽室	1
受水槽制御 1	1. 水位制御 2. 緊急遮断弁制御	上水受水槽	1
受水槽制御 2	1. 水位制御 2. 緊急遮断弁制御	再生水受水槽	1
水槽監視 1		消火水槽	1

3. 防災設備

設備名称	仕様	数量
自動火災報知設備	受信機 GR 型複合受信機	1
	非常電話盤	1
	光電式スポット型感知器 (2種)	58
	光電式スポット型感知器 (3種)	20
	差動式スポット型感知器	248
	定温式スポット型感知器 (65℃)	44
	定温式スポット型感知器 (75℃)	8
	発信機	12
	表示灯	15
	非常電話	13
防排煙設備	光電式スポット型煙感知器	40
	防火戸	10
	ダンパー	54
	シャッター	22
	排煙口	67
	手動開放装置	67
	排煙機・空調機連動試験	1
	可動垂れ壁	1
	消火器設備	59
	誘導灯設備	108
	誘導灯信号装置	1
	フラッシュ	6
	非常コンセント設備	8
	表示灯	8
	非常用放送設備	240W
	増幅器出力	1
	スピーカー回線	1
	自火報連動	1
	スピーカー	117
防災監視盤	プリンター装置	1
	モニターテレビ (CRT)	1
	コンピューター盤 (CPU)	1
無線通信補助設備	信号変器	1
	保護箱	1
	端子	1
	増幅器	1
固定式泡消火設備	分配器	2
	加圧送水装置	1
	起動装置 (P・T)	1
	混合装置	1
	泡タンク (操作部共)	1
	圧力スイッチ流水検知装置	7
	一斉開放弁	202
	手動弁	202
	操作盤、表示盤	各1
	常用電源	1
	泡ヘッド	2071
	感知ヘッド	1091
	呼水装置	1
連結送水管設備	表示灯	8
	送水口 (双口型)	1
	放水口	7
連結散水設備	散水ヘッド	37
	送水口 (双口型)	3

4. 給排水衛生設備

(1) 給水設備

機器番号	機器名称	仕様	数量
TW-B2	上水受水槽	型 式：FRP製パネルタンク（単板1槽式） 有効容量：1m ³ 外形寸法：1,000×1,000×1,000H	1
TW-B2-2	再生水受水槽	型 式：FRP製パネルタンク（単板1槽式） 有効容量：2m ³ 外形寸法：2,000×1,000×1,000H	1
PW-B2	給水ポンプユニット （上水用）	型 式：末端圧力推定一定制御（交互運転） 能 力：32φ×40φ×60ℓ/min×25m 0.75kw 重 量：107kg（本体のみ）	1
BW-B2-2	給水ポンプユニット （再生水用）	型 式：末端圧力推定一定制御（交互運転） 能 力：50φ×40φ×220ℓ/min×28m 2.2kw 重 量：156kg（本体のみ）	1

(2) 排水設備

機器番号	機器名称	仕様	数量
	汚水槽	型 式：コンクリート打放し 有効容量：20m ³ 内形寸法：3,900×2,500×2,000	1
	雑排水槽	型 式：コンクリート打放し 有効容量：20m ³ 内形寸法：3,900×2,500×2,000	1
PD-B2-1	雨水排水ポンプ	型 式：水中ポンプ（自動交互、非常時同時運転）（耐塩仕様） 能 力：50φ×150ℓ/min×10m 0.75kw 重 量：9kg（本体のみ）	2
PD-B2-2	汚水ポンプ	型 式：水中ポンプ（自動交互、非常時同時運転） 能 力：65φ×160ℓ/min×3.2m 2.2kw 重 量：83kg（本体のみ）	2
PD-B2-3	雑排水ポンプ	型 式：水中ポンプ（自動交互、非常時同時運転） 能 力：50φ×50ℓ/min×3.2m 2.2kw 重 量：11.6kg（本体のみ）	2
PD-B2-4	雨水排水ポンプ	型 式：水中ポンプ（自動交互、非常時同時運転）（耐塩仕様） 能 力：32φ×110ℓ/min×3.5m 0.15kw 重 量：5kg（本体のみ）	2
PD-B2-5	雨水排水ポンプ	型 式：水中ポンプ（自動交互、非常時同時運転）（耐塩仕様） 能 力：32φ×110ℓ/min×3.2m 0.15kw 重 量：5kg（本体のみ）	2

(3) トラップ類

機器番号	機器名称	仕様	数量
GT-B2	ガソリントラップ （消火ポンプ室）	型 式：スラブ天吊・耐火型 容 量：100ℓ	2

5. 駐車場管制設備

設備区分	機器名称	型 式	仕 様	数量
駐車場管制設備	駐車券発行機	TD-650	電源：AC100V, 単相 500VA 消費電力：待機時 20VA、定格 270VA	2
	駐車券発行機	TD-680	電源：AC100V, 単相 500VA 消費電力：待機時 20VA、定格 270VA	6
	全自動精算機	AP-698	電源：AC100V, 消費電力：待機時 210w、定格 230w	3
	事前精算機	Ap i -698	電源：AC100V, 消費電力：待機時 42w、定格 210w	4
	カーゲート	GT-650NR	電源：AC100 v、消費電力：待機時 6w、 定格 90w、自立、防雨、材質：アルミ	1
	カーゲート	GT-651NR	同上	6
	車輛感知器	MTS-120	電源：100 v、消費電力：待機時 8w、 定格：8w、形状：壁付、防雨	7
	車両検知器	DT-1～4	電源：100V 消費電力：20VA	4
	車輛感知器内部ユニット	MVD-200	電源：100 v、消費電力：20VA 以下	4
	ループコイル	LC-1～20	材：車両用架橋ホリエレン電線、ループ 巻数：4～6 リード線：10m～15m	20
	監視盤	MC-1	屋内自立据付型、AC100V、500V 以下	1
	入口表示灯組込ユニット	ES-1, 2	AC100 v、形状：屋外組込型（片面表示）	2
	超音波車両存在感知器	MTS-510	DC24 v、消費電流：80mA	300
	駐車管制盤	SC-1～10	屋内壁掛型	10
	進入禁止灯	ES-3, 4	AC100 v、形状：屋内吊下げ型・片面表示	2
	入口壁付大型満空表示灯	FS-1, 2	AC100 v、消費電力：約 270VA 形状：屋外壁付型、LED 表示 (3 可変表示)	2
	満空表示灯 (片面表示)	FS-2A～ 10	AC100 v、消費電力：約 200VA 形状：天井吊下型、LED 表示 (2 可変表示)	9
	誘導表示灯	DS-	AC100 v、形状：屋外壁付又は吊下げ型	42
	車室満空灯	RL1～104	DC24 v、形状：屋内壁付型 高輝度 LED (緑色点灯)	104

**高松シンボルタワー地下駐車場
設備定期点検業務仕様書**

1. 共通事項

1. 1 点検区分

1) 法定点検

- ① 法定点検は、施設維持管理に関する関係法令等を遵守し、法令等に定める点検、計測、整備を行う。
- ② 点検作業結果報告書は、関係諸官庁へ報告できる報告書にまとめる。
- ③ 点検作業結果で不具合が発見された場合は、すぐ対応措置できるものはその場で措置を行う。すぐ対応できない事項については、改善案等を具申する。
- ④ 点検作業結果はデータを蓄積し、将来の修繕、改修、更新のための基礎資料にまとめる。

2) 自主点検

- ① 自主点検は、設備機器等の性能・機能の状況確認及び維持保全を目的に行う。
- ② 点検作業結果で不具合が発見された場合は、すぐ対応措置できるものはその場で措置を行う。すぐ対応できない事項については、改善案等を具申する。
- ③ 点検作業結果はデータを蓄積し、将来の修繕、改修、更新のための基礎資料にまとめる。

1. 2 契約区分

1) 点検

- ① 決められた周期、点検仕様にに基づき点検作業を実施すること。
- ② 点検作業以外の不具合発生対応措置費用は別途とする。

2) 保守

- ① 決められた周期、点検仕様にに基づき点検作業を実施すること。
- ② 点検作業以外の不具合発生対応措置費用も含む。(オンコール契約)
- ③ 保守点検は、1年間の年間保守契約で行う。

1. 3 点検作業計画の承認

- ① 管理開始時に年間計画を作成し、点検時期の承認を得る。
- ② 作業前は工程表を作成し、事前に作業内容を説明して承認を得る。
- ③ 作業にあたっては、関係部署に通知・案内を実施して協力を得る。
- ④ 特に影響の大きい、停電・断水・ベル鳴動は通知・案内を徹底する。

1. 4 点検作業の実施

- ① 点検作業は、必ず作業責任者を選任する。
- ② 外注の専門会社点検作業の場合は、安全管理者を選任し立会する。
- ③ 点検作業前、作業後は必ず発注担当者に報告する。

1. 5 点検作業時間

- 1) 施設利用に影響を及ぼさない点検作業
平日の9:00～17:00の間で実施する。
- 2) 施設利用に影響を及ぼす点検作業
平日の夜間で実施する。(建物閉館後)

1. 6 報告

- 1) 法定点検
 - ① 点検報告書は、法令で定められた様式の報告書とする。
 - ② 特記報告書などは、受託者の様式の報告書とする。
- 2) 自主点検
 - ① 点検報告書は、受託者または専門会社の様式の報告書とする。
 - ② 特記報告書などは、受託者の様式の報告書とする。

1. 7 定期点検基準

設備名	定期点検／保守点検		点検区分	契約区分	備 考
	内 容	点検回数			
駐車場ネットワーク設備 対象機器：1式	駐車場ネットワーク設備点検 ・管制CPUプログラム動作点検 ・管制装置動作点検 ・カーゲート、非接触リーダー 動作点検 ・清掃・表示灯類動作点検	1～3回 ／年	自主	点検	※各々の設備により点検回数が異なる

2 設備巡回管理業務

- 1) 設備巡回管理業務については、別紙参考資料「高松シンボルタワー地下駐車場設備巡回管理業務仕様書（再委託分）」に準じるものとする。

**高松シンボルタワー地下駐車場
設備機器表**

駐車場管制設備

設備区分	機器名称	仕様	数量
駐車場管制設備	自動料金精算機 (CD)AP698	電源:AC100V ∇ 10% 50。UoHz 消費電力:待機時210W 定格230W	2
	事前料金精算機 (BCD)APi698	電源:AC100V ∇ 10% 50。UoHz 消費電力:待機時42W 定格210W	2
	カーゲート (CG)GT-651NR	電源:AC100V ∇ 10% 50。UoHz 消費電力:待機時6W 定格90W 形状:自立・防雨、ゲートバー材質:アルミ	1
	車両検知器 (DT)	電源:AC100V ∇ 10% 50。UoHz 消費電力:待機時8W 定格8W、形状:壁付・防雨	4
	ループコイル (LC)	材質:車両用架橋ポリエチレン電線 ループ巻数:4〜6巻、リード線長:標準10 m・最長15m	10面
	車室センサー (U)	電源:AC/DC24V ∇ 10% (極性フリー) 消費電力:AC時0.4W DC時0.6W	219
	ITVカメラ (ITV)	電源:外部同期、形状:屋内天井吊下型 撮像素子:インターライン転送方法CCD (1/3型) 有効画素数:38万、解像度:水平470・垂直350TV本	11
	ITV架 (5架)	14型カラービデオモニター×10、映像信号切替器×1式 フレームスイッチャー×2、シーケンシャルスイッチャー×10 ディスクレコーダー×2、パワーコントローラー×5	1式
	駐車管制盤 (SC)	電源:AC100V ∇ 10% 50。UoHz 消費電力:最大1000W以下、形状:屋内壁付型	7
	駐車監視盤 (MC-2)	電源:AC100V ∇ 10% 50。UoHz 消費電力:400W以下、形状:屋内自立据付型	1
	満車表示灯 (FS)	電源:AC100V ∇ 10% 50。UoHz 消費電力:200W以下、形状:屋内吊下型・片面表示	7
	誘導表示灯 (DS)	電源:AC100V ∇ 10% 50。UoHz 消費電力:50W以下×18、100W以下×2 形状:屋内吊下型・片面表示	18
	誘導表示灯 (DS)	電源:AC100V ∇ 10% 50。UoHz 消費電力:100W以下、形状:屋内吊下型・両面表示	1
	管理コンピューター FA3100SS 管制コンピューター FC-P32K-S1 インフォメーションコンピューター FAS3100SS	CPU:PentiumⅢ-667MHz以上 (UPS付属) 主記憶容量:128MB以上 補助記憶装置:内蔵7.4GBハードディスク以上 OS:WindowsNT4.0以上、CRT:21インチ	各1式
	磁気カード書込機	電源:AC100V ∇ 10% 50。UoHz 消費電力:待機時13W 定格14W 形状:卓上据置型、表示部:バックライト付液晶	1
	定期自動更新機 (RMC)	電源:AC100V 60Hz 単相 500VA	1
	監視盤	UPS、プリンタ、CPU、タッチパネルCRT	1
		電源:AC100V 60Hz コンセント入力	1
	ゲート制御盤・精算機 (GCB)	電源:AC200V 60Hz 三相 ゲート用電源、自立型	1
		電源:AC200V 60Hz 単相 500VA	1
	ITVカメラ (ITV)	電源:外部同期、形状:屋内天井吊下型 撮像素子:インターライン転送方法CCD (1/3型) 有効画素数:38万、解像度:水平470・垂直350TV本	8
	ITV架 (1架)	14型カラービデオモニター×1、映像信号切替器×1式 フレームスイッチャー×1、シーケンシャルスイッチャー×1 タイムラプスビデオ×1、パワーコントローラー×1	1式

参考資料

この資料は、

(別紙 1－1) 業務仕様書 の 1 頁

1 各施設の維持管理業務 (共通事項) の

(1) 施設の維持管理に関すること の

①設備保守点検業務等 の

「シンボルタワー地下駐車場」の

「設備点検業務」の

※網掛け部分に関する参考資料 です。

(注) 今回提出していただく収支計画書の内容に当該経費を含める必要はありません。

高松シンボルタワー地下駐車場 設備定期点検業務仕様書 (再委託分)

設備定期点検業務仕様書

(再委託分)

1. 共通事項	57
2. 電気設備定期点検基準	59
3. 空調設備定期点検基準	60
4. 環境衛生設備定期点検基準	61

1. 共通事項

1. 1 点検区分

1) 法定点検

- ① 法定点検は、施設維持管理に関する関係法令等を遵守し、法令等に定める点検、計測、整備を行う。
- ② 点検作業結果報告書は、関係諸官庁へ報告できる報告書にまとめる。
- ③ 点検作業結果で不具合が発見された場合は、すぐ対応措置できるものはその場で措置を行う。すぐ対応できない事項については、改善案等を具申する。
- ④ 点検作業結果はデータを蓄積し、将来の修繕、改修、更新のための基礎資料にまとめる。

2) 自主点検

- ① 自主点検は、設備機器等の性能・機能の状況確認及び維持保全を目的に行う。
- ② 点検作業結果で不具合が発見された場合は、すぐ対応措置できるものはその場で措置を行う。すぐ対応できない事項については、改善案等を具申する。
- ③ 点検作業結果はデータを蓄積し、将来の修繕、改修、更新のための基礎資料にまとめる。

1. 2 契約区分

1) 点検

- ① 決められた周期、点検仕様にに基づき点検作業を実施すること。
- ② 点検作業以外の不具合発生対応措置費用は別途とする。

2) 保守

- ① 決められた周期、点検仕様にに基づき点検作業を実施すること。
- ② 点検作業以外の不具合発生対応措置費用も含む。(オンコール契約)
- ③ 保守点検は、1年間の年間保守契約で行う。

1. 3 点検作業計画の承認

- ① 管理開始時に年間計画を作成し、点検時期の承認を得る。
- ② 作業前は工程表を作成し、事前に作業内容を説明して承認を得る。
- ③ 作業にあたっては、関係部署に通知・案内を実施して協力を得る。
- ④ 特に影響の大きい、停電・断水・ベル鳴動は通知・案内を徹底する。

1. 4 点検作業の実施

- ① 点検作業は、必ず作業責任者を選任する。
- ② 外注の専門会社点検作業の場合は、安全管理者を選任し立会する。
- ③ 点検作業前、作業後は必ず発注担当者に報告する。

1. 5 点検作業時間

- 1) 施設利用に影響を及ぼさない点検作業
平日の9:00～17:00の間で実施する。
- 2) 施設利用に影響を及ぼす点検作業
平日の夜間で実施する。(建物閉館後)

1. 6 報告

- 1) 法定点検
 - ① 点検報告書は、法令で定められた様式の報告書とする。
 - ② 特記報告書などは、受託者の様式の報告書とする。
- 2) 自主点検
 - ① 点検報告書は、受託者または専門会社の様式の報告書とする。
 - ② 特記報告書などは、受託者の様式の報告書とする。

1. 7 契約対象外項目（支給又は実費精算項目）

- ① 業務に必要な電気、水道、ガス等の光熱費
- ② 点検作業で不具合を発見して交換した部品
- ③ オンコール契約以外の不具合対応要請費用
- ④ 修理工事、オーバーホール

2. 電気設備点検基準

設 備 名	定期点検／保守点検		点検 区分	契約 区分	備 考
	内 容	点検回数			
受変電設備 対象機器： 変電設備 1 式	受変電設備精密点検（保安規定） ・遮断器、トランス等外観目視点検 ・継電器特性試験 ・制御機器作動試験（シーケンス試験） ・絶縁抵抗（配電盤より一括測定） ・接地抵抗測定 ・端子部増し締め ・盤内清掃 ・遠隔監視・制御試験	1 回／年	法定	点検	電気事業法第42条「保安規定」 対象外項目 ・絶縁油の耐压試験 ・仮設電源（顧客要求負荷用）
蓄電池設備 対象機器：1 セット 蓄電池仕様：MS E-100 54セル	直流電源装置点検 ・蓄電池、充電器の機能点検 ・充電器、電池電圧測定 ・電池電解液の比重、温度測定 ・絶縁抵抗測定 ・整流器盤の点検 ・盤、蓄電池の清掃 ・消防法に基づく点検 （外観／機能／総合点検）	2 回／年	法定	点検	対象外項目 ・触媒栓の交換
中央監視装置 対象機器：1 式	中央監視盤設備点検 UPS外観 通信機能・コネクタ システム機能 状態、警報監視機能、発停 制御、遠方設定機能、計測機能、計量機能、 サブシステムとの連携	2 回／年	自主	保守	契約対象外項目 ・冷却ファン等消耗品費
インターホン設備 対象機器：1 式	インターホン設備点検 ・通話試験 ・絶縁抵抗試験	1 回／年	自主	点検	日常管理業務に含む

3. 空調設備定期点検基準

設 備 名	定期点検／保守点検		点検 区分	契約 区分	備 考
	内 容	点検回数			
空冷ヒートポンプパッケージ 対象機器：2セット	空冷ヒートポンプパッケージ点検 屋外機 2台 ・電動機、ファン機能点検 ・冷媒容量確認（ガス温度・圧力） ・保安装置機能点検 ・フィン汚れ確認 室内機 2台 ・温調、風量調整装置点検 ・プレフィルター汚れ点検 ・ドレンパン、ドレンアップポンプ確認	2回／年	自主	点検	対象外項目 ・冷媒補充 ・フィン洗浄
全熱交換器 対象機器：2台	全熱交換器設備点検 ・ファン機能点検 ・エレメント清掃 ・ダクト接続部点検 ・プレフィルター洗浄	1回／年	自主	点検	
プレフィルター洗浄 対象機器：3台 空冷ヒートポンプパッケージ	プレフィルター洗浄 ・プレフィルター洗浄	2回／年	自主	点検	対象外項目 ・交換用予備フィルター購入費
換気設備 対象機器：37台 給気ファン 3台 排気ファン 3台 送風ユニット 31台	給排気・送風ファン点検 ・基礎部固定及び吊元部点検 ・外観点検 ・電動駆動部機能点検 ・軸受け、Vベルト、プーリー点検 ・羽根車点検	2回／年	自主	点検	
自動制御設備 対象機器：1式	自動制御設備点検 ・センサー、制御装置等機能点検 ・センサー清掃、弁整備 ・伝送装置、インターフェース点検 ・電源点検 点検機種 1) 検出器・発信器 2) 調節計 3) 変換器 4) 操作器 5) 自動制御用調整弁	1回／年	自主	点検	契約対象外項目 ・部品交換

4. 環境衛生設備定期点検基準

設 備 名	定期点検／保守点検		点検 区分	契約 区分	備 考
	内 容	点検回数			
建物全般 対象面積 8,904.57 m ²	害虫駆除 ・発生箇所駆除施工 (ねずみ、ゴキブリ、チョウバエ等)	2回／年	法定	保守	ビル管理法施行規則第4条の3 「清掃等及びねずみ、こん虫等の防除」 ※ 生息検査は全面駆除を除く月に実施
	生息検査 ・生息状況検査 ・部分駆除（厨房等害虫発生箇所）	10回／年	法定		
ガソリントラップ 対象機器：4基 80 $\frac{1}{2}$ ×2, 60 $\frac{1}{2}$ ×2	トラップ清掃 ・トラップ内汚泥処理（バキューム）	2回／年	自主	点検	

参考資料

この資料は、

(別紙 1－1) 業務仕様書 の 1 頁

1 各施設の維持管理業務 (共通事項) の

(1) 施設の維持管理に関すること の

①設備保守点検業務等 の

「シンボルタワー地下駐車場」の

「設備点検業務」の

※網掛け部分に関する参考資料 です。

(注) 今回提出していただく収支計画書の内容に当該経費を含める必要はありません。

高松シンボルタワー地下駐車場 設備巡回管理業務仕様書 (再委託分)

設備巡回管理業務仕様書

(再委託分)

1. 建物概要等	64
2. 管理業務の内容等	65
3. 負担区分	67
4. 設備巡回管理業務基準	68

1. 建物概要等

1. 1 建物概要

建 物 名 称	高松シンボルタワー
建 物 住 所	香川県高松市サンポート2-1
竣 工	平成16年3月1日
建 築 面 積	10,603.49㎡
延 床 面 積	100,373.93㎡
階 数	高層棟 地下2階、地上30階、塔屋1階 低層棟 地下2階、地上7階、塔屋1階
駐 車 場	506台（公共221台、民間251台、共用15台、搬入用19台）
駐 輪 場	1,079台

1. 2 用途概要と管理範囲

区分所有者	用途	階数	面積	管理範囲
① 香川県	展示場	1F～2F	822.39㎡	
	国際会議場、情報通信交流館、 パスポートセンター他	2F～8F	9,017.19㎡	
② 高松市	サンポートホール高松	B2F～8F	21,646.04㎡	
③ シンボルタワー開発	賃貸オフィス、商業施設他	1F～30F	27,770.42㎡	
	民間駐車場	B2F～1F	6,145.83㎡	
④ 県市共有	公共駐車場	B2F～B1F	8,904.57㎡	○
⑤ 全体共用			25,797.49㎡	

2. 管理業務の内容等

2. 1 業務内容

1) 巡視点検

- ① 巡視点検計画に基づき巡視点検し、機器の外観から機能及び劣化の状態を調べる。
- ② 機器の電流計など検針記録し、正常であるか判断する。
- ③ 機器が異常と判断した場合は、必要な措置を講じる。
- ④ 日常的保守作業が必要な機器は、フィルター清掃、消耗品交換など適切に行う。
- ⑤ 巡視点検の管理基準は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「建築保全業務共通仕様書」を基準とする。

2) 不具合対応

- ① 建築設備の異常・不都合に対し、その時点の最善な措置を講じる。
- ② 委託者からの不具合対応要請の受付業務を行う。
- ③ 不具合対応要請で受付した業務は、的確に判断して敏速に対応措置を行う。
- ④ 修理が必要なものは、委託者と協議のうえ修理方法を決め措置を行う。

3) 小修理

- ① 点検用保守工具及び常備している材料でできる範囲の修理を行う。
- ② 小修理事業は、巡視点検、不具合対応業務に支障がない範囲とする。

2. 2 業務遂行条件

1) 業務責任者

- ① 管理開始時に業務責任者を定め、委託者に届出、承認を得る。
- ② 業務責任者は、業務を総合的に把握でき業務の調整ができる人材とする。
- ③ 業務責任者の不在時は、代理人を選任し業務に支障をきたさないようにする。

2) 業務従事者

- ① 業務従事者は、業務に必要な教育訓練を受けた人材とする。
- ② 管理開始前に業務従事者名簿を委託者に届出、承認を得る。

3) 業務計画

- ① 管理開始時に管理体制、運転計画、点検工程など契約業務に基づく業務計画を提出し承認を得る。
- ② 業務計画書は年度計画・月間計画及び業務別作業計画書とする。
- ③ 運転・監視業務及び巡視点検は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「建築保全業務共通仕様書」を遵守して当該建物に合わせた内容とする。
- ④ 各業務を実施する際は、建物維持管理関係法令を遵守して行う。

4) 安全衛生管理

- ① 安全衛生に関する管理は、業務責任者が責任者となり、関係法令に遵守して行う。

5) 危険防止の措置

- ① 業務の実施にあたっては、常に整理整頓を行い、危険な場所には必要な安全措置を講じ事故の防止に努める。
- ② 日常業務の中で危険な場所または危険的作业が発生する場合は、委託者に改善を具申する。

2. 3 業務報告

1) 巡回点検報告書

- ① 毎月作成して翌月最初に委託者に報告する。
- ② 内容は、巡回点検の内容を整理したもの、月間作業実施結果報告などとする。
- ③ また、当月の月間作業計画も報告する。

2) 年度報告書

- ① 年度末に作成して委託者に報告する。
- ② 内容は、巡回点検報告書及び定期点検記録（年間作業実施記録）を整理したものとする。
- ③ 年間の作業実績を踏まえ、次年度作業計画も作成・報告する。
- ④ 運転データ及び光熱使用量は月・年の分析を行い省エネ対策を策定する。
- ⑤ 業務内容を分析し、業務の効率化・改善の提案を行う。

3) その他報告書

- ① 事故等が発生措置した場合は、原因、処置内容、改善策内容の報告書を提出する。
- ② 管理機器の不具合を発見し修理等改善が必要な場合は、速やかに報告して、発注者と修理方法等協議する。

2. 4 管理記録書類の作成及び管理保管

1) 計画・報告書類 [保存期間 5年]

- ① 年間・月間作業計画（作業実施）表
- ② 巡回点検報告書・年間報告書

2) 点検記録類 [保存期間 5年]

- ① 電気設備点検表
- ② 空気調和設備点検表
- ③ 給排気設備点検表
- ④ 給排水衛生設備点検表

3) 整備・補修・事故記録類 [保存期間 永年]

- ① 整備記録
- ② 補修記録
- ③ 事故・障害記録

4) その他書類整備

上記以外に建物維持管理上必要な書類等または委託者が要望したものは、作成及び管理保管をする。

3. 負担区分

委託者と受託者の負担区分は、下表のとおりとする。

負 担 項 目	委託者	受託者
1) 業務に必要な電気、水道等光熱費	○	
2) 巡回点検に必要な設備機器用予備品、消耗品 <ul style="list-style-type: none"> ・空調用プレフィルター・エレメントなど ・自家発電機燃料、不凍液、グリス、マシンオイルなど ・照明器具の管球類、制御盤等のパイロット球など ・Vベルト、パッキンなど 		
3) 小修理に必要な電材、管材 <ul style="list-style-type: none"> ・ケーブル類、接続部品、コンセントなど ・ビス、ボルト、ナット類など ・塩ビ管、金属管など 		
4) 故障等による部品交換、分解修理、修繕工事等		
5) 業務日誌、ファイル、筆記用具等事務用品		○
6) 点検用保守工具、計測器類 <ul style="list-style-type: none"> ・腰道具類、点検保守工具、懐中電灯、テスター、温度計など 		

4. 設備巡回管理業務基準

設備巡回管理業務基準は、次のとおりとする。

4. 1 電気設備

設備名	設備巡回管理業務内容	点検回数	備考
受変電設備	巡回点検（保安規定） ・毎日点検（外観目視点検、指示値の記録） ・月例点検（外観目視点検） 不具合対応 ・停電時措置	1回／日 1回／月 都度	
幹線設備	巡回点検（保安規定） ・EPS外観点検 不具合対応 ・停電時措置	2回／年 都度	
蓄電池設備	巡回点検 ・外観目視点検 ・充電器、蓄電池セル端子電圧測定	1回／月 2回／年	
電灯分電盤	巡回点検 ・外観目視点検 ・盤清掃、端子増し締め 不具合対応 ・開閉器トリップ措置	2回／年 1回／年 都度	
動力制御盤	巡回点検 ・外観目視点検 ・盤清掃、端子増し締め 不具合対応 ・開閉器トリップ措置	2回／年 1回／年 都度	
照明・コンセント設備	巡回点検 ・照明不点管球交換 ・照明器具、コンセント器具不具合点検 不具合対応 ・不点、器具不良措置	都度 2回／年 都度	材料は支給とする。 材料は支給とする。
非常照明・誘導灯設備	巡回点検 ・誘導灯不点管球交換 ・照明器具外観点検及びバッテリー点灯確認 不具合対応 ・不点、器具不良措置	都度 2回／年 都度	材料は支給とする。 消防点検時に準ずる。 材料は支給とする。
照明制御設備	不具合対応 ・遠隔発停不良措置	都度	
電話配管配線設備	不具合受付 ・電話不良時のMDF室、EPS案内立会い	都度	
I T V設備	不具合対応 ・通話不良時の点検、修理	都度	材料は支給とする。
インターホン設備	不具合対応 ・通話不良時の点検、修理	都度	材料は支給とする。

4. 2 空調設備

設備名	設備巡回管理業務内容	点検回数	備考
空冷ヒートポンプパッケージ 2台	巡回点検 (室外機) ・外観目視点検、指示値の記録 (室内機) ・フィルター汚れ点検 不具合対応 ・温調調整、風量調整 ・結露対応	4回／年 2回／年 都度 都度	
全熱交換器 2台	巡回点検 ・外観目視点検、風量切替確認 不具合対応 ・風量調整	1回／年 都度	
換気設備 (給気・排気ファン) 8台	巡回点検 ・外観目視点検、指示値の記録 不具合対応 ・風量調整、ダンパー調整	1回／年 都度	
自動制御設備 1式	巡回点検 ・CO 測定値記録	1回／日	

参考資料

この資料は、

(別紙 1－1) 業務仕様書 の 1 頁

1 各施設の維持管理業務 (共通事項) の

(1) 施設の維持管理に関すること の

①設備保守点検業務等 の

「シンボルタワー地下駐車場」の

「設備点検業務」の

※網掛け部分に関する参考資料 です。

(注) 今回提出していただく収支計画書の内容に当該経費を含める必要はありません。

高松シンボルタワー地下駐車場 設備機器表 (再委託分)

高松シンボルタワー地下駐車場設備機器表

(再委託分)

1. 電気設備	72
(1) 受変電設備	
(2) 負荷設備	
(3) 弱電設備	
2. 空調設備	76
(1) 空冷ヒートポンプパッケージ	
(2) 全熱交換器	
(3) 送排風機	
(4) 自動制御	
3. 給排水衛生設備	77
(1) トラップ類	

1. 電気設備

(1) 受変電設備

設備区分	部位	仕様	数量
受変電設備 B 2 階 公共駐車場	受電盤	高圧断路器 (DS)	2
		高圧真空遮断器 (VCB)	6
		変流器 (CT)	10
		計器用変圧器 (VT)	4
		高圧電力ヒューズ (PF)	18
		試験用電圧端子 (VTT)	2
		試験用電流端子 (CTT)	2
		継電器	不足電圧継電器 過電流継電器
			2 2
	起電盤	高圧真空遮断器 (VCB)	4
		変流器 (CT)	6
		試験用電流端子 (CTT)	3
		継電器	過電流継電器
	変圧器・低圧盤	変圧器 (TR)	モールド型 : 500KVA~50KVA
		高圧交流負荷開閉器 (LBS)	4
		高圧電力ヒューズ (PF)	4
		ダイヤル温度計 (Th) 警報接点付	4
		零相変流器 (ZCT)	4
		継電器	低圧地絡継電器
		ヒューズ (F)	4
		最大需要電流計 (DA)	4
		変流器 (CT)	8

設備区分	機器名称	仕様	数量
蓄電池設備	サイリスタ整流器	整流方式 : 三相全波整流 冷却方式 : 自然冷却 相 数 : 三相 3 線	1
	蓄電池	種 類 : シール型据置鉛蓄電池 (制御弁式) 形 式 : MSE、500AH/10HR 公称電圧 : 108V セ ル 数 : 54セル	

(2) 負荷設備

動力制御盤

盤名称	負荷数	備考
B2Mkt-1	2	B2F駐車場給気ファン、自動制御用電源
B2Mkt-2	6	B2F駐車場排気ファン、自動制御用電源、防火シャッター、デリバントファン、制御電源
B1Mkt-1	6	B1F駐車場給気ファン、自動制御用電源、シャッター、デリバントファン、空冷エアコン、制御電源

電灯分電盤

盤名称	回路数	容量 (VA)
B2Lkt-1	56	25,950
B2Lkt-2	49	20,525
B1Lkt-1	70	20,915
B1Lkt-2	11	7,512

(3) 弱電設備

設備区分	機器名称	仕様	数量
中央監視盤設備	L2スイッチ	ST13512 インテリジェント型 12ポートスイッチングハブ	1
	ローカルコントロール プロセッサ (LCP)	本体: 32ビットコンピュータシステム 上位伝送方式: IEEE802.3(10BASE-5) 下位伝送方式: ポーリングセレクトイング方式 速度9,600bps リモートステーションとの通信: RS-485 グラパネコントローラGPC接続可	1
	無停電電源装置 (UPS)	給電方式: 常時インバータ給電 入力電源: AC100V±15% 出力電源: AC100V±3%、0.5kVA 停電補償時間: 10分(定格負荷時)	1
照明制御設備	照明制御盤	制御可能回路数: 256、アナンシエータ窓数: 160 (160窓×1) 設置: 地下1階公共駐車場監視室	1式
	《共通仕様》		
	アナンシエーター (ANN)	表示方式: 赤色LED1色表示 窓数: 160窓(最大160窓×4 設置可能) 対象点: 個別・パターン・グループ 表示方法: LED点灯(ON)、LED消灯(OFF)	
	カラー液晶ディスプレイ (LCD)	表示方法: バックライト付きカラー液晶 画面サイズ: 10.4インチ 解像度: 640×480ドット 表示文字: 英、数、かな、漢字(JIS第2水準まで)	

(3) 弱電設備

設備区分	機器名称	仕様	数量
照明制御設備	雑印字プリンター (MPR)	印字方式: 感熱式ドットマトリックス 印字数: 漢字20字/行、ANK40字/行 印字文字:	1式
	中央処理装置 (CPU)	プロセッサ: 32ビット メモリアルバックアップ: リチウム電池 フロッピーディスク: 3.5インチ×1、データ登録、データ保存	
	多重伝送ブロック	伝送方式: 時分割多重伝送方式 伝送速度: 10KBPS	
	電源	入力電源: GAC100V、50/60Hz 最大消費電力: 約200VA	
	副操作盤	アナンシェータ窓数: 160 (160窓×1) 設置: 地下1階中央監視室	1式
	《共通仕様》		
	アナンシェーター (ANN)	表示方式: 赤色LED1色表示 窓数: 160窓 (最大160窓×4 設置可能) 対象点: 個別・パターン・グループ 表示方法: LED点灯 (ON)、LED消灯 (OFF)	
	電源	入力電源: GAC100V、50/60Hz 最大消費電力: 約200VA	
インターホン設備	インターホン親機 (6局用)	電源電圧: DC12V、形状: 露出型、親子式・相互式	1
	インターホン親機 (20局用)	電源電圧: DC12V、形状: 卓上・壁掛両用、複合式	1
	インターホン子機	形状: 卓上・壁掛両用	8

2. 空調設備

(1) 空冷ヒートポンプパッケージ

機器番号	機器名称	仕様							数量
		型式	区分		屋内機型	馬力 (HP)	屋外機	屋内機	
「低層棟」			室外機	室内機					
PAC-ktB1-01	B1F公共駐車場系	4方向吹き出し	○	○	天井カセット	3.0	1	1	1
PAC-zB1-03	B1F公共駐車場系	2台同時運転型	○	○	天井カセット	6.0	1	2	1

(2) 全熱交換器

機器番号	機器名称	仕様		数量
		型式	風量 (m³/h)	
「低層棟」				
AHE-ktB1-01	B1F公共駐車場監視室	天井埋込ダクト型	200	1
AHE-zB1-02	B1F公共駐車場監視室	天井埋込ダクト型	300	1

(3) 送排風機

機器番号	機器名称	仕様			数量
		型式	風量 (m³/h)	容量	
「低層棟」					
SF-ktB2-01	給気ファン (B2F駐車場系統)	両吸込みシロッコファン	110,300	55.00kw	1
SF-ktB1-01	給気ファン (1F廊下) B1F駐車場系統	両吸込みシロッコファン	100,500	45.00kw	1
SF-ktB2-02	B2F倉庫給気ファン	天吊型片吸込みシロッコファン		1.50kw	
EF-ktB2-01	排気ファン (B2駐車場系統)	両吸込みシロッコファン	110,300	55.00kw	1
EF-ktB2-03	排気ファン (B1駐車場系統)	両吸込みシロッコファン	100,500	45.00kw	1
EF-ktB2-02	B2F倉庫排気ファン	天吊静音型ラインシロッコファン		0.40kw	1
DF-hB2-01	空気誘引搬送用送風ユニット	天吊ファン内蔵型	636	0.06kw	17
DF-hB1-01	空気誘引搬送用送風ユニット	天吊ファン内蔵型	636	0.06kw	14

(4) 自動制御

制御名称	制御項目	系統名	SET数
全熱交換器制御		B1F 公共駐車場監視室	1
パッケージ型空調機制御		B1F 公共駐車場系	1
駐車場換気ファン制御		B2F 駐車場	2
		B1F 駐車場	
ファン発停制御	1. 発停制御	B2F 駐車場	48台
		B1F 駐車場	

3. 給排水衛生設備

(1) トラップ類

機器番号	機器名称	仕様	数量
GT-d-B2-1	ガソリントラップ	型 式：スラブ天吊・防水型 容 量：800×2 600×2	4

**玉藻地区ハーバープロムナード第1駐車場、
港湾緑地第2駐車場、港湾緑地第3駐車場、
キャッスルプロムナード駐車場
定期点検業務仕様書**

**玉藻地区ハーバープロムナード第1駐車場、港湾緑地第2駐車場、
港湾緑地第3駐車場、キャッスルプロムナード駐車場 定期点検業務仕様書**

施設	点検項目	点検回数
第1駐車場	駐車場発券機	6回／年
	自動精算機	6回／年
	カーゲート	6回／年
第2駐車場	駐車場発券機	6回／年
	自動精算機	6回／年
	カーゲート	6回／年
第3駐車場	駐車場発券機	3回／年
	自動精算機	3回／年
	カーゲート	3回／年
キャッスルプロムナード駐車場	自動精算機	2回／年
	フラップ板	2回／年

**玉藻地区ハーバープロムナード第1駐車場、港湾緑地第2駐車場、
港湾緑地第3駐車場、キャッスルプロムナード駐車場 主要設備一覧表**

1. 玉藻地区ハーバープロムナード第1駐車場

所 在 地	構 造 等	数 量		備 考
高松市サンポート 1 番 2 8 7		延面積 1,165	m ² 90	
	インターロッキング舗装	791	m ² 65	
	インターロッキング芝目地舗装	364	m ² 25	
	擁壁	10	m ² 00	
	コンクリート塀	20箇所		
	グリーンフェンス	18箇所		
	駐車券発行機	1基		
	自動精算機	1基		
	信号制御機	1基		
	カーゲート	2基		
	照明灯（1灯）	1基		
	照明灯（2灯）	2基		
	出入口灯	1基		
	テント	1基		
	監視カメラ	1基		

2. 港湾緑地第2駐車場

所在地	構 造 等	数 量		備 考
高松市サンポート 1 番 2 5 9		延面積 1,493	m ² 20	
	アスファルト舗装	1,264	m ² 32	
	縁石	146	m ² 30	
	植栽帯	137	m ² 40	
	駐車券発行機	1基		
	自動精算機	1基		
	カーゲート	2基		
	照明灯（1灯）	8基		
	出入口灯	1基		
	テント	1基		
	監視カメラ	1基		

3. 港湾緑地第3駐車場

所在地	構 造 等	数 量	備 考
高松市サンポート 3 2 3 番 6		延面積 1,940 00	m ²
	アスファルト舗装	1,360 00	m ²
	縁石	144 00	m ²
	自由勾配側溝	130 00	m ²
	植栽帯	490 00	m ²
	駐車券発行機	1基	
	自動精算機	1基	
	カーゲート	2基	
	車体判別センサー	1式	
	照明灯（1灯）	4基	
	出入口灯	1基	
	テント	1基	
	車両用案内標識	1基	
	監視カメラ	1基	

4. キャッスルプロムナード駐車場

所在地	構 造 等	数 量	備 考
高松市玉藻町5 7 番 1		延面積 1,072 00	m ²
	アスファルト舗装	1,072 00	m ²
	自動精算機	1基	
	フラップ板	10基	
	照明灯（1灯）	4基	
	出入口灯	1基	
	テント	1基	
	車両用案内標識	1基	

**高松駅前広場地下駐車場
高松駅前広場地下自転車駐車場
設備定期点検業務仕様書**

設備定期点検業務仕様書

1. 共通事項	85
2. 電気設備定期点検基準	87
3. 空調設備定期点検基準	89
4. 給排水設備定期点検基準	90
5. 防災設備定期点検基準	91
6. 昇降機等設備定期点検基準	92
7. 自動ドア設備定期点検基準	92
8. 管理用シャッター設備定期点検基準	92
9. 搬送コンベヤー設備定期点検基準	92
10. 電動式防水扉設備定期点検基準	93
11. 環境衛生設備定期点検基準	93
12. 駐車場管制設備定期点検基準	93

1. 共通事項

1. 1 点検区分

1) 法定点検

- ① 法定点検は、施設維持管理に関する関係法令等を遵守し、法令等に定める点検、計測、整備を行う。
- ② 点検作業結果報告書は、関係諸官庁へ報告できる報告書にまとめる。
- ③ 点検作業結果で不具合が発見された場合は、すぐ対応措置できるものはその場で措置を行う。すぐ対応できない事項については、改善案等を具申する。
- ④ 点検作業結果はデータを蓄積し、将来の修繕、改修、更新のための基礎資料にまとめる。

2) 自主点検

- ① 自主点検は、設備機器等の性能・機能の状況確認及び維持保全を目的に行う。
- ② 点検作業結果で不具合が発見された場合は、すぐ対応措置できるものはその場で措置を行う。すぐ対応できない事項については、改善案等を具申する。
- ③ 点検作業結果はデータを蓄積し、将来の修繕、改修、更新のための基礎資料にまとめる。

1. 2 契約区分

1) 点検

- ① 決められた周期、点検仕様にに基づき点検作業を実施すること。
- ② 点検作業以外の不具合発生対応措置費用は別途とする。

2) 保守

- ① 決められた周期、点検仕様にに基づき点検作業を実施すること。
- ② 点検作業以外の不具合発生対応措置費用も含む。(オンコール契約)
- ③ 保守点検は、1年間の年間保守契約で行う。

1. 3 点検作業計画の承認

- ① 管理開始時に年間計画を作成し、点検時期の承認を得る。
- ② 作業前は工程表を作成し、事前に作業内容を説明して承認を得る。
- ③ 作業にあたっては、関係部署に通知・案内を実施して協力を得る。
- ④ 特に影響の大きい、停電・断水・ベル鳴動は通知・案内を徹底する。

1. 4 点検作業の実施

- ① 点検作業は、必ず作業責任者を選任する。
- ② 外注の専門会社点検作業の場合は、安全管理者を選任し立会する。
- ③ 点検作業前、作業後は必ず発注担当者に報告する。

1. 5 点検作業時間

1) 施設利用に影響を及ぼさない点検作業

平日の9:00～17:00の間で実施する。

2) 施設利用に影響を及ぼす点検作業

平日の夜間で実施する。(建物閉館後)

1. 6 報告

1) 法定点検

① 点検報告書は、法令で定められた様式の報告書とする。

② 特記報告書などは、受託者の様式の報告書とする。

2) 自主点検

① 点検報告書は、受託者または専門会社の様式の報告書とする。

② 特記報告書などは、受託者の様式の報告書とする。

2. 電気設備点検基準

設 備 名	定期点検／保守点検		点検 区分	契約 区分	備 考
	内 容	点検回数			
受変電設備 対象機器： 変電設備 1 式	受変電設備精密点検（保安規定） ・遮断器、トランス等外観目視点検 ・継電器特性試験 ・制御機器作動試験（シーケンス試験） ・絶縁抵抗測定（配電盤より一括測定） ・端子部増し締め ・盤内清掃・遠隔監視・制御試験	1 回／年	法定	点検	電気事業法第42条「保安規定」
自家発電機設備 対象機器：1 基 ガスタービン300KVA	非常用発電機設備点検 ・原動機、発電機の作動・機能点検 ・制御機器作動試験（シーケンス試験） ・継電器特性試験 ・絶縁抵抗・接地抵抗測定 ・盤内清掃、端子部増し締め ・消防法に基づく点検 （機能／総合点検）	2 回／年	法定	点検	電気事業法第42条「保安規定」 消防法第17条
直流電源装置	(整流器)GTSC100-30				
蓄電池設備 対象機器：1 セット 直流電源装置 100AH/10HR 蓄電池仕様：MSE 54セル	直流電源装置点検 ・蓄電池、充電器の機能点検 ・充電器、電池電圧測定 ・絶縁抵抗測定 ・整流器盤の点検 ・盤、蓄電池の清掃 ・消防法に基づく点検 （機能／総合点検）	2 回／年	法定	点検	
中央監視盤設備点検 対象機器：1 式	中央監視盤設備点検 ・CPU 機能動作確認、プログラム点検 ・UPS バックアップ機能確認 ・システム 機能、状態の確認／診断 ・キーボード／マウス 動作試験／清掃 ・CRT 設定要素の確認／清掃 ・プリンター等周辺機器清掃	1 回／年	自主	点検	
電話設備 対象機器：1 式	電話交換機点検保守 ・電話交換機の作動、機能点検 ・電源装置の機能点検（充電器・蓄電池） ・回線点検（接続・絶縁等）	2 回／年	自主	点検	

設 備 名	定期点検／保守点検		点検	契約	備 考
	内 容	点検回数	区分	区分	
ITV設備 対象機器：1 式	ITV 設備点検 ・ ITV カメラ作動点検 ・ レンズ部清掃 ・ 色合い調整、機器動作点検	1 回／年	自主	点検	
インターホン設備 対象機器：1 式	インターホン設備点検 ・ 通話試験 ・ 絶縁抵抗試験	1 回／年	自主	点検	日常巡視点検に含む
ラジオ再放送設備 対象機器：1 式	ラジオ再放送設備点検 ・ 電源点検 ・ 入力電波確認 ・ 送信確認 ・ 端子増締め	1 回／年	自主	点検	
トイレ緊急呼び出し設備 対象機器：1 式	トイレ緊急呼び出し設備点検 ・ 呼び出しボタン作動点検	1 回／年	自主	点検	日常巡視点検に含む
電気時計設備 対象機器：1 式	電気時計設備点検 ・ 電気時計作動点検	1 回／年	自主	点検	日常巡視点検に含む

3. 空調設備定期点検基準

設 備 名	定期点検／保守点検		点検 区分	契約 区分	備 考
	内 容	点検回数			
空冷ヒートポンプパッケージ 対象機器：5セット	空冷ヒートポンプパッケージ点検 屋外機 5台 ・電動機、ファン機能点検 ・冷媒容量確認（ガス温度・圧力） ・保安装置機能点検 ・フィン汚れ確認 室内機 9台 ・温調、風量調整装置点検 ・プレフィルター汚れ点検 ・ドレンパン、ドレンアップポンプ確認	2回／年	自主	点検	
全熱交換器 対象機器：4台	全熱交換器設備点検 ・ファン機能点検 ・エレメント清掃 ・ダクト接続部点検	1回／年	自主	点検	
プレフィルター洗浄 対象機器：13台 空冷ヒートポンプパッケージ 全熱交換器	プレフィルター洗浄 ・プレフィルター洗浄	4回／年	自主	点検	
給・排気ファン 対象機器： 給気ファン 17台 排気ファン 35台 排煙ファン 1台	給・排気ファン点検 ・基礎部固定部点検 ・外観点検 ・電動機機能点検 ・軸受け・Vベルト、プーリー点検 ・羽根車点検	1回／年	自主	点検	
空調自動制御	駐車場ファン制御 CO濃度発信機 デジタル調節器	1回／年	自主	点検	
ロールフィルター 対象機器：5台	ロールフィルター点検 ・ロールフィルター残量点検 ・差圧計確認	2回／年	自主	点検	

4. 給排水設備定期点検基準

設 備 名	定期点検／保守点検		点検 区分	契約 区分	備 考
	内 容	点検回数			
加圧給水ポンプユニット 対象機器：2ユニット 上水用 再生水用	加圧給水ポンプユニット点検 ・ポンプ運転状況点検 ・ポンプシール部点検、調整 ・ポンプ圧力制御機能点検、調整 ・電動機ベアリング機能点検 ・電動機絶縁測定	2回／年	自主	点検	
排水ポンプ 対象機器：18台	排水ポンプ点検 ・ポンプ運転状況点検 ・絶縁測定	2回／年	自主	点検	
貯湯電気温水器 対象機器：1台 SUS製 20ℓ	貯湯電気温水器点検 ・機能点検 ・絶縁測定	2回／年	自主	点検	

5. 防災設備定期点検基準

設 備 名	定期点検／保守点検		点検 区分	契約 区分	備 考
	内 容	点検回数			
自動火災報知設備 ・機器点検 ・機器、総合点検	消防・防災設備定期点検 受信機機能操作試験 感知器作動試験 感知器感度試験 絶縁抵抗測定	2回／年	法定	保守	消防法第17条の3の3 「消防設備等の定期点検」
防排煙設備 ・機器点検 ・機器、総合点検	消防・防災設備定期点検 受信機機能操作試験 感知器作動試験 感知器感度試験 絶縁抵抗測定	2回／年	法定	保守	
消火器 ・機器点検 ・機器、点検	消防・防災設備定期点検 容器・レバー・安全装置状態確認	2回／年	法定	点検	
誘導灯設備 ・機器点検 ・機器、総合点検	消防・防災設備定期点検 外観点検、予備電源切り替え確認 器具清掃点検	2回／年	法定	点検	
非常コンセント設備 ・機器点検 ・機器、総合点検	消防・防災設備定期点検 端子電圧、相の確認、 ケースの外観点検	2回／年	法定	点検	
非常放送設備 ・機器点検 ・機器、総合点検	消防・防災設備定期点検 機器作動試験、スピーカー鳴動確認 予備電源切り替え確認、スピーカー音量試験 絶縁抵抗測定	2回／年	法定	点検	
無線通信補助設備 ・機器点検 ・機器、総合点検	消防・防災設備定期点検 機能操作試験、予備電源切り替え試験 端子・増幅器・分配器状態確認、清掃	2回／年	法定	点検	
特殊ガス消火設備 ・機器点検 ・機器、総合点検	消防・防災設備定期点検 特殊ガス容量確認 起動装置動作確認	2回／年	法定	点検	
連結送水管 ・機器点検 ・機器、総合点検	消防・防災設備定期点検 放水、放水口、収納箱状態確認	2回／年	法定	点検	
防火水槽 ・機器点検 ・機器、総合点検	防火水槽設備点検 水量確認 定水位弁機能点検	2回／年	法定	点検	
泡消火設備 ・機器点検 ・機器、総合点検	消防・防災設備定期点検 薬剤容量確認 圧力確認	2回／年	法定	点検	

6. 昇降機等設備定期点検基準

設 備 名	定期点検／保守点検		点検 区分	契約 区分	備 考
	内 容	点検回数			
エレベータ 対象機器：2台	エレベータ保守点検 ・遠隔自動監視 ・定期自主点検、整備 ・フルメンテナンス契約	12回／年	法定	保守	建築基準法第8条 ※メーカー系保守会社とする
	エレベータ法定性能検査 ・機能点検 ・保護装置点検	1回／年	法定	点検	建築基準法第12条 「報告、検査等」

7. 自動ドア設備定期点検基準

設 備 名	定期点検／保守点検		点検 区分	契約 区分	備 考
	内 容	点検回数			
身障者トイレ自動ドア 対象機器：3台	自動ドア設備点検 ・ドアエンジン装置各部点検、調整 ・開閉状態、速度点検調整 ・安全センサー点検調整	2回／年	自主	点検	

8. 管理用シャッター設備定期点検基準

設 備 名	定期点検／保守点検		点検 区分	契約 区分	備 考
	内 容	点検回数			
管理用シャッター 対象機器：9台	シャッター設備点検 ・開閉器、ブレーキ装置の作動確認 ・巻取シャフト、ブラケットの点検 ・降下状態、巻き上げ状態の点検 ・リミットスイッチの点検、調整 ・制御盤、押ボタンスwitchの点検	2回／年	自主	点検	

9. 搬送コンベヤー設備定期点検基準

設 備 名	定期点検／保守点検		点検 区分	契約 区分	備 考
	内 容	点検回数			
搬送コンベヤー 対象機器：7台	搬送コンベヤー設備点検 ・光電センサー作動確認 ・非常停止作動確認	4回／年	自主	点検	

10. 電動式防水扉設備定期点検基準

設 備 名	定期点検／保守点検		点検 区分	契約 区分	備 考
	内 容	点検回数			
電動式防水扉 対象機器：1 台	電動式防水扉設備点検 ・動作確認 ・ボルト部増し締め ・駆動装置点検、注油	1 回／年	自主	点検	

11. 環境衛生設備定期点検基準

設 備 名	定期点検／保守点検		点検 区分	契約 区分	備 考
	内 容	点検回数			
上水貯水槽 対象機器： 受水槽 1 槽式 3m ³	上水貯水槽清掃 ・槽内清掃 ・槽内消毒 ・定水位弁機能点検	1 回／年	自主	点検	
再生水貯水槽 対象機器： 受水槽 1 槽式 3m ³	再生水貯水槽清掃 ・槽内清掃 ・槽内消毒 ・定水位弁機能点検	1 回／年	自主	点検	
上水設備 水質検査 対象機器：1 検体	簡易項目水質検査 ・省略不可項目（11項目）	1 回／年	法定	点検	水道法第20条「水質検査」
汚水・雑排水槽	・槽内清掃 ・槽内消毒	2 回／年	自主	点検	
害虫駆除 延床面積 18,971.65m ²	害虫駆除 ・発生箇所駆除施行 (蚊、蝇、ダニ、ゴキブリ、ねずみ等)	2 回／年	自主	保守	※生息検査は全面駆除を除く月に実施
	生息検査 ・生息状況検査 ・部分駆除（厨房等害虫発生箇所）	10回／年			

12. 駐車場管制設備定期点検基準

設 備 名	定期点検／保守点検		点検 区分	契約 区分	備 考
	内 容	点検回数			
駐車場管制設備 対象機器：1 式	駐車場管制設備点検 ・機能点検 ・駆動部清掃	1～3 回 ／年	自主	点検	※各々の設備により回数が異なる

**高松駅前広場地下駐車場
高松駅前広場地下自転車駐車場
巡回管理業務仕様書**

設備巡回管理業務仕様書

1. 管理業務の内容等	9 6
2. 設備巡回管理業務基準	9 8
2.1 電気設備	
2.2 空調設備	
2.3 給排水設備	
2.4 防災設備	
2.5 昇降機・自動扉設備	
2.6 駐車場管制設備	

1. 管理業務の内容等

1. 1 業務内容

1) 巡視点検

- ① 巡視点検計画に基づき巡視点検し、機器の外観から機能及び劣化の状態を調べる。
- ② 機器の電流計など検針記録し、正常であるか判断する。
- ③ 機器が異常と判断した場合は、必要な措置を講じる。
- ④ 日常的保守作業が必要な機器は、フィルター清掃、消耗品交換など適切に行う。
- ⑤ 巡視点検の管理基準は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「建築保全業務共通仕様書」を基準とする。

2) 不具合対応

- ① 建築設備の異常・不都合に対し、その時点の最善な措置を講じる。
- ② 委託者からの不具合対応要請の受付業務を行う。
- ③ 不具合対応要請で受付した業務は、的確に判断して敏速に対応措置を行う。
- ④ 修理が必要なものは、委託者と協議のうえ修理方法を決め措置を行う。

3) 小修理

- ① 点検用保守工具及び常備している材料でできる範囲の修理を行う。
- ② 小修理作業は、巡視点検、不具合対応業務に支障がない範囲とする。

1. 2 業務遂行条件

1) 業務責任者

- ① 管理開始時に業務責任者を定め、委託者に届出、承認を得る。
- ② 業務責任者は、業務を総合的に把握でき業務の調整ができる人材とする。
- ③ 業務責任者の不在時は、代理人を選任し業務に支障をきたさないようにする。

2) 業務従事者

- ① 業務従事者は、業務に必要な教育訓練を受けた人材とする。
- ② 管理開始前に業務従事者名簿を委託者に届出、承認を得る。

3) 業務計画

- ① 管理開始時に管理体制、運転計画、点検工程など契約業務に基づく業務計画を提出し承認を得る。
- ② 業務計画書は年度計画・月間計画及び業務別作業計画書とする。
- ③ 運転・監視業務及び巡視点検は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「建築保全業務共通仕様書」を遵守して当該建物に合わせた内容とする。
- ④ 各業務を実施する際は、建物維持管理関係法令を遵守して行う。

4) 安全衛生管理

- ① 安全衛生に関する管理は、業務責任者が責任者となり、関係法令に遵守して行う。

5) 危険防止の措置

- ① 業務の実施にあたっては、常に整理整頓を行い、危険な場所には必要な安全措置を講じ事故の防止に努める。
- ② 日常業務の中で危険な場所または危険的作業が発生する場合は、委託者に改善の具申をする。

1. 3 業務報告

1) 巡回点検報告書

- ① 毎月作成して翌月最初に委託者に報告する。

- ② 内容は、巡回点検の内容を整理したもの、月間作業実施結果報告などとする。
- ③ また、当月の月間作業計画も報告する。
- 2) 年度報告書
 - ① 年度末に作成して委託者に報告する。
 - ② 内容は、巡回点検報告書及び定期点検記録（年間作業実施記録）を整理したものとする。
 - ③ 年間の作業実績を踏まえ、次年度作業計画も作成・報告する。
 - ④ 運転データ及び光熱使用量は月・年の分析を行い省エネ対策を策定する。
 - ⑤ 業務内容を分析し、業務の効率化・改善の提案を行う。
- 3) その他報告書
 - ① 事故等が発生措置した場合は、原因、処置内容、改善策内容の報告書を提出する。
 - ② 管理機器の不具合を発見し修理等改善が必要な場合は、速やかに報告して、発注者と修理方法等協議する。

1. 4 管理記録書類の作成及び管理保管

- 1) 計画・報告書類 [保存期間 5年]
 - ① 年間・月間作業計画（作業実施）表
 - ② 巡回点検報告書・年間報告書
- 2) 点検記録類 [保存期間 5年]
 - ① 電気設備点検表
 - ② 空気調和設備点検表
 - ③ 給排気設備点検表
 - ④ 給排水衛生設備点検表
- 3) 整備・補修・事故記録類 [保存期間 永年]
 - ① 整備記録
 - ② 補修記録
 - ③ 事故・障害記録
- 4) その他書類整備

上記以外に建物維持管理上必要な書類等または委託者が要望したものは、作成及び管理保管をする。

2. 設備巡回管理業務基準

設備巡回管理業務基準は、次のとおりとする。

2. 1 電気設備

設備名	設備巡回管理業務内容	点検回数	備考
受変電設備	巡視点検（保安規定） <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日点検（外観目視点検、指示値の記録） ・ 月例点検（外観目視点検） 不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 停電時措置 	1 回／日 1 回／月 都度	
非常用発電機設備	巡視点検 <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日点検（外観目視点検） ・ 油量タンク外観目視点検、油量記録 	1 回／日 1 回／日	
蓄電池設備	巡視点検 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外観目視点検 ・ 充電器、蓄電池セル端子電圧測定 	1 回／月 2 回／年	
動力制御盤	巡視点検 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外観目視点検 ・ 盤清掃、端子増し締め 不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 開閉器トリップ措置 	2 回／年 1 回／年 都度	
照明・コンセント設備	巡視点検 <ul style="list-style-type: none"> ・ 照明不点管球交換 ・ 照明器具、コンセント器具不具合点検 不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 不点、器具不良措置 	都度 2 回／年 都度	材料は支給とする。 材料は支給とする。
非常照明・誘導灯設備	巡視点検 <ul style="list-style-type: none"> ・ 誘導灯不点管球交換 不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 不点、器具不良措置 	都度 都度	材料は支給とする。 材料は支給とする。
照明制御設備	不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 遠隔発停不良措置 	都度	
インターホン設備	不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 通話不良時の点検、修理 	都度	材料は支給とする。
中央監視設備	運転監視 <ul style="list-style-type: none"> ・ サマリグラフ画面の監視、操作 ・ 警報発報時の操作、対応措置 ・ 遠隔発停の操作 巡視点検 <ul style="list-style-type: none"> ・ CRT 画面、バックアップ機能目視点検 不具合受付 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 次対応後、専門業者への連絡 	随時 随時 随時 2 回／年 都度	駐車場管理員にて対応 同上 同上
ITV 設備	不具合受付 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 次対応後、専門業者への連絡 	都度	

設備名	設備巡回管理業務内容	点検回数	備考
トイレ非常警報 設備	巡視点検 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外観目視点検 ・ 警報作動試験 不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 作動不良時の点検、修理 	1回／年 1回／年 都度	警報発報時の措置は警備業務とする。

2. 2 空調設備

設備名	設備巡回管理業務内容	点検回数	備考
空冷ヒートポンプ パッケージ	不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 温調調整、風量調整 ・ 結露対応 	都度	
全熱交換器	巡視点検 <ul style="list-style-type: none"> ・ フィルター清掃 ・ 外観目視点検、風量切替確認 不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 風量調整 	1回／年 都度	
換気設備 (給気・排気ファン)	巡視点検 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外観目視点検 不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 風量調整、ダンパー調整 	1回／日 1回／年	
自動制御設備	巡視点検 <ul style="list-style-type: none"> ・ CO 測定値の記録 不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門業者への連絡 	1回／日 都度	

2. 3 給排水設備

設備名	設備巡回管理業務内容	点検回数	備考
上水給水設備	不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 警報発報時の対応措置 	都度	
再生水給水設備	不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 警報発報時の対応措置 	都度	

2. 4 防災設備

設備名	設備巡回管理業務内容	点検回数	備考
自動火災報知設備	運転監視・・・常駐管理員主体 ・火災警報発報時の現地確認、措置 不具合対応 ・不良感知器交換	都度 都度	材料は支給とする。
防火・排煙設備	運転監視・・・警備主体 ・火災警報発報時の現地確認、措置 不具合対応 ・不良感知器交換 ・自動閉鎖装置の調整	都度 都度 都度	材料は支給とする。
誘導灯	不具合対応 ・不点時の管球交換	都度	
非常コンセント	巡視点検 ・ 外観目視点検、電圧確認	2回／年	
非常放送	不具合対応 ・ 音量調整	都度	
非常通報装置	不具合対応 電源トラブル等の措置	都度	
無線通信補助設備	巡視点検 ・コネクタ箱、アンテナ線の外観目視点検	1回／年	
特殊ガス消火設備	巡視点検 ・ 外観目視点検	1回／日	
固定式泡消火設備	巡視点検 ・外観目視点検、ヘッド水漏れ、アラーム弁圧力確認 不具合対応 ・専門業者への連絡業務	1回／日 都度	
消火器	巡視点検 ・消火器外観目視点検	2回／年	

2. 5 昇降機・自動扉設備

設備名	設備巡回管理業務内容	点検回数	備考
エレベーター	運転監視・・・状況確認 不具合対応 ・閉じ込め対応（一次処置）	1回／日 都度	
自動扉	不具合対応 ・開閉不具合一次措置 ・一次側電源供給措置	都度 都度	
管理用シャッター	不具合対応 ・開閉不具合一次対応 ・一次側電源供給措置	都度 都度	
電動式防水扉	巡視点検 ・作動状況確認 ・ガイドレール清掃	1回／年	警報発令時

2. 6 駐車場管制設備

設備名	設備巡回管理業務内容	点検回数	備考
駐車場管制設備	巡視点検 <ul style="list-style-type: none"> ・機器破損個所の目視点検 ・表示灯不点灯球交換 不具合対応 <ul style="list-style-type: none"> ・管理員からの不具合連絡対応 	1回／月 都度 都度	

**高松駅前広場地下駐車場
高松駅前広場地下自転車駐車場
設備機器表**

高松駅前広場地下駐車場

高松駅前広場地下自転車駐車場 設備機器表

1. 電気設備	104
(1) 受変電設備	
(2) 蓄電池設備	
(3) 自家発電設備	
(4) 中央監視設備	
(5) 弱電設備	
2. 空調設備	111
(1) 空冷ヒートポンプパッケージ	
(2) 全熱交換器	
(3) フィルターユニット	
(4) 送風機	
3. 給排水衛生設備	113
4. 防災設備	114
5. 昇降機設備	116
6. 自動ドア設備	117
7. 管理用シャッター設備	117
8. 搬送コンベア設備	118
9. 電動式防水扉設備	119
10. 駐車場管制設備	120
11. 駐輪場管制設備	124

主要機器等一覧表

1. 電気設備

(1) 受変電設備

設備区分	部位	仕様	数量
受変電設備	引込盤	取引用変成器 (VCT)	1
		3 極単投断路器 (3 PDS)	1
		パルス検出器 (P/P)	1
	受電盤	真空遮断機 (VCB)	1
		避雷器 (LA)	3
		計器用変圧器 (VT)	2
		計器用変流器 (CT)	2
		高圧電力用ヒューズ (PF)	1
		試験用電圧端子 (VTT)	1
		試験用電流端子 (CTT)	1
		継電器 不足電圧継電器 (UVR)	1
		過電流継電器 (OCR)	1
		自動力率調整器 (APFC)	1
		複合変換器	1
		ヒューズ (F)	3
	き電盤	真空遮断機 (VCB)	2
		計器用変流器 (CT)	4
		試験用電流端子 (CTT)	2
		継電器 過電流継電器 (OCR)	2
	母線連絡盤・き電盤	真空遮断機 (VCB)	1
		計器用変流器 (CT)	2
		試験用電流端子 (CTT)	1
		継電器 過電流継電器 (OCR)	1
	発電機連絡盤・き電盤	真空遮断機 (VCB)	1
		計器用変流器 (CT)	2
		試験用電流端子 (CTT)	1
		継電器 過電流継電器 (OCR)	1
	コンデンサ盤・No. 1 ～ No. 4	高圧電力用ヒューズ (PF)	12
		高圧真空接触器 (VCS)	4
		直列リアクトル (SR)	4
		進相コンデンサ (SC)	4
	電灯盤・No. 1 ～ No. 2	高圧負荷開閉器 (LBS)	2
		単相変圧器 (1 φ TR)	2
		零相変流器 (ZCT)	2
		漏電警報器 (LGR)	2
		ヒューズ (F)	4
		計器用変流器 (CT)	4
		電力量計 (Wh)	5
		配線用遮断機 (MCCB)	13

設備区分	部位	仕様	数量
	動力盤・No. 1～No. 2	高圧負荷開閉器 (LBS)	2
		3 相変圧器 (3 φ TR)	2
		零相変流器 (ZCT)	2
		漏電警報器 (LGR)	2
		ヒューズ (F)	4
		計器用変流器 (CT)	4
		電力量計 (Wh)	4
		配線用遮断機 (MCCB)	23
	非常動力盤	高圧負荷開閉器 (LBS)	1
		3 相変圧器 (3 φ TR)	1
		零相変流器 (ZCT)	1
		漏電警報器 (LGR)	1
		ヒューズ (F)	2
		計器用変流器 (CT)	2
		電力量計 (Wh)	1
		配線用遮断機 (MCCB)	23
		電磁接触器 (MC)	1
	保安電灯盤	高圧負荷開閉器 (LBS)	1
		スコット変圧器 (3/2 φ TR)	1
		零相変流器 (ZCT)	2
		漏電警報器 (LGR)	2
		ヒューズ (F)	4
		計器用変流器 (CT)	4
		電力量計 (Wh)	2
		配線用遮断機 (MCCB)	16

(2) 蓄電池設備

設備区分	部位	仕様	数量
蓄電池設備	サイリスタ整流器	形 式 : GTSC100D-30	1
		整流方式 : 三相全波整流	
		相 数 : 三相 3 線	
	蓄電池	種 類 : 陰極吸収式シール形据置鉛蓄電池	
		形 式 : MSE-150-54	
		公称電圧 : 108V	
		セ ル 数 : 54 セル	

(3) 自家発電設備

設備区分	部位	仕様	数量
自家発電設備	発電機盤	真空遮断機 (VCB)	1
		計器用変圧器 (VT)	2
		計器用変流器 (CT)	2
		電力ヒューズ (PF)	2
		ヒューズ (F)	2
		過電圧継電器 (OVR)	1
		過電流継電器 (OCR)	1
		時間計	1
	原動機 (ガスタービン)	形 式 : 単純開放サイクル 1 軸式	1
		出 力 : 364.1ps	
		回 転 数 : 1800rpm	
		始動方法 : セルモーターによる電気始動	
		燃 料 : 灯油	
	発電機	形 式 : 開放保護型自己空冷式三相同期発電機	1
		容 量 : 300KVA	
		電 圧 : 6600V	
		周 波 数 : 60Hz	
		相 数 : 3 相 3 線	
		極 数 : 4 極	
	直流電源	形 式 : 鋼板製屋内自立型	1
		バッテリー : HS-E24V300Ah (始動用)	
		HS-E24V 30Ah (制御用)	
		発電方式 : 完全自動充電	

(4) 中央監視設備

設備区分	部位	仕様	数量
中央監視装置	中央監視盤	形式	savic-net G5
		SVC 統合コントローラー	
		PDU (電源ユニット)	
		NIF (NC-bus インターフェイス)	
		無停電装置	1
	自動制御盤	ベースユニット :	A1S35B
		電源ユニット :	A1S63P AC100V
		ネットワークユニット :	A1SJ72QLP25
		直流電源装置 :	BU24120
	駐車場ファン制御	CO 濃度発信機 :	CY7200A
		デジタル指示調節器 :	R31
		DC24V 電源 :	RY7910D
		モニタスイッチ :	RY7910M

	ファンサーモ発停制御	ファースタット	T631C	2
--	------------	---------	-------	---

(5) 弱電設備

設備区分	機器名称	仕様	数量
電話設備	電話機	多機能電話（43 ボタン ディスプレイ）	6
	電話主装置	内線 8 回線 外線 4 回線	2
インターホン設備	インターホン親機（20 局用）	電源電圧：AC100V、形状：卓上、壁取付	1
	壁掛型子機	形状：壁掛型	30
	屋内インターホン収納箱	材質：鋼板製	16
トイレ緊急呼出表示設備	トイレ緊急呼出表示装置	電源電圧：AC100V、形状：壁掛型、窓数：15、通話方式：拡声型交互通話、呼出表示：呼出音と表示窓点灯	1
	トイレ呼出ボタン	形状：埋込形、呼出確認表示灯、防滴型	18
	復旧ボタン	形状：埋込形	11
	廊下灯	形状：埋込形、表示灯：赤色	11
	天井埋込形子機	形状：天井埋込形	7
	壁埋込形子機	形状：壁埋込形	4
電気時計設備	壁掛形親時計（QT-310R）	入力電源：AC100V 50/60Hz	1
		水晶発振周波数：4.13943014MHz	
		誤差：週差 0.7 秒以内（常温）	
		子機時計用出力信号：DC24V 30 秒有極信号（パルス幅 0.5 秒）	
		最大駆動子機数：30 台（1 台 12mA）	
		電波修正機能	
		受信周波数：周波数帯域 76MHz～90MHz NHK-FM 放送局	
		受信感度：48dB μ /m	
		修正回数：1 日 2 回 7 時・19 時 修正時間 \pm 15 秒未満	
	壁掛形子時計（SC-300C）	機械：30 秒運針 DC24V 12mA	8
放送設備	非常・業務用ラック型放送装置	常用電源：AC100V 50/60Hz	1
		非常電源：DC24V（ニカド蓄電池）	
		定格出力：1620W	
		入力回路：入力 3 回路	
		出力制御：非常、業務共 10 局＋一斉	
		警報音：音声警報音（感知器発報、火災確認、非火災放送）	
		その他：プログラムタイマ機能、デジタルアナウンス機能、ステレオダブルセットデッキ、コンパクトディスプレイ搭載	
	天井埋込型スピーカ	定格入力：3W	20
		出力音圧レベル：92 dB	
		周波数特性：100Hz～12kHz	
	木製壁掛型スピーカ	定格入力：3W	41
		出力音圧レベル：92 dB	
		周波数特性：150Hz～13kHz	

設備区分	機器名称	仕様	数量
	ワイドホーンスピーカ	定格入力： 6W	156
		出力音圧レベル： 96 d B	
		周波数特性： 130Hz～13kHz	
	天井埋込型スピーカ (ATT 付)	定格入力： 3W	11
		出力音圧レベル： 92 d B	
		周波数特性： 100Hz～12kHz	
		音量調節器： 4 段切替	
	木製壁掛型スピーカ (ATT 付)	定格入力： 3W	11
		出力音圧レベル： 92 d B	
		周波数特性： 150Hz～13kHz	
		音量調節器： 4 段切替	
	音量調節器	入力容量： 0.5～6W	3
		音量切替： 5 段切替	
I T V 設備	ITV 架	入力電源： AC100V 50/60Hz	1
		17 型 LC0 モニター (8 台)	
		型式： C-LC173 (4 台) DT-E17L4G (4 台)	
		LCD： 17 型、解像度：水平 600TV 本	
		入力： 映像×1、音声×1	
		出力： 映像×1、音声×1	
I T V 設備	ITV 架	パワーディストリビュータ (6 台)	1
		型式： PD-1130	
		連動：A 系統×6、B 系統×6 非連動	
		AC コンセント： ×2	
		デジタルレコーダ (6 台) / ネットワークレコーダー (2 台)	
		型式： DX-TL620ZR-X16L / NR×5280	
		マルチスイッチャ (6 台)	
		型式： C-MS160S	
		映像入力： カメラ×16、VTR×2	
		映像出力： カメラ×16、モニタ×2、VTR×2	
		カメラドライブユニット (5 台)	
		型式： C-P40L	
		カメラ入力： 4 系統	
		映像出力： 8 系統	
	ITV カメラ (屋内用)	映像素子： 1/3 型 CCD 38 万画素	64
		解像度 水平：480TV 本 垂直 350TV 本	
		レンズ： 自動絞り、バリアフォーカスは手動	
		機能： フリッカレス機能、逆光補正、輪郭強調	
	ITV カメラ (屋外用) 操作パソ コン (MR-SWG100) モニ ター23 型 1 台	映像素子： 1/3 型 CCD 38 万画素	3
		解像度 水平：480TV 本 垂直 350TV 本	
		レンズ： 10 倍バリアフォーカレンズ、自動絞り	
	ドーム型カラーカメラ	機能： ワイトゲイット機能、集音マイク付	5
		映像素子： 1/4 型 CCD 38 万画素	
		解像度 水平：480TV 本 垂直 350TV 本	
		レンズ： 2 倍バリアフォーカレンズ、自動絞り	

設備区分	機器名称	仕様		数量
		機能：	ワイドバンドミック機能、集音マイク付、32 倍電子感度アップ 機能	
ラジオ再放送設備	受信空中線	受信周波数帯域：	525～1629kHz	1
		インピーダンス	1000～10000 Ω	
		指向特性：	無指向性	
	前置増幅器	受信周波数帯域：	525～1629kHz	1
		インピーダンス	75 Ω	
		利得：	10dB～40dB	
		電源：	給電線重量	
	入力フィルタ部	使用周波数帯域：	525～1629kHz からの指定 3 波	1
		入力レベル：	40dB～80dB	
		入力インピーダンス	75 Ω	
	結合器	使用周波数帯域：	525～1629kHz	1
		入力インピーダンス	50 Ω	
	コモンモードフィルタ	使用周波数帯域：	525～1629kHz	1
		入力インピーダンス	75 Ω	
	3W 増幅部	使用周波数帯域：	525～1629kHz からの指定 1 波	3
		標準出力レベル	142dB μ (3W)	
		入出力インピーダンス：	50 Ω	
		電源：	AC100V	
	出力混合部	使用周波数：	指定の 3 波 混合	1
		挿入損失：	3dB 以下	
		通過電力：	1 波について 3W 以下	
		入出力インピーダンス：	50 Ω	
	終端抵抗器	使用周波数帯域：	525～1629kHz	1
		入力インピーダンス	50～500 Ω	
		使用電力：	20W 以下	
	入力 3 分配部	使用周波数帯域：	525～1629kHz	1
		入出力インピーダンス：	75 Ω	
		分配損失：	5dB 以下	
	電源部	主 NFB：	AC100V 50/60Hz 10A	1
		服 NFB：	AC100V 50/60Hz 5A(雑用)	
	監視部	監視波数：	3 波	1
		機能：	音声モニタ、音声出力モニタ監視、故障表示	
無線通信補助設備	無線機接続端子	構造：	ダミーロード×2、L 型アダプタ、コネクタ、同軸ケーブル（中央監視室、駐車場入口）	4
			ダミーロード、L 型アダプタ、コネクタ、同軸ケーブル（交番）	1
	2 分配器	周波数：	130～480MHz 間	6
		挿入損失：	4. 0dB 以下	
		アイソレーション：	20dB 以上	

設備区分	機器名称	仕様	数量
		分配比： 1 : 1	
		インピーダンス： 50Ω	
	3 分配器	周波数： 130～480MHz 間	2
		挿入損失： 6.5dB 以下	
		アイソレーション： 20dB 以上	
		分配比： 1 : 1 : 1	
		インピーダンス： 50Ω	
トイレ非常警報 設備	表示機 CAN-15LC	15窓用 全窓通話機能付き	1
	子機 NA-NL26	スピーカ子機、(壁埋込)	4
	子機 LS-1N	スピーカ子機、(天井埋込)	7
	表示灯、ボタンなど	廊下灯、復旧ボタン・呼出ボタン	各 11

2. 空調設備

(1) 空冷ヒートポンプパッケージ

名 称	仕 様	設置場所	台数	電気容量			備考
				Φ	V	KW	
パッケージエアコン PC-1	天井マルチカセット型 冷房能力 22.4KW 暖房能力 25.0KW	中央管理室	1		3 200 9.92		2 台マルチ
パッケージエアコン PC-2	天井 1 方向カセット型 冷房能力 11.2KW 暖房能力 12.5KW インバータ室外機、標準フィルター共	中央管理諸室	1		3 200 5.53		4 台マルチ
パッケージエアコン PC-3	天井マルチカセット型 冷房能力 8.0KW 暖房能力 9.0KW 標準フィルター共	管理室-1	1		3 200 3.36		
パッケージエアコン PC-4	天井マルチカセット型 冷房能力 4.5KW 暖房能力 5.0KW 標準フィルター共	管理室-2	1		3 200 1.81		
パッケージエアコン PC-5	壁掛け型 冷房能力 2.2KW 暖房能力 3.2KW 標準フィルター共	管理ブース	1		1 100 1.07		

(2) 全熱交換器

機器番号	機器名称	仕様		数量
		型式	風量 (m³/h)	
HEX-1	中央管理室	天井インペイ型	500	1
HEX-2	管理室-1	天吊カセット型	90	3

(3) フィルターユニット (自動巻取型・耐湿型)

記号	名 称	仕 様	設置場所	容量 Kw 3φ 200V	台数
AF-1	ロールフィルター	風量 206450CMH 静圧 12MMAQ	B1 給気機械室-1	0.22	1
AF-2	ロールフィルター	風量 74900CMH 静圧 12MMAQ	B1 給気機械室-2	0.12	1
AF-3	ロールフィルター	風量 45000CMH 静圧 12MMAQ	B1 給気機械室-3	0.12	1
AF-4	ロールフィルター	風量 181350CMH 静圧 12MMAQ	B2 給気機械室-1	0.22	1
AF-5	ロールフィルター	風量 133300CMH 静圧 12MMAQ	B2 給気機械室-1	0.22	1

(4) 送風機

記号	名 称	仕 様	設置場所	電気容量	台数
SF-1	給気ファン	5 1/2 68000CMH 30MMAQ	B1 給気機械室	22	1
SF-2	給気ファン	4 1/2 37400CMH 30MMAQ	B1 給気機械室-2	11	2

SF-3	給気ファン	3 1/2 22500CMH 35MMAQ	B1 給気機械室-3	7.50	2
SF-4	給気ファン	5 60000CMH 30MMAQ	B2 給気機械室-1	22	3
SF-5	給気ファン	5 60000CMH 30MMAQ	B2 給気機械室-2	22	2
SF-6	給気ファン	3 13300CMH 33MMAQ	B2 給気機械室-2	3.7	1
SF-7	給気ファン	2 1/2 10800CMH 27MMAQ	B2 給気機械室-2	3.70	1
SF-8	給気ファン	3 1800CMH 34MMAQ	B2 給気機械室-2	0.4	1
SF-9	給気ファン	4 5300CMH 26MMAQ	B2 給気機械室-2	1.5	1
SF-13	給気ファン	650CMH 12MMAQ	B1 給気機械室-1	0.41	1
EF-1	排気ファン	4 1/2 40800CMH 18MMAQ	B2 排気機械室-1	11	2
EF-2	排気ファン	5 1/2 61200CMH 18MMAQ	B1 排気機械室-2	15	2
EF-3	排気ファン	3 1/2 22500CMH 22MMAQ	B1 排気機械室-3	5.5	2
EF-4	排気ファン	4 1/2 37400CMH 22MMAQ	B1 排気機械室-4	11	2
EF-5	排気ファン	5 1/2 60000CMH 22MMAQ	排気機械室-1.2 B2	15	5
EF-6	排気ファン	4 13300CMH 22MMAQ	B2 電気室	3.7	1
EF-8	排気ファン	3 1800CMH 15MMAQ	B2 受水槽室	0.40	1
EF-9	排気ファン	4 5300CMH 25MMAQ	ELB 機械室-2	1.5	1
EF-11	排気ファン	3 1350CMH 20MMAQ	B2 車路	0.4	1
EF-12	排気ファン	3 1300CMH 22MMAQ	B1 車路	0.4	1
EF-14	排気ファン	200 300CMH 12MMAQ	中央管理室湯沸室	100 v *64W	1
EF-16	排気ファン	250 770CMH 5MMAQ	各倉庫	0.044	13
EF-17	排気ファン	5 36300CMH 18MMAQ	B1 排気機械室-4	7.5	2
EF-18	排気ファン	2 1/2 850CMH 15MMAQ	B1 車路	100 v * 400W	1

3. 給排水衛生設備

記号	名 称	仕 様	設置場所	電気容量	台数
WP-1	加圧給水ポンプ	ユニット型（制御盤付）吐出圧力一定（減圧弁方式） SUS 製多段渦巻ポンプ 40Φ×180L/m×18m（自動交互運転）	B2 受水槽室	1.50	1
WP-2	加圧給水ポンプ	ユニット型（制御盤付）吐出圧力一定（減圧弁方式） SUS 製多段渦巻ポンプ 50Φ×340L/m×26m（自動交互運転）	B2 受水槽室	3.70	1
EH-1	貯湯電気温水器	SUS 製・実容量 20L・水頭圧 10m 外形 417×354×405H 先止め式	B1 管理室	1.1	1
SP-1	排水ポンプ	汚水用 水中型 80Φ×150L/m×17m 着脱装置付 ケーブル 10m	汚水ピット	3.70	4
SP-2	排水ポンプ	湧水用 水中型 50Φ×160L/m×19m ケーブル 10m	雑排水ピット	2.20	10
SP-3	排水ポンプ	湧水用 水中型 50Φ×90L/m×10m ケーブル 10m	雑排水ピット 駐輪場	0.75	4
WT1	受水槽 （上水用）	FRP・単板・パネル 3000×1000×1000H	B2 受水槽室		1
WT2	受水槽 （再生水用）	FRP・単板・パネル 3000×1000×1000H	B2 受水槽室		1
	汚水槽（A）	コンクリート打放し地下ピット 容量：≒6.6 m ³	B2F		1
	汚水槽（B）	コンクリート打放し地下ピット 容量：≒5.3 m ³	B2F		1

4. 防災設備

設備区分	機器名称	仕様	数量
自動火災報知設備	受信盤	形式：複合 GR 型 自立型 蓄積式	1
		電源：AC・GC100V DC24V 予備電池×3	
		回線数：510 アドレス以上	
		表示方式：デジタル表示部 火災 8 桁×2	
		ガス漏れ 8 桁×2	
		液晶表示部 6 インチ	
		警報：スピーカー及びブザー	
		操作方式：液晶表示板ファンクションタッチ方式	
	非常放送盤	形式：自立型	1
		電源：AC・GC100V	
		出力：ブロック火災信号、火災確認信号	
	総合操作盤	形式：自立型	1
		電源：AC・GC100V UPS (1kva)	
		組込機器：CRT 制御機器	
		CRT 操作パネル	
		防災動力遠隔起動スイッチ	
		排煙機 起動×1	
		空調機 停止×1	
		泡消火ポンプ 起動×1	
		泡消火ポンプ 予備×3	
		CRT モニター：22 インチカラー CRT	
	中継器盤	形式：自立型及び壁掛型	6
		収容機器：自火報・防排煙・消火用中継器	
	一般感知器	差動式スポット型 2 種	344
		定温式スポット型 1 種	7
		光電式スポット型 2 種	45
	煙感知器	光電アナログ式スポット型 2 種	17
		光電アナログ式スポット型 2 種 (連動型)	39
	発信機	形式：IP P 型 1 級	29
		表示灯：AC24V LED	
防排煙設備	排煙ファン	形式：高圧型 電源：3φ3W 200V 45kw 風量：66000CMH 静圧：150MMAQ	1
	防火ダンパー		4
	排煙口		63
	排煙口用開閉装置		63
	防火戸		12
	防火シャッター		14
消火設備	消火器	機種：MEA10A モリタ宮田工業	82
		形式番号：消第 3～14 号	
誘導灯	通常型 B 級	形式：KSH2751M	24

設備区分	機器名称	仕様	数量
		照明：CF2204T4EN-M (3W) × 1	
		蓄電池：4.8V 600mAh	
	誘導音、点滅型	形式：KSH2771M	10
		照明：CF2204T4EN-M (3W) × 1	
		蓄電池：4.8V 600mAh	
		3.6V 2500mAh (点滅用)	
		12V 500mAh (誘導音用)	
	点滅型	形式：KSH2751MS	18
		照明：CF2204T4EN-M (3W) × 1	
		蓄電池：4.8V 600mAh	
		3.6V 2500mAh (点滅用)	
	室内通路型	形式：KSH2762M	58
		照明：CF2204T4EN-M (3W) × 1	
		蓄電池：4.8V 600mAh	
特殊ガス消火設備	HFC-23	消化剤：50kg×3本 窒素充填	1
		起動方法：手動及び自動	
		警報：ユニット内臓スピーカ	
		噴射ヘッド：4個	
		非常電源：ニッケルカドミウム 24V 4.0Ah	
		消化剤：50kg×4本 窒素充填	1
		起動方法：手動及び自動	
		警報：トランペット型スピーカ×2	
		噴射ヘッド：10個	
		非常電源：ニッケルカドミウム 24V 4.0Ah	
連結送水管	送水口	形式：双口型、差込式	4
連結散水管	散水口	形式：双口型、差込式	4
補給水槽	連結送水用	形式：FRP 複合板・一体型	1
		容量：680×680×730H 耐震震度 1.0G	
泡消火設備	電動機	電源：3φ3w 200v	1
		形式：三相籠型誘導	
		回転：1760r.p.m	
		軸受部：グリス潤滑	
		軸継手：フランジ式	
	ポンプ	回転：1800r.p.m	1
		軸受部：グリス潤滑	
		性能：0.84mpa 1120L/min	
	泡消化剤貯蔵槽	形式：水成膜	1
		消火薬剤：400ℓ	
	一斉開放弁	(電磁弁含む)	269

5. 昇降機設備

記号	名 称	仕 様	設置場所	台数	電気容量		
					Φ	V	KW
NO-A	エレベーター 油圧式人荷用	1450Kg 22人乗 45m/min	駅前広場	1	3 1	200 100	45.0
		3箇所停止 B2, B1, 1階					
		地震時管制運転 (S波感知器)					
		火災時管制運転					
		停電時自動着床装置付					
		車椅子、視覚障害者仕様					
		監視カメラ					
NO-C	エレベーター乗用 アーバンエース 通り抜け	750Kg 11人乗 60m/min	駅前広場	1	3 1	200 100	4.6
		正面側3箇所停止 B2, B1, 1階					
		背面側1箇所停止 2階					
		地震時管制運転 (S波感知器)					
		火災時管制運転					
		停電時自動着床装置付					
		車椅子、視覚障害者仕様					
		監視カメラ					

6. 自動ドア設備

記号	名 称	仕 様	設置場所	台数	電気容量		
					Φ	V	KW
DSN-60S	片引き自動ドア	75Kg (DW914×DH2134 強化ガラスドア) 以下	身障者トイレ	3	1	100	5.00
		扉幅 650mm～1250mm					

7. 管理用シャッター設備

記号	名 称	仕 様	設置場所	台数	備考
1/STS	管理用シャッター	6885W×2608H	A 棟車路出入り口	1	B1 階
2/STS	〃	4480W×2620H	B 棟 F 階段入口	1	1 階
3/STS	〃	3180W×2610H	A 棟 E 階段入り口	1	1 階
4/STS	〃	1575W×2390H	A 棟 C 階段入り口	1	1 階
1/SS	防火防災シャッター	5000W×2600H	A 棟 C 階段横	1	B1 階
1/SS	防火防災シャッター	5000W×2600H	A 棟シンボル方面通路	1	B1 階
3/SS	防火シャッター	4993W×2300H	中央監視室前左右	2	B1 階
8/SS	防火シャッター	3277W×2600H	D 階段横通路	1	B1 階

8. 搬送コンベア設備

記号	名 称	仕 様	設置場所	台数	備考
1 号機	搬送コンベア	路面幅 130mm	F 階段	1	速度 30～40m/min 3Φ200V 2.2kw
		水平機長 10400mm			
		昇降工程 2600mm			
		運搬距離 10720mm			
		勾配 14.0362°			
2 号機	搬送コンベア	路面幅 130mm	F 階段	1	速度 30～40m/min 3Φ200V 2.2kw
		水平機長 10000mm			
		昇降工程 2500mm			
		運搬距離 10308mm			
		勾配 14.0362°			
3 号機	搬送コンベア	路面幅 130mm	G 階段	1	速度 30～40m/min 3Φ200V 2.2kw
		水平機長 8400mm			
		昇降工程 2100mm			
		運搬距離 8659mm			
		勾配 14.0362°			
4 号機	搬送コンベア	路面幅 130mm	G 階段	1	速度 30～40m/min 3Φ200V 2.2kw
		水平機長 8400mm			
		昇降工程 2100mm			
		運搬距離 8659mm			
		勾配 14.0362°			
5 号機	搬送コンベア	路面幅 130mm	G 階段	1	速度 30～40m/min 3Φ200V 2.2kw
		水平機長 8000mm			
		昇降工程 2000mm			
		運搬距離 8246mm			
		勾配 14.0362°			
6 号機	搬送コンベア	路面幅 130mm	E 階段	1	速度 30～40m/min 3Φ200V 2.2kw
		水平機長 10800mm			
		昇降工程 2700mm			
		運搬距離 11132mm			
		勾配 14.0362°			
7 号機	搬送コンベア	路面幅 130mm	E 階段	1	速度 30～40m/min 3Φ200V 2.2kw
		水平機長 10400mm			
		昇降工程 2600mm			
		運搬距離 10720mm			
		勾配 14.0362°			

9. 電動式防水扉設備

名称	仕様	設置場所	台数	備考
電動式防水扉	7115×1068×210mm	駐車場出口地上部	1	3Φ 200V 0.40kw
	防水高さ 700mm			
	SUS304 13.5 チェッカーPL			
	耐重量 4ton 迄			

10. 駐車場管制設備

設備区分	機器名称	仕様	数量
中央監視設備	管理計算機	型番：FA2100Tmodel700	1
		CPU：32ビットCPU（PentiumIII 650MHz）	
		主記憶：64MB	
		補助記憶装置：HDD10GB、FDD1.4MB(3.5インチ)	
	カラーLCD	型番：PC-DC1574	1
		表示仕様：17インチカラーディスプレイ	
		電源：AC100V 50/60Hz	
		消費電力：90W	
	無停電電源装置 (UPS)	電源方式：ラインインタラクティブ方式	1
		電源入力：AC100V 50/60Hz	
		出力容量：700VA/450W	
		停電保障時間：5分（定格負荷時）	
	情報通信機器	型番：CIU-200	1
		電源：AC100V 50/60Hz	
		インターフェース：RS232C/ハーフリンクバス	
	ページプリンタ	プリント方式：10PPM+オンデマンドエンション	1
		画質：リアル1200bdi	
		給紙：ユニバーサルセット（約250枚）	
料金管理設備	自動料金精算機	型名：AP-695	
		形状：屋外自立据置型	
		電源：AC100V 50/60Hz	
	事前料金精算機	型名：API-695	5
		形状：屋外自立据置型	
		電源：AC100V 50/60Hz	
	カーゲート	型名：GT-650	5
		形状：屋外自立据置型（防雨構造）	
		電源：AC100V 50/60Hz	
	ループコイル	材質：難燃軟質架橋ポリエチレン電線	8
	サービス券発行機	本体	1
		型名：FC-600	
		形状：据置	
		表示部仕様：液晶（青色）コントラスト調整機能有り	
		電源：AC100V 50/60Hz	
		リーダー	
		型名：RD-600	
		形状：据置	
	車両感知器	電源：DC24V、DC5V	
		型名：MTS-120	
		電源：DC19.2V～26.4V	

設備区分	機器名称	仕様	数量
車路管制設備 (制御器系)	駐車場制御盤	形状：屋内自立型、列盤	1
		電源：AC100V 50/60Hz	
		機能：グラフィックパネルによる在庫状況表示	
		LED表示による各種モニター	
		駐車券発行機、自動料金精算機とのインターホンによる交話機能	
		カーゲートの遠隔制御機能	
	リモート制御盤	型名：BC-300	1
		形状：屋内壁付型	
		電源：AC100V 50/60Hz	
		機能：超音波感知器制御機能	
		ブロック満車制御機能 信号出入力機能	
車路管制設備 (センサー系)	車両検知器	型名：MVD-200	10
		形状：屋内壁付型	
		電源：AC100V 50/60Hz	
	ループコイル	材質：難燃軟質架橋ポリエチレン電線	29
	車室センサー	型名：MTS-510	396
		形状：屋内天井取付型	
		電源：DC24V	
		発信周波数 Aタイプ（シール 白）：35kHz Bタイプ（シール 黄）：40kHz	
		感知対象：軽自動車以上	
車路管制設備 (誘導案内表系)	入口満空表示板	形状：屋外自立型	1
		電源：AC100V 50/60Hz	
		ランプ：FL15W×1	
	出庫警報灯	形状：屋外自立型	2
		電源：AC100V 50/60Hz	
		ランプ：IL75W×4	
	フロア満空表示板 B	形状：天井吊下型（片面表示）	1
		電源：AC100V 50/60Hz	
		LED表示：160mm×2 2色表示	
		ランプ：FL20W×2	
	フロア満空表示板 C	形状：天井吊下型（片面表示）	1
		電源：AC100V 50/60Hz	
		LED表示：160mm×2 2色表示	
		ランプ：FL20W×2	
	ホテル案内板	形状：天井吊下型（片面表示）	1
		電源：AC100V 50/60Hz	
		LED表示：160mm×2 2色表示	
		ランプ：FL40W×1 FL15W×1	
	車室満空灯	形状：屋内壁付型	138
		電源：DC24V	

設備区分	機器名称	仕様	数量
車路管制設備 (誘導案内表系) <続き>		光源： 高輝度 LED (緑色点灯)	
		点灯寿命： 約 50,000 時間 (約 5 年)	
	ゾーン満空表示板 A	形状： 天井吊下型 (片面表示)	11
		電源： AC100V 50/60Hz	
		LED 表示： 160mm×1 2 色表示	
		ランプ： FL20W×1	
	ゾーン満空表示板 B	形状： 天井吊下型 (片面表示)	
		電源： AC100V 50/60Hz	
		LED 表示： 160mm×1 2 色表示	
		ランプ： FL30W×2	
	ゾーン満空表示板 C	形状： 天井吊下型 (片面表示)	
		電源： AC100V 50/60Hz	
		LED 表示： 160mm×1 2 色表示	
		ランプ： FL30W×1	
		FL15W×2	
	ゾーン満空表示板 D	形状： 天井吊下型 (片面表示)	
		電源： AC100V 50/60Hz	
		LED 表示： 160mm×1 2 色表示	
		ランプ： FL10W×1	
		FL15W×1	
	出庫警報灯	形状： 天井吊下型 (片面表示)	10
		電源： AC100V 50/60Hz	
		ランプ： FL45W×1	
	合流注意灯 A	形状： 天井吊下型 (両面表示)	3
		電源： AC100V 50/60Hz	
		LED 表示： 160mm×4	
		ランプ： FL20W×1	
		ブザー： 電子ブザー×1	
		その他： φ 100 黄色回転灯×1	
	合流注意灯 B	形状： 天井吊下型 (片面表示)	
		電源： AC100V 50/60Hz	
		LED 表示： 160mm×4	
		ランプ： FL20W×1	
		ブザー： 電子ブザー×1	
		その他： φ 100 黄色回転灯×1	
	合流注意灯 C	形状： 天井吊下型 (片面表示)	2
		電源： AC100V 50/60Hz	
		LED 表示： 160mm×4	
		ランプ： FL20W×1	
		FL15W×1	
		ブザー： 電子ブザー×1	
		その他： φ 100 黄色回転灯×1	
	合流注意灯 D	形状： 天井吊下型 (片面表示)	

設備区分	機器名称	仕様	数量
		電源：AC100V 50/60Hz	
		LED 表示：160mm×4	
		ランプ：FL20W×1	
		FL10W×1	
		ブザー：電子ブザー×1	
		その他：φ 100 黄色回転灯×1	
	料金所案内板	形状：天井吊下型（両面表示）	3
		電源：AC100V 50/60Hz	
		ランプ：FL40W×1	

1 1. 駐輪場管制設備

設備区分	機器名称	仕様		数量
駐輪管制	管理パソコンシステム	1. パソコン CPU		1
		2. レーザープリンタ		
		3. タッチパネル CRT		
		4. 無停電保障装置 (AC100V 60Hz)		
		5. 定期カード用初期登録ユニット		
		6. マウス		
		7. 定期シール発行機		
		8. RS232C 増設ユニット		
		9. 光磁気ディスク		
		10. OA タップ		
		11. FA ラック		
	管理モニタ	表示用 CRT		3
	定期更新機	電源：	AC100V 60Hz 単相 500VA	1
		使用硬貨及び収納枚数：	10 円 約 82 枚	
			50 円 約 72 枚	
			100 円 約 76 枚	
			500 円 約 55 枚	
		使用紙幣及び収納枚数：	一万円 約 200 枚	
			二千元、五千元 約 100 枚	
			千円 約 600 枚	
		定期シール：	縦 55mm×横 35mm 3200 枚/巻	
			リボン 300m/巻	
	ゲート制御盤	電源：	AC100V 60Hz 単相 (制御用)	6
			AC200V 60Hz 3 相 (動力用)	
		使用硬貨及び収納枚数：	10 円 約 82 枚	
			50 円 約 72 枚	
			100 円 約 76 枚	
500 円 約 55 枚				
使用紙幣及び収納枚数：		千円 約 300 枚		
機能：		中間センサによる挟まれ防止装置内臓。中央監視装置の管理システムとの通信		

**高松駅南交通広場駐車場
定期点検業務仕様書**

高松駅南交通広場駐車場

定期点検業務仕様書

施設	点検項目	点検回数
駐車場	駐車場管理用フラップ	3回／年
	自動精算機	3回／年

高松駅南交通広場駐車場

主要設備一覧表

1. 高松駅南交通広場駐車場

所在地	構 造 等	数 量		備 考
高松市浜ノ町 1 番 3 1 号	アスファルト舗装	925	70 m ²	
	平板ブロック舗装	52	55 m ²	
	側溝（U字溝）	22	38 m ²	
	照明灯（単独柱）		2基	
	防犯カメラ		2基	
	料金精算機		1式	
	駐車車両管理用フラップ		36基	
	標識・看板類		7基	

**高松シンボルタワー県施設
清掃業務仕様書**

清掃業務仕様書

1. 建物概要等	130
2. 管理体制等	132
3. 管理業務の内容等	133
4. 負担区分	135
5. 日常清掃基準	136
6. 定期清掃・ガラス清掃 その他清掃基準	137

1. 建物概要等

1. 1 建物概要

建物名称	高松シンボルタワー
建物住所	香川県高松市サンポート2-1
竣 工	平成16年3月1日
建築面積	10,603.49㎡
延床面積	102,929.50㎡
階 数	タワー棟 地下2階、地上30階、塔屋1階 ホール棟 地下2階、地上7階、塔屋1階
駐 車 場	506台（公共221台、民間251台、共用15台、搬入用19台）
駐 輪 場	1,079台

1. 2 用途概要と管理範囲

区分所有者	用途	階数	面積	管理範囲
① 香川県	展示場	1F～2F	822.39㎡	○
	国際会議場、情報通信交流館、 パスポートセンター他	2F～8F	9,017.19㎡	○
② 高松市	サンポートホール高松他	B2F～8F	21,646.04㎡	
③ シンボルタワー開発	賃貸オフィス、商業施設他	1F～30F	27,770.42㎡	
	民間駐車場	B2F～1F	6,145.83㎡	
④ 県市共有	公共駐車場	B2F～B1F	8,904.57㎡	
⑤ 全体共用			25,797.49㎡	

1. 3 施設別開館時間

別紙のとおりとする。

(別紙) 施設別開館時間(令和 7 年 6 月現在)

位置		施設名	開館時間	閉館日
ホール棟	1 階 2 階	展示場	9 : 00～22 : 00	年末・年始 (12/29～1/3)
タワー棟	2 階	パスポートセンター	9 : 00～18 : 00 (水曜を除く月曜から金曜) 9 : 00～19 : 00 (水曜) 9 : 00～17 : 00 (日曜)	毎土曜、祝日・休日 (日曜日と祝日・休日が重なった場合は、年末年始を除き開館) 年末・年始 (12/29～1/3)
	3 階	観光情報センター	9 : 00～18 : 00	年末・年始 (12/29～1/3)
	4 階 5 階	情報通信交流館	10 : 00～20 : 00	毎月曜 (月曜日が祝日・休日の場合は、翌日に最も近い祝日、休日でない日) 年末・年始 (12/29～1/3)
	6 階	県管理事務室	8 : 30～18 : 00	年末・年始 (12/29～1/3)
	6 階 7 階	かがわ国際会議場	9 : 00～22 : 00	年末・年始 (12/29～1/3)
	7 階	産業振興センター	8 : 30～17 : 45	年末・年始 (12/29～1/3)

2. 管理体制等

2. 1 管理体制

- ① 清掃指定場所を美観保持できる管理体制を整える。
- ② 常駐清掃員の勤務構成は、委託者側の承認を得たものとする。
- ③ 管理体制には、クレームに対応できる体制を構築する。
- ④ 常駐清掃員は、下記資質者で構成する。

2. 2 常駐清掃員の資質

常駐清掃員の資質は、下記のとおりとする。

	資質区分
清掃責任者	「ビルクリーニング技師」と同等レベルの技術者
副責任者	「清掃作業監督者」と同等レベルの技術者
日勤清掃員	健康でかつ清掃業務に適合する人材
パート清掃員	同上

2. 3 日常清掃時間帯

日常清掃の時間帯は、建物使用利用に支障をきたさないように下記2区分に分けて実施する。

区分	時間帯	場所
1. 普通清掃	8：00～17：00程度まで	
2. 早朝・夜間清掃	早朝～8：00程度、18：00～21：00程度	事務室内等普通清掃で支障ある場所

2. 4 定期清掃時間帯

定期清掃の時間帯は、建物使用利用に支障をきたさないように下記2区分に分けて実施する。

区分	時間帯	場所
1. 休業日	8：00～21：00程度まで	休業日がある所
2. 夜間	18：00～21：00程度まで	年中無休で夜間しかできない所

3. 管理業務の内容等

3. 1 業務内容

1) 日常清掃

① 一般清掃

- ・ 清掃指定場所の床、低所壁面、備品類等を、掃く、拭く、除去の方法で美観の保持に努める。
- ・ 清掃頻度は、営業日 1 回の全面作業とする。
- ・ 作業基準は別紙のとおりとする。

② 点検清掃

- ・ 一般清掃実施後、一定時間後再度見回り巡回して汚れがある部位は再度清掃を行う。
- ・ また衛生消耗品の残量を点検して、補充を行う。
- ・ 特に催事日は、適時巡回して汚れのある部位は清掃を行う。
- ・ 作業基準は別紙のとおりとする。

2) 定期清掃

① 弾性系床（塩ビシート・タイル、ゴムシート・タイル、リノリウム）

- ・ 床材の材質に合わせた洗浄剤、ワックスを使用して表面洗浄、ワックス塗布を定期に行う。
- ・ 床の状態に合わせ剥離洗浄を 2 年に 1 回以上実施する。

② 石材系床（花崗岩、磁器タイル）

- ・ 床材の材質に合わせた洗浄剤を使用して表面洗浄を定期に行う。

③ 繊維系床（タイルカーペット）

- ・ 床材の材質に合わせた洗浄剤を使用して表面洗浄（シャンプー）を定期に行う。
- ・ 作業場所によっては、ウエット式・ドライ式を使い分けクリーニングを行う。

3) ガラス清掃

① 外装ガラス外面

- ・ 常設ゴンドラ、ロープ式、高所作業台などを使用して外装ガラス面を清掃する。
- ・ ガラス清掃は、ガラス清掃専用器具を用いサッシュ等傷つけないよう行う。
- ・ 作業時は、安全管理員を立哨させるなど、安全管理を徹底させる。

② 外装ガラス内面

- ・ 高所作業台、脚立などを使用して外装ガラス内面を清掃する。
- ・ ガラス清掃は、ガラス清掃専用器具を用いサッシュ等傷つけないよう行う。

③ 内装ガラス外面（共用側）

- ・ 脚立などを使用して内装ガラス外面を清掃する。
- ・ ガラス清掃は、ガラス清掃専用器具を用いサッシュ等傷つけないよう行う。

④ 内装ガラス内面（部屋側）

- ・ 脚立などを使用して内装ガラス内面を清掃する。
- ・ ガラス清掃は、ガラス清掃専用器具を用いサッシュ等傷つけないよう行う。

4) その他清掃

① 照明器具清掃

- ・ 蛍光灯、白熱灯、ハロゲン灯などの一般器具の反射板及び管球の清掃をする。
- ・ 清掃には専用洗剤を使用し、拭上げを充分にして洗剤が残らないようにする。
- ・ 照明器具清掃後は点灯試験を実施し、不点がないようにする。

② 制気口清掃

- ・ 空調の吹出口、吸込口を取り外し、専用洗剤で清掃をする。
- ・ 拭上げを充分にして洗剤が残らないようにする。
- ・ 清掃取付後は、空調を運転して開度、角度を担当者に確認させる。

3. 2 業務遂行条件

1) 業務責任者

- ① 管理開始時に業務責任者を定め、委託者に届出、承認を得る。
- ② 業務責任者は、業務を総合的に把握でき業務の調整ができる人材とする。
- ③ 業務責任者の不在時は、代理人を選任し業務に支障をきたさないようにする。

2) 業務従事者

- ① 業務従事者は、業務に必要な教育訓練を受けた人材とする。
- ② 管理開始前に業務従事者名簿を委託者に届出、承認を得る。

3) 業務計画

- ① 管理開始前に管理体制、清掃計画、作業工程など契約業務に基づく業務計画を提出し承認を得る。
- ② 業務計画書は年度計画・月間計画及び業務別作業計画書とする。
- ③ 各業務を実施する際は、建物維持管理関係法令を遵守して行う。

4) 安全衛生管理

- ① 安全衛生に関する管理は、業務責任者が責任者となり、関係法令を遵守して行う。

5) 危険防止の措置

- ① 業務の実施にあたっては、常に整理整頓を行い、危険な場所には必要な安全措置を講じ事故の防止に努める。
- ② 日常業務の中で危険な場所または危険な作業が発生する場合は、委託者に改善の具申をする。

3. 3 業務報告

1) 業務日誌

- ① 毎日作成して翌日に委託者に報告する。
- ② 内容は、衛生消耗品使用量、業務内容、不具合受付・措置などとする。

2) 業務月報

- ① 毎月作成して翌月最初に委託者に報告する。
- ② 内容は、管理日誌の内容を整理したもの、月間作業実施結果報告などとする。
- ③ また、当月の月間作業計画も報告する。

3) 年度報告書

- ① 年度末に作成して委託者に報告する。
- ② 内容は、管理月報及び定期清掃記録（年間作業実施記録）を整理したものとする。
- ③ 年間の作業実績を踏まえ、次年度作業計画も作成・報告する。
- ④ 業務内容を分析し、業務の効率化・改善の提案を行う。

4) その他報告書

- ① 事故等が発生措置した場合は、原因、処置内容、改善策内容の報告書を提出する。
- ② 管理機器の不具合を発見し修理等改善が必要な場合は、速やかに報告して、発注者と修理方法等協議する。

3. 4 業務範囲

清掃業務の業務範囲は、別紙「高松シンボルタワー（県施設）清掃業務数量表」のとおりとする。

4. 負担区分

委託者と受託者の負担区分は、下表のとおりとする。

負 担 項 目	委 託 者	受 託 者
1) 業務に必要な電気、水道等光熱費	○	
2) 管理用電話（館内電話）、館内PHS		
3) 管理諸室 ・ 休憩室、ロッカー室、資機材倉庫		
4) 特殊作業用機材 ・ ゴンドラ、高所作業台（電動リフター、ローリングタワー）		
5) 衛生消耗品 ・ トイレットペーパー、石鹸、ペーパータオル		
6) ゴミ袋類 ・ ゴミ箱用、三角コーナー用、汚物入れ用		
7) 環境備品 ・ 雨用マット・エレベータマット類、傘立てなど		
10) 管理用電話（外線使用）		○
11) 管理諸室備品類 ・ 机、ロッカーなど ・ テレビ、冷蔵庫、電子レンジ、洗濯機など		
12) 清掃用資機材 ・ 掃除機、床洗浄機、箒、ダスター、洗剤、ワックスなど		
13) 業務日誌、ファイル、筆記用具等事務用品		
14) 作業服、名札、作業服洗濯費		

5. 日常清掃基準

区分	部位	項目	作業内容	実施頻度
一般清掃	床 面	弾性床・硬質床の清掃	自在箒、フロアダスターで除塵する。 必要に応じ真空掃除機で吸塵する。 汚れや水滴が付着している部分はモップで拭く。	1回／日
		繊維床の清掃	真空掃除機またはカーペットスーパーで吸塵、除塵する。	
		マット類の清掃	真空掃除機またはカーペットスーパーで吸塵、除塵する。	
	壁 面	間仕切り壁、 ドア類の清掃	ハタキまたは静電気除塵具等で除塵する。(手の届く範囲) 汚れている部分は、水または専用洗剤で拭く。 ドアノブは乾拭きする。 ガラス部分は、水または専用洗剤で拭く。	1回／日
		窓台の清掃	ダストクロス等で除塵する。 汚れている部分は、水または専用洗剤で拭く。	
	備 品 類	什器・備品の清掃	ダストクロス等で除塵する。 汚れている部分は、水または専用洗剤で拭く。	1回／日
		灰皿の清掃	吸い殻を収集し、灰皿を拭く。 水入り灰皿は、水を交換する。	
		ごみ箱の清掃	容器の内容物を収集処理する。 容器の汚れがひどい場合は、水または専用洗剤で拭く。	
	ト イ レ	便器、洗面台の清掃	専用洗剤で洗浄する。 金属部分は乾拭きする。	1回／日
		鏡の清掃	汚れ部分を水または専用洗剤で拭き、全体を乾拭きする。	
		汚物処理	汚物入れの内容物を収集し、容器を洗浄する。	
		衛生消耗品の補充	トイレットペーパー、ペーパータオル、石けん等を補充する。	
	湯 沸 室	流し台の清掃	専用洗剤を用いて洗浄する。 三角コーナーの内容物を収集してゴミ袋を交換する。 壁面の汚れを拭き取る。	1回／日
		厨芥容器の清掃	厨芥を収集し、容器を拭く。	
	屋内階段	床の清掃	部位の床面清掃と同じ。	1回／日
		壁面の清掃	部位の壁面清掃と同じ。	
	昇 降 機	エレベーターの清掃	床、壁面を除塵する。 扉溝を除塵する。 扉、スイッチ類を拭く。	1回／日
		エスカレーターの清掃	ステップ溝のゴミを取り除く。 手摺りベルトを乾拭きする。 アクリルガラスを乾拭きする。	
	ゴミ置場	保管場所の清掃	一次保管場所のゴミを収集して容器を拭く。 リサイクルゴミは分別整理する。 ゴミ搬出処理後室内を整理する。 床の汚れをふき取り清潔にする。	1回／日
		ごみ処理装置の運転	コンパクター等のゴミ処理機械をオペレーションする。 ゴミ容器を洗浄する。	1回／日
	外 溝 ・ 駐 車 場	外溝・駐車場の清掃	建物周り、駐車場を拾い掃きする。 グレーチング、溝、目皿等のゴミ、土砂を取り除く。	1回／日
		散水	植込み等に散水する。	
点検清掃	床 面	弾性床・硬質床の清掃	汚れている部分を除塵する。(拾い掃き、モップ拭き)	1回／日 (催事時は 適時実施 する)
		繊維床の清掃	シミ部分はシミ抜きをする。	
	壁 面	玄関扉の清掃	ガラス、取っ手部分を拭き上げる。	
		灰皿の清掃	吸い殻を収集し、灰皿を拭く。	
	備 品 類	ごみ箱の清掃	容器の内容物を収集処理する。	
		便器、洗面台の清掃	汚れ部分を水または専用洗剤で拭く。	
	ト イ レ	鏡の清掃	汚れ部分を水または専用洗剤で拭き、全体を乾拭きする。	
		衛生消耗品の補充	トイレットペーパー、ペーパータオル、石けん等を補充する。	
	湯 沸 室	流し台の清掃	専用洗剤を用いて洗浄する。 三角コーナーの内容物を収集してゴミ袋を交換する。	

6. 定期清掃・ガラス清掃・その他清掃基準

区分	項目	作業内容	実施頻度
床の定期清掃	弾性床の洗浄／ ワックス仕上げ (ウェット方式)	1) 床面の除塵を行う。 2) 適正に希釈した洗剤をむらなく塗布する。 3) フロアーマシン等で床表面を洗浄し汚れを除去する。 4) 吸水用真空掃除機またはスクイージーで汚水を除去する。 5) 水拭き後、汚水や洗剤分を完全に除去し、十分に乾燥させる。 6) 樹脂床維持剤をむらなく塗布し十分に乾燥させる。 樹脂床維持剤は、2回以上塗り重ねる。	年4回
	石材床の洗浄	1) 床面の除塵を行う。 2) 適正に希釈した洗剤をむらなく塗布する。 3) フロアーマシン等で床表面を洗浄し汚れを除去する。 4) 吸水用真空掃除機またはスクイージーで汚水を除去する。 5) 水拭き後、汚水や洗剤分を完全に除去し、十分に乾燥させる。	年4回
	繊維床の クリーニング (ウェット方式)	1) 真空掃除機で床面の除塵を行う。 2) シミ部分は専用シミ取り剤を噴霧しシミを除去する。 3) ジュータンクリーニング機で全面クリーニングを行う。 4) 水を噴霧しながら汚水を吸引する。 5) ジュータンの織目を整え、乾燥させる。	年1回
ガラス清掃	外装ガラス 外面・内面清掃	1) ガラス面に専用洗剤を塗布する。 2) ガラススクイージーで汚水を切る。 3) ガラス面の隅の汚水をタオルで拭き上げる。 4) ガラス回りのサッシュをタオルで拭き上げる。	年2回
	内装ガラス 外面・内面清掃	1) ガラス面に専用洗剤を塗布する。 2) ガラススクイージーで汚水を切る。 3) ガラス面の隅の汚水をタオルで拭き上げる。 4) ガラス回りのサッシュをタオルで拭き上げる。	年2回

清掃面積・数量表

1. 床清掃面積表	139
-----------------	-----

※産業振興センター入居者専用部分については、床清掃範囲に含みません。

2. ガラス清掃面積表	143
-------------------	-----

3. 制気口数量表	147
-----------------	-----

4. 照明器具数量表	156
------------------	-----

1. 床清掃面積表

面積集計

(1) 日常清掃面積	7, 690m ²
(2) 定期清掃面積	
① 弾性系床材	1, 094m ²
② 石材系床材	2, 525m ²
③ 繊維系床材	4, 023m ²
④ 木質系床材	48m ²

※産業振興センター入居者専用部分については、床清掃範囲に含みません。

階数	室名	床材質	面積 m ²	備考
B2F	コンベンションネットワーク室	カーペット	54	
	計		54	
B1F	EVホール	花崗岩	35	
	計		35	
1F	階段a3	弾性床材	8	
	メールボックス	花崗岩	9	
	県職員EVホール	花崗岩	24	
	事務室	タイルカーペット	32	
	控室	タイルカーペット	22	
	通路	弾性床材	71	
	廊下8	弾性床材	9	
	職員WC	弾性床材	6	
	階段	弾性床材	3	
	展示場スペース	塗床	52	
	展示場ホール	花崗岩	447	
	計		683	
2F	階段a3	弾性床材	16	
	調整室	弾性床材	35	
	階段	弾性床材	2	
	休憩室	タイルカーペット	14	
	会議室	タイルカーペット	25	
	更衣室	タイルカーペット	11	
	受付	タイルカーペット	35	
	相談室	タイルカーペット	14	
	待合室	タイルカーペット	122	
	パスポートセンター事務室	タイルカーペット	138	
	廊下	弾性床材	26	
	前室	弾性床材	4	
	職員EVホール	弾性床材	27	
	職員男子WC	弾性床材	8	
	職員女子WC	弾性床材	10	
	計		487	
3F	階段a3	弾性床材	16	
	ホワイエ	花崗岩	1,048	
	風除室	花崗岩	19	
	事務室	タイルカーペット	599	
	赤ちゃんルーム	タイルカーペット	7	
	客男子WC2	磁器タイル	14	
	客女子WC2	磁器タイル	18	
	廊下3	弾性床材	30	
	県職員EVホール	弾性床材	30	
	湯沸かし	弾性床材	4	
	職員男子WC	弾性床材	8	
	職員女子WC	弾性床材	9	
	廊下2	弾性床材	67	
	リフレッシュコーナー	弾性床材	7	
	前室	弾性床材	16	
	客男子WC1	磁器タイル	17	
	客女子WC1	磁器タイル	16	
	廊下	弾性床材	4	
	計		1,929	
4F	階段a3	弾性床材	16	
	事務室	タイルカーペット	126	
	会議室	タイルカーペット	52	
	研修室	タイルカーペット	71	

階数	室名	床材質	面積 m ²	備考
4F	制作室	タイルカーペット	23	
	レファレンス	タイルカーペット	112	
	研修室	タイルカーペット	148	
	インフォメーション	花崗岩	195	
	コインロッカー	弾性床材	10	
	イベントロビー	タイルカーペット	344	
	廊下	タイルカーペット	78	
	湯沸かし	弾性床材	4	
	職員男子WC	弾性床材	8	
	職員女子WC	弾性床材	8	
	職員EVホール	弾性床材	20	
	客男子WC	磁器タイル	16	
	客女子WC	磁器タイル	22	
	洗面	磁器タイル	22	
	身WC	弾性床材	4	
	計		1,279	
5F	マルチメディアシアター	カーペット	22	
	映写室	タイルカーペット	18	
	事務室	タイルカーペット	125	
	控室	タイルカーペット	18	
	更衣室	タイルカーペット	15	
	廊下2	弾性床材	96	
	前室	弾性床材	2	
	廊下	弾性床材	41	
	身WC	弾性床材	4	
	身WC	弾性床材	4	
	客男子WC2	磁器タイル	14	
	客女子WC2	磁器タイル	19	
	職員WC	弾性床材	8	
	職員WC	弾性床材	10	
	受付	弾性床材	9	
	マルチメディア体験室	タイルカーペット	648	
	キッズコーナー	フローリング	48	
	県職員EVホール	弾性床材	24	
	階段a3	弾性床材	16	
	赤ちゃんルーム	タイルカーペット	12	
	廊下	弾性床材	21	
	身WC	弾性床材	4	
	身WC	弾性床材	4	
	客男子WC1	磁器タイル	27	
	客女子WC1	磁器タイル	20	
	廊下1	弾性床材	4	
	計		1,233	
6F	階段a3	弾性床材	16	
	県職員EVホール	弾性床材	21	
	廊下1	弾性床材	81	
	湯沸かし	弾性床材	5	
	リフレッシュコーナー	弾性床材	6	
	職員男子WC	弾性床材	12	
	職員女子WC	弾性床材	11	
	身WC	弾性床材	3	
	特別応接室	カーペット	48	
	控室2	カーペット	29	
	控室1	カーペット	29	
	廊下2	タイルカーペット	55	

階数	室名	床材質	面積 m ²	備考
6F	パントリー	弾性床材	8	
	客男子WC2	花崗岩	4	
	客女子WC2	花崗岩	4	
	国際会議場	タイルカーペット	406	
	ホワイエ	花崗岩	130	
	階段	弾性床材	16	
	エントランスロビー	花崗岩	109	
	クローク	弾性床材	27	
	客男子WC1	花崗岩	23	
	客女子WC1	花崗岩	21	
	身WC	花崗岩	4	
	身WC	花崗岩	4	
	管理事務室	タイルカーペット	194	
	会議室	タイルカーペット	43	
	応接室	タイルカーペット	38	
	計		1,347	
7F	階段a3	弾性床材	16	
	廊下2	弾性床材	89	
	県職員EVホール	タイルカーペット	21	
	湯沸かし	弾性床材	5	
	リフレッシュコーナー	弾性床材	6	
	客男子WC1	花崗岩	13	
	客女子WC1	花崗岩	11	
	身WC	花崗岩	4	
	身WC	花崗岩	4	
	EV		3基	
	ES		2基	
	国際会議場2階席	タイルカーペット	95	
	調整室	タイルカーペット	32	
	ホワイエ階段	花崗岩	8	
	ホワイエ	花崗岩	129	
	通訳ブース1	タイルカーペット	12	
	通訳ブース2	タイルカーペット	8	
	通訳ブース3	タイルカーペット	9	
	通訳ブース4	タイルカーペット	8	
	通訳ブース5	タイルカーペット	7	
	通訳ブース6	タイルカーペット	8	
	ビジネスルーム	タイルカーペット	39	
	廊下1	弾性床材	35	
	客男子WC1	花崗岩	9	
	身WC	弾性床材	4	
	客女子WC1	花崗岩	14	
	交流サロン	タイルカーペット	57	
	計		643	
		計	7,690	

2. ガラス清掃面積表

面積集計

(1) 外装ガラス内面清掃面積	1,720m ²
(2) 内装ガラス両面清掃面積	765m ²

(1) 外装ガラス

階数	建具符号	建具箇所	ガラス建具寸法		ガラスの枚数	面積 (㎡)
			W (m)	H (m)		
7F	bCW-1	1	0.900	0.350	1	0.30
7F	bCW-1	1	0.900	1.955	1	1.80
7F	bCW-2	1	0.900	2.355	1	2.10
7F	bAW-1	1	5.400	0.300	1	1.60
7F	bCW-8	1	20.100	1.800	1	36.20
7F	bCW-8	1	29.660	3.600	1	106.80
7F	bCW-6	1	16.230	3.600	1	58.40
7F	bAW-3	1	6.000	0.450	1	2.70
7F	bAW-3	1	12.000	0.900	1	10.80
7F	bAW-2	1	3.300	1.350	1	4.50
7F	bCW-5	1	2.000	3.600	1	7.20
7F	bCW-5	1	4.550	3.600	1	16.40
6F	bCW-1	1	0.900	0.350	1	0.30
6F	bCW-1	1	0.900	1.955	1	1.80
6F	bCW-2	1	0.900	2.355	1	2.10
6F	bAW-1	1	5.400	0.300	1	1.60
6F	bCW-8	1	20.100	1.800	1	36.20
6F	bCW-8	1	14.580	3.600	1	52.50
6F	bCW-6	1	16.230	3.600	1	58.40
6F	bAW-5	1	24.000	2.700	1	64.80
6F	bAW-3	1	6.000	0.450	1	2.70
6F	bAW-3	1	12.000	0.900	1	10.80
6F	bAW-2	1	3.300	1.350	1	4.50
6F	bCW-5	1	2.000	4.500	1	9.00
6F	bCW-5	1	4.550	4.500	1	20.50
5F	bCW-1	1	0.900	0.350	1	0.30
5F	bCW-1	1	0.900	1.955	1	1.80
5F	bCW-2	1	0.900	2.355	1	2.10
5F	bAW-1	1	5.400	0.300	1	1.60
5F	bCW-8	1	12.700	4.500	1	57.20
5F	bCW-8	1	37.060	4.500	1	166.80
5F	bCW-6	1	16.230	4.500	1	73.00
5F	bCW-4	1	27.550	1.800	1	49.60
5F	bAW-4	1	12.000	0.900	1	10.80
5F	bAW-2	1	3.300	1.350	1	4.50
4F	bCW-1	1	0.900	0.350	1	0.30
4F	bCW-1	1	0.900	1.955	1	1.80
4F	bCW-2	1	0.900	2.355	1	2.10
4F	bAW-1	1	5.400	0.300	1	1.60
4F	bCW-8	1	25.165	3.600	1	90.60
4F	bCW-8	1	12.585	3.600	1	45.30
4F	bCW-4	1	27.550	1.800	1	49.60
4F	bAW-4	1	12.000	0.900	1	10.80
4F	bAW-2	1	3.300	1.350	1	4.50

階数	建具符号	建具 箇所	ガラス建具寸法		ガラス の枚数	面積 (㎡)
			W (m)	H (m)		
3F	bCW-1	1	0.900	0.350	1	0.30
3F	bCW-1	1	0.900	1.955	1	1.80
3F	bCW-2	1	0.900	2.355	1	2.10
3F	bAW-1	1	5.400	0.300	1	1.60
3F	bCW-11	1	31.400	3.600	1	113.00
3F	bCW-8	1	37.060	3.600	1	133.40
3F	bCW-8	1	4.800	3.600	1	17.30
3F	bCW-4	1	27.550	3.600	1	99.20
3F	bCW-4	1	25.700	3.600	1	92.50
3F	aSTD-03001	1	6.000	3.600	1	21.60
3F	bAW-4	1	12.000	0.900	1	10.80
3F	bAW-2	1	3.300	1.350	1	4.50
2F	bCW-4	1	27.550	1.800	1	49.60
2F	bCW-4	1	12.650	1.800	1	22.80
2F	bCW-4	1	8.450	3.600	1	30.40
2F	bAW-4	1	12.000	0.900	1	10.80
2F	bAW-2	1	3.300	1.350	1	4.50
2F	bSTD-02002	1	5.200	3.000	1	15.60
	計					1,720.10

(2) 内装ガラス

階数	建具符号	建具箇所	ガラス建具寸法		ガラスの枚数	面積(m ²)
			W(m)	H(m)		
7F	aSTW-07001(内)	1	6.000	2.700	1	16.20
7F	aSTD-07002(内)	1	5.000	2.700	1	13.50
7F	aSTD-07001(内)	1	6.000	2.700	1	16.20
6F	aSTW-06001(内)	1	6.000	4.000	1	24.00
6F	aSTD-06002(内)	1	2.500	4.000	1	10.00
6F	aSTD-06001(内)	1	6.000	4.000	1	24.00
5F	bCW-7(外)	1	2.355	3.600	2	17.00
5F	bCW-7(外)	1	1.415	3.600	2	10.20
5F	bCW-7(外)	1	0.900	1.600	2	2.90
5F	bCW-7(外)	1	1.610	3.600	1	5.80
5F	aSTW-05003(内)	1	6.000	5.000	1	30.00
5F	aSTW-05003(外)	1	6.000	5.000	1	30.00
5F	aSTW-05002(内)	1	6.000	5.000	1	30.00
5F	aSTW-05002(外)	1	6.000	5.000	1	30.00
5F	aSTW-05001(内)	1	4.800	5.000	1	24.00
5F	aSTW-05001(外)	1	4.800	5.000	1	24.00
4F	aSTW-04005(内)	1	7.800	2.700	1	21.10
4F	aSTW-04004(内)	1	2.725	2.700	1	7.40
4F	aSTW-04003(内)	1	6.150	2.700	1	16.60
4F	aSTW-04002(内)	1	5.200	2.700	1	14.00
4F	aSTW-04001(内)	1	6.150	2.700	1	16.60
4F	aSTW-04001(外)	1	6.150	2.700	1	16.60
4F	aSTD-04008(内)	1	6.500	2.700	1	17.60
4F	aSTD-04008(外)	1	6.500	2.700	1	17.60
4F	aSTD-04007(内)	1	8.200	2.700	1	22.10
4F	aSTD-04007(外)	1	8.200	2.700	1	22.10
4F	aSTD-04005(内)	1	6.150	2.700	1	16.60
4F	aSTD-04004(内)	1	13.500	2.700	1	36.50
4F	aSTD-04004(外)	1	13.500	2.700	1	36.50
4F	aSTD-04003(内)	1	3.755	2.700	1	10.10
4F	aSTD-04003(外)	1	3.755	2.700	1	10.10
4F	aSTD-04002(内)	1	4.800	2.700	1	13.00
4F	aSTD-04002(外)	1	4.800	2.700	1	13.00
3F	aSTD-03002(内)	1	10.400	3.600	1	37.40
3F	aSTD-03002(外)	1	10.400	3.600	1	37.40
2F	bSTD-02001(内)	1	10.500	3.000	1	31.50
2F	bAW-02002(内)	1	3.000	2.700	1	8.10
2F	bAW-02002(外)	1	3.000	2.700	1	8.10
2F	bAW-02001(内)	1	4.000	2.700	1	10.80
2F	bAW-02001(外)	1	4.000	2.700	1	10.80
1F	bSTD-01008(内)	1	1.500	3.000	1	4.50
1F	bSTD-01006(内)	1	0.850	2.100	1	1.80
	計					765.70

3. 制気口数量表

制気口集計

吸気口

①	アネモ型	262個
②	パン型アネモ	12個
③	ノズル型	32個
④	VHS型	60個

吸気・排気口

⑤	BL-D型	199個
⑥	BL-K型	29個
⑦	BL-S型	4個
⑧	BL-T型	156個

排気口

⑨	HS型	231個
⑩	SUS金網型	13個
⑪	レターンガラリ	4個

【 ホール棟 】

階数	室名	仕様		数量
		種類	寸法	
1F	展示ホール	ノズル	500	32
1F	展示ホール	HS	1800×1200	4
1F	事務室	BL-D	3000L	1
1F	事務室	BL-D	3000L	1
1F	事務室	VHS	200×200	1
1F	事務室	HS	200×200	1
1F	控室	BL-D	3000L	1
1F	控室	BL-D	3000L	1
1F	控室	VHS	200×200	1
1F	控室	HS	200×200	1
1F	控室	BL-D	3000L	1
1F	控室	BL-D	3000L	1
1F	控室	VHS	200×200	1
1F	控室	HS	200×200	1
1F	控室	BL-D	3000L	1
1F	控室	BL-D	3000L	1
1F	控室	VHS	200×200	1
1F	控室	HS	200×200	1
1F	廊下	BL-D	3000L	4
1F	廊下	BL-D	3000L	4
1F	廊下	VHS	350×350	1
1F	倉庫	HS	300×300	1
1F	倉庫	VHS	300×300	1
1F	WC	HS	200×200	1
1F	WC	HS	200×200	1
1F	湯沸し	HS	200×200	1
1F	展示場搬入スペース	HS	300×300	2
1F	展示場搬入スペース	HS	500×350	1
2F	調整室	BL-T	3000L	1
2F	調整室	BL-T	3000L	1
2F	調整室	VHS	300×300	1
2F	調整室	HS	300×300	1

【 タ ワ ー 棟 】

階数	室名	仕様		数量
		種類	寸法	
1F	メールボックス 1	VHS	200×200	1
1F	メールボックス 1	HS	200×200	1
1F	県職員用 EV ホール	BL-T	2000L	2
1F	県職員用 EV ホール	BL-T	2000L	2
2F	事務室	VHS	300×300	2
2F	事務室	HS	300×300	2
2F	受付・待合室	アネ	C2-20	10
2F	受付・待合室	BL-D	1000L	2
2F	受付・待合室	HS	500×500	2
2F	相談室	VHS	200×200	1
2F	相談室	HS	200×200	1
2F	更衣室	VHS	200×200	1
2F	更衣室	HS	200×200	1
2F	休憩室	VHS	200×200	1
2F	休憩室	HS	200×200	1
2F	会議室	BL-T	1000L	5
2F	会議室	BL-T	1000L	5
2F	会議室	VHS	250×250	1
2F	会議室	HS	250×250	1
2F	職員用 EV ホール	BL-T	1000L	4
2F	職員用 EV ホール	VHS	300×300	1
2F	職員用 WC	HS	200×200	1
2F	職員用 WC	HS	200×200	1
2F	発券機室	VHS	500×500	1
2F	発券機室	HS	450×450	1
2F	バスポート待合室	BL-T	2000L	1
2F	バスポート待合室	BL-T	2000L	1
3F	観光情報センター	アネ	C2-20	21
3F	観光情報センター	SUS 金網	1000×350	2
3F	観光情報センター	HS	400×300	1
3F	観光情報センター	HS	250×250	1
3F	観光情報センター	HS	350×350	1
3F	観光情報センター	BL-T	3000L	4
3F	観光情報センター	BL-T	2500L	3
3F	観光情報センター	HS	900×300	9
3F	廊下(3)	HS	250×250	1
3F	倉庫(2)	HS	350×350	1
3F	客用 WC	HS	200×200	2
3F	客用 WC	HS	300×300	1
3F	事務室	VHS	250×250	2

階数	室名	仕様		数量
		種類	寸法	
3F	事務室	HS	250×250	2
3F	赤ちゃんルーム	VHS	150×150	1
3F	赤ちゃんルーム	HS	150×150	1
3F	職員用 EV ホール	アネ	C2-25	1
3F	職員用 WC	HS	200×200	1
3F	職員用 WC	HS	200×200	1
3F	風除室	BL-S	2000L	1
3F	インフォメーション	BL-S	1000L	2
3F	エントランスホワイエ	アネ	C2-20	4
3F	観光情報センター	アネ	C2-20	36
3F	観光情報センター	SUS 金網	1500×500	2
3F	観光情報センター	BL-K	3500L	1
3F	観光情報センター	BL-K	1500L	1
3F	観光情報センター	BL-K	3000L	2
3F	観光情報センター	BL-K	2500L	8
3F	観光情報センター	BL-K	2000L	2
3F	観光情報センター	BL-D	2000L	1
3F	観光情報センター	HS	1000×300	21
3F	観光情報センター	HS	900×300	1
3F	観光情報センター	HS	350×350	1
3F	倉庫(1)	VHS	900×300	1
3F	倉庫(1)	HS	300×300	2
3F	廊下(2)	HS	350×350	1
3F	客用 WC	HS	200×200	2
3F	客用 WC	HS	200×200	2
3F	身障者 WC	HS	200×200	1
3F	身障者 WC	HS	200×200	1
4F	コインロッカー	HS	250×250	1
4F	待機基地	アネ	C2-15	1
4F	待機基地	HS	150×150	1
4F	待機基地	HS	200×200	1
4F	イベントロビー	アネ	C2-20	18
4F	イベントロビー	SUS 金網	850×300	2
4F	イベントロビー	アネ	C2-20	18
4F	イベントロビー	SUS 金網	850×300	2
4F	イベントロビー	BL-K	2000L	1
4F	イベントロビー	BL-K	2500L	6
4F	イベントロビー	HS	800×450	10
4F	イベントロビー	SUS 金網	200×150	1
4F	イベントロビー	HS	450×300	1
4F	イベントロビー(喫煙コーナー)	HS	450×300	1
4F	イベントロビー(通路部)	HS	200×200	1

階数	室名	仕様		数量
		種類	寸法	
4F	イベントビュースペース(通路部)	HS	350×300	1
4F	廊下	HS	450×300	1
4F	倉庫(1)	HS	300×300	1
4F	機械室(1)	HS	300×300	1
4F	倉庫(4)	HS	250×250	1
4F	客用 WC	HS	300×300	1
4F	身障者 WC	HS	200×200	1
4F	客用 WC	HS	300×300	1
4F	身障者 WC	HS	200×200	1
4F	レファレンス	アネモ	C2-20	10
4F	レファレンス	HS	550×300	3
4F	レファレンス	HS	200×200	1
4F	研修室	アネモ	C2-25	8
4F	研修室	HS	800×450	2
4F	研修室	BL-T	1500L	4
4F	研修室	HS	1100×450	1
4F	研修室	HS	350×300	1
4F	研修室	アネモ	C2-25	4
4F	研修室	HS	500×300	2
4F	研修室	BL-T	2000L	2
4F	研修室	BL-T	3000L	1
4F	研修室	HS	650×300	2
4F	制作室	VHS	200×200	1
4F	制作室	HS	200×200	1
4F	会議室 1	BL-D	1000L	5
4F	会議室 1	BL-D	1000L	5
4F	会議室 1	VHS	250×250	1
4F	会議室 1	HS	250×250	1
4F	会議室 2	アネモ	C2-25	2
4F	会議室 2	BL-D	1000L	4
4F	会議室 2	VHS	200×200	1
4F	会議室 2	HS	200×200	1
4F	事務室	VHS	300×300	2
4F	事務室	HS	300×300	2
4F	EV ホール	アネモ	C2-25	1
4F	職員用 WC	HS	200×200	1
4F	職員用 WC	HS	200×200	1
4F	サーバー室	VHS	200×200	1
4F	サーバー室	HS	200×200	1
5F	情報通信交流館	アネモ	APC-30	2
5F	キッズコーナー	HS	450×450	1
5F	キッズコーナー	BL-D	2000L	2

階数	室名	仕様		数量
		種類	寸法	
5F	キッズコーナー	HS	650×450	1
5F	受付	アネ	C2-15	1
5F	受付	HS	250×250	1
5F	マルチメディア体験室	アネ	APC-25	25
5F	マルチメディア体験室	SUS 金網	900×350	2
5F	マルチメディア体験室	アネ	APC-25	16
5F	マルチメディア体験室	BL-D	2000L	4
5F	マルチメディア体験室	BL-S	2000L	1
5F	マルチメディア体験室	SUS 金網	700×350	2
5F	マルチメディア体験室	BL-D	2500L	3
5F	マルチメディア体験室	BL-K	2500L	8
5F	マルチメディア体験室	BL-T	1500L	2
5F	マルチメディア体験室	HS	850×450	13
5F	マルチメディア体験室	HS	600×450	1
5F	マルチメディア体験室	HS	250×250	1
5F	マルチメディア体験室(喫煙コーナー)	HS	300×300	1
5F	マルチメディア体験室(喫煙コーナー)	HS	500×500	1
5F	廊下	HS	900×300	1
5F	客用 WC(女子)	HS	300×300	2
5F	客用 WC(男子)	HS	300×300	1
5F	身障者 WC	HS	200×200	1
5F	身障者 WC	HS	200×200	1
5F	身障者 WC	HS	200×200	1
5F	身障者 WC	HS	200×200	1
5F	客用 WC(女子)	HS	300×300	1
5F	客用 WC(男子)	HS	300×300	1
5F	マルチメディアシアター	パソ型アネ	KP#20	12
5F	マルチメディアシアター	HS	350×350	6
5F	映写室	HS	200×200	1
5F	赤ちゃんルーム	VHS	200×200	1
5F	赤ちゃんルーム	HS	200×200	1
5F	事務室	VHS	300×300	2
5F	事務室	HS	300×300	2
5F	控室	VHS	200×200	1
5F	控室	HS	200×200	1
5F	更衣室	VHS	200×200	1
5F	更衣室	HS	200×200	1
5F	職員用 EV ホール	アネ	C2-30	1
5F	廊下(2)	HS	500×500	1
5F	職員用 WC	HS	200×200	1
5F	職員用 WC	HS	250×250	1
5F	廊下(3)	HS	250×250	2

階数	室名	仕様		数量
		種類	寸法	
5F	映写室	VHS	200×200	1
5F	映写室	HS	200×200	1
5F	倉庫	VHS	200×200	1
5F	倉庫	HS	200×200	1
5F	倉庫	VHS	200×200	1
5F	倉庫	HS	200×200	1
5F	映写室	HS	250×250	1
6F	初任	アネ	C2-25	16
6F	初任	BL-D	1500L	16
6F	クロク	アネ	C2-25	1
6F	クロク	HS	400×400	1
6F	客用 WC	HS	400×400	1
6F	客用 WC	HS	300×300	2
6F	身障者 WC	HS	200×200	1
6F	身障者 WC	HS	200×200	1
6F	特別応接室	アネ	C2-20	4
6F	特別応接室	BL-T	1000L	2
6F	特別応接室	BL-T	1000L	8
6F	特別応接室	VHS	350×350	1
6F	特別応接室	HS	350×350	1
6F	控室	BL-D	1000L	4
6F	控室	BL-D	1000L	4
6F	控室	VHS	200×200	1
6F	控室	HS	200×200	1
6F	控室	BL-D	1000L	4
6F	控室	BL-D	1000L	4
6F	控室	VHS	200×200	1
6F	控室	HS	200×200	1
6F	管理事務室	VHS	450×450	1
6F	管理事務室	HS	400×400	1
6F	応接室	アネ	C2-25	2
6F	応接室	BL-T	1000L	10
6F	応接室	BL-T	1500L	10
6F	応接室	VHS	300×300	1
6F	応接室	HS	300×300	1
6F	会議室	アネ	C2-25	2
6F	会議室	BL-D	1500L	6
6F	会議室	BL-T	1500L	6
6F	会議室	VHS	350×350	1
6F	会議室	HS	350×350	1
6F	廊下 2	アネ	C2-25	2
6F	廊下 2	HS	400×400	2

階数	室名	仕様		数量
		種類	寸法	
6F	廊下 2	アネ	C2-25	2
6F	パントリー	HS	300×300	1
6F	WC	HS	200×200	1
6F	WC	HS	200×200	1
6F	更衣室	VHS	300×300	1
6F	更衣室	HS	300×300	1
6F	更衣室	VHS	300×300	1
6F	更衣室	HS	300×300	1
6F	廊下	アネ	C2-20	4
6F	職員用 WC	HS	300×300	1
6F	職員用 WC	HS	250×250	1
6F	身障者 WC	HS	200×200	1
6F	国際会議場	BL-D	1000L	100
6F	国際会議場	レターボックス		4
7F	倉庫	HS	400×400	1
7F	国際会議場 2 階席	アネ	C2-30	12
7F	調整室	VHS	300×300	1
7F	調整室	HS	300×300	1
7F	通訳ブース 1	VHS	200×200	1
7F	通訳ブース 1	HS	200×200	1
7F	通訳ブース 2	VHS	200×200	1
7F	通訳ブース 2	HS	200×200	1
7F	通訳ブース 3	VHS	200×200	1
7F	通訳ブース 3	HS	200×200	1
7F	通訳ブース 4	VHS	200×200	1
7F	通訳ブース 4	HS	200×200	1
7F	通訳ブース 5	VHS	200×200	1
7F	通訳ブース 5	HS	200×200	1
7F	通訳ブース 6	VHS	200×200	1
7F	通訳ブース 6	HS	200×200	1
7F	ビジネスルーム	アネ	C2-15	6
7F	ビジネスルーム	HS	350×350	3
7F	ビジネスルーム	VHS	200×200	1
7F	ビジネスルーム	HS	200×200	1
7F	ホワイ	BL-T	1000L	21
7F	ホワイ	BL-T	1000L	21
7F	ホワイ	BL-D	1000L	4
7F	客用 WC	HS	250×250	1
7F	客用 WC	HS	250×250	1
7F	身障者 WC	HS	200×200	1
7F	廊下	アネ	C2-20	10
7F	廊下	BL-T	1000L	10

階数	室名	仕様		数量
		種類	寸法	
7F	廊下	アネ	C2-20	2
7F	客用 WC	HS	300×300	1
7F	客用 WC	HS	300×300	1
7F	身障者 WC	HS	200×200	1
7F	身障者 WC	HS	200×200	1
7F	産業振興センター	VHS	250×250	1
7F	産業振興センター	HS	250×250	1
7F	産業振興センター	VHS	250×250	1
7F	産業振興センター	HS	250×250	1
7F	産業振興センター	VHS	250×250	1
7F	産業振興センター	HS	250×250	1
7F	産業振興センター	VHS	250×250	1
7F	産業振興センター	HS	250×250	1
7F	産業振興センター	VHS	250×250	1
7F	産業振興センター	HS	250×250	1
7F	産業振興センター	VHS	250×250	1
7F	産業振興センター	HS	250×250	1
7F	産業振興センター	VHS	350×350	1
7F	産業振興センター	HS	350×350	1
7F	交流サロン	アネ	C2-25	18
7F	交流サロン	BL-D	1500L	15
7F	交流サロン	BL-T	1500L	30
7F	交流サロン	アネ	C2-25	2
7F	交流サロン	HS	300×300	2
7F	産業振興センター	VHS	200×200	1
7F	産業振興センター	HS	200×200	1
7F	産業振興センター	VHS	200×200	1
7F	産業振興センター	HS	200×200	1
8F	EV 機械室	VHS	1000L	1
8F	EV 機械室	HS	1000L	1

4. 照明器具数量表

照明器具集計

① 直管蛍光灯型	1, 384台
② ツイン蛍光灯型	1, 186台
③ ダウンライト型	680台
③ LED型	72台

照明器具数一覧

階	部屋名称	①直管蛍光灯						②ツイン蛍光灯			③ダウンライト				④LED		
		管球 W	管球 数	器具 数	管球 W	管球 数	器具 数	管球 W	管球 数	器具 数	管球 W	管球 数	器具数	備考	管球 W	管球 数	器具 数
B1F	県有職員 EV ホール	32W	1	12				32W		7							
1F	EPS3	32W	1	1													
1F	PS3	32W	1	1													
1F	メールボックス	32W	2	2													
1F	県有職員 EV ホール	32W	1	12				32W		2							
1F	倉庫 1	32W	2	3													
1F	控室	32W	1	2				32W		12							
1F	事務室	32W	2	6													
1F	展示場搬入スペース	32W	2	6													
1F	展示場内														42		60
1F	展示場内							32W	1	56							
1F	廊下 2							32W		11					32		6
1F	職員 WC1							27W		1							
1F	職員 WC2							27W		1							
1F	廊下 8、湯沸	15W		1				32W		4							
2F	ハスポート事務室	16W	2	5	32W	2	27	32W		7							
2F	相談室	32W	2	2													
2F	待合室	32W	2	29													
2F	受付	16W	2	1	32W	2	11										
2F	機械室 1	32W	2	20													
2F	ハスポート通路							32W		7							
2F	更衣室	32W	1	2													
2F	休憩室							32W	3	2							
2F	会議室							55W	4	4							
2F	倉庫 1	32W	1	2													

階	部屋名称	①直管蛍光灯						②ツイン蛍光灯			③ダウンライト				④LED		
		管球 W	管球 数	器具 数	管球 W	管球 数	器具 数	管球 W	管球 数	器具 数	管球 W	管球 数	器具数	備考	管球 W	管球 数	器具 数
2F	EPS	32W	1	2													
2F	湯沸かし室	15W	1	1				27W		1							
2F	機械室 2	32W	1	2													
2F	県有職員 EV ホール通路	32W	1	12				32W		14							
2F	職員男 WC							27W		5							
2F	職員女 WC							27W		4							
3F	観光情報センター							27W	7	7	60W	5	5	ミニハロゲン			
3F	観光情報センター										40W	8	8	ミニハロゲン			
3F	観光情報センター													メタルハライド			
3F	観光情報センター	32W	2	36				32W	7	7	150W	30	30		32		6
3F	事務室	16W	2	4	32W	2	24										
3F	赤ちゃんルーム																
3F	客用女子 WC2	32W	1	2				27W		11							
3F	客用男子 WC2	32W		2				27W		8							
3F	倉庫 2	32W	1	4													
3F	PS	32W	1	1													
3F	EPS	32W	1	1													
3F	湯沸かし	15W	1	1				27W		1							
3F	廊下							32W		9							
3F	職員男子 WC							27W		4							
3F	職員女子 WC							27W		5							
3F	機械室 2	32W	1	2													
3F	県有職員 EV ホール	32W	1	12				32W		6							
3F	廊下 2 リフレッシュ							32W		22							
3F	機械室 1	32W	1	4													
3F	身障者 WC							27W		2							

階	部屋名称	①直管蛍光灯						②ツイン蛍光灯			③ダウンライト				④LED		
		管球 W	管球 数	器具 数	管球 W	管球 数	器具 数	管球 W	管球 数	器具 数	管球 W	管球 数	器具数	備考	管球 W	管球 数	器具 数
3F	客用男子 WC1	32W	1	2				27W		5							
3F	客用女子 WC1	32W	1	2				27W		5							
3F	WC 通路							32W		3							
3F	廊下 1							32W		3							
3F	附室	32W	1	2													
3F	倉庫 1	16W	2	3	32W	2	14										
4F	倉庫 4	32W	2	2													
4F	研修室							32W	3	9							
4F	研究室	32W	2	29													
4F	会議室							55W	4	8							
4F	制作室	32W	2	10													
4F	研修室前室							32W		8							
4F	レファレンス	32W	2	26													
4F	倉庫 3	32W	1	1													
4F	事務室	32W	2	28	16W	2	1	32W		4							
4F	情報通信交流館							32W		105							
4F	待機基地	32W	1	2													
4F	コンロッカー							32W		3							
4F	サーバ室	16W	2	2	32W	2	2										
4F	EPS	32W	1	1													
4F	PS	32W	1	1													
4F	湯沸かし																
4F	職員 WC 男子							27W		4							
4F	職員 WC 女子							27W		5							
4F	機械室 3	15W	1	1				27W		1							
4F	県有 EV ホール	32W	1	12				32W		27							

階	部屋名称	①直管蛍光灯						②ツイン蛍光灯			③ダウンライト				④LED		
		管球 W	管球 数	器具 数	管球 W	管球 数	器具 数	管球 W	管球 数	器具 数	管球 W	管球 数	器具数	備考	管球 W	管球 数	器具 数
4F	機械室 2	32W	2	4													
4F	倉庫 2	32W	1	2													
4F	WC 前							32W		3							
4F	客用女子 WC	32W	1	3				27W		13							
4F	客用男子 WC	32W	1	3				27W		14							
4F	身障者 WC							27W		2							
4F	イベントホール	32W	2	99							90W		100	ミニハロゲン			
4F	機械室 1	32W	1	3													
4F	倉庫 1	32W	2	2													
5F	マルチメディアシアター										500W		22	ミニハロゲン			
5F	倉庫 3	32W	1	3	32W	2	3										
5F	映写室	32W	2	3							90W		3	ミニハロゲン			
5F	控室							54W	4	2	32W		6	ツイン			
5F	事務室	32W	2	28	16W	2	1										
5F	更衣室							54W	4	2							
5F	廊下 2							32W		6							
5F	マルチメディアシアター倉庫	32W	1	4													
5F	情報通交流館							32W		114							
5F	キッズコーナー	32W	2	9							90W		11	ミニハロゲン			
5F	赤ちゃんルーム	15W	1	1				32W		6							
5F	EPS	32W	1	1													
5F	PS	32W	1	1													
5F	身障者 WC							27W		2							
5F	WC 前通路							32W		18							
5F	客用男子 WC2	32W	1	2				27W		8							
5F	客用女子 WC2	32W	1	3				27W		12							

階	部屋名称	①直管蛍光灯						②ツイン蛍光灯			③ダウンライト				④LED		
		管球 W	管球 数	器具 数	管球 W	管球 数	器具 数	管球 W	管球 数	器具 数	管球 W	管球 数	器具数	備考	管球 W	管球 数	器具 数
5F	湯沸かし	15W	1	1				27W		1							
5F	受付	32W	2	2													
5F	倉庫 2	32W	1	3													
5F	職員 WC 男子							27W		4							
5F	職員 WC 女子							27W		5							
5F	機械室 2	32W	1	2													
5F	EPS	32W	1	1													
5F	県有 EV ホール	32W	1	12				32W		27							
5F	機械室 1	32W	1	4													
5F	倉庫 1	32W	1	2													
5F	WC 前通路							32W		5							
5F	女子 WC1	32W	1	3				27W		13							
5F	男子 WC1	32W	1	2				27W		12							
5F	身障者 WC							27W		4							
5F	マルチメディア体験室	32W	2	135	16W	2	8				90W		150	ミニハロゲン			
6F	廊下 2							32W		9							
6F	特別応接室	32W	1	18				32W		11							
6F	ホワイエ	32W	1	72							75W		33	ダイケール	60W		4
6F	EV ホール							32W		28							
6F	エントランスロビー							32W		21							
6F	クローク受付							32W		7							
6F	クローク							32W		7							
6F	客用男子 WC1	32W	1	6				27W		8							
6F	客用女子 WC1	32W	1	6				27W		14							
6F	身障者 WC							27W		2							
6F	管理事務室	32W	2	43	16W	2	2										

階	部屋名称	①直管蛍光灯						②ツイン蛍光灯			③ダウンライト				④LED		
		管球 W	管球 数	器具 数	管球 W	管球 数	器具 数	管球 W	管球 数	器具 数	管球 W	管球 数	器具数	備考	管球 W	管球 数	器具 数
6F	控室 2							55W	4	3	32W		9	ツイン			
6F	控室 1							55W	4	3	32W		10	ツイン			
6F	客男子 WC2	32W	1	1				27W		2							
6F	EPS	32W	1	1													
6F	客女子 WC2							27W		2							
6F	パントリー	32W	1	2	15W	1	2										
6F	県有 EV ホール	32W	1	12				32W		8							
6F	廊下 1							32W		23							
6F	湯沸かし	15W	1	1				27W		1							
6F	AC 室	32W	1	2													
6F	倉庫 2	32W	1	2													
6F	職員 WC 男子	32W	1	1				27W		5							
6F	職員 WC 女子	32W	1	1				27W		5							
6F	身障者 WC							27W		1							
6F	リフレッシュコーナー							32W		1							
6F	倉庫 1	32W	1	1													
6F	応接室	32W	2	8													
6F	会議室	32W	2	11													
6F	更衣室 2	32W	2	2													
6F	更衣室 1	32W	2	2													
7F	廊下 1							32W		10							
7F	AC 室	32W	2	2													
7F	倉庫 2	32W	1	2													
7F	ビジネスルーム	32W	2	12													
7F	客女子 WC1	32W	1	2				27W		4							
7F	身障者 WC							27W		2							

階	部屋名称	①直管蛍光灯						②ツイン蛍光灯			③ダウンライト				④LED		
		管球 W	管球 数	器具 数	管球 W	管球 数	器具 数	管球 W	管球 数	器具 数	管球 W	管球 数	器具数	備考	管球 W	管球 数	器具 数
7F	EPS	32W	1	1													
7F	階段										60W		16	シリカ	60W		2
7F	客男子 WC1	32W	1	2				27W		5							
7F	県有 EV ホール	32W	1	12				32W		8							
7F	湯沸かし	15W	1	1				27W		1							
7F	倉庫 4	32W	1	3													
7F	ホワイ吹抜け	32W	1	49													
7F	ホワイ吹抜け通路	32W	1	35				32W		18	75W		16	ネオハロゲン			
7F	交流サロン							32W		18							
7F	事務室	32W	1or2	81	20W	2	1	32W		23							
7F	倉庫	32W	1	1													
7F	廊下 2							32W		22							
7F	客男子 WC1	32W	1	2				27W		5							
7F	客女子 WC1	32W	1	2				27W		5							
7F	リフレッシュ							32W		1							
7F	身障者 WC							27W		2							
8F	EV 機械室	32W	1	6													
2F	連絡デッキ							9W		52							
6F	会議場上部							32W		56							
6F	倉庫 4	32W	1	10													
7F	国際会議場 2 階席							32W		46							
7F	調整室	32W	2	4							65W		3	ハロゲン			
7F	選択ブース										75W		28	ハロゲン			
7F	会議場上部							32W		64							
7F	倉庫 3	32W	1	11													
7F	会議室	32W	2	24													

階	部屋名称	①直管蛍光灯						②ツイン蛍光灯			③ダウンライト				④LED		
		管球 W	管球 数	器具 数	管球 W	管球 数	器具 数	管球 W	管球 数	器具 数	管球 W	管球 数	器具数	備考	管球 W	管球 数	器具 数
	計			1288			96			1186			680				72

**屋外広場、駐車場等
清掃業務仕様書**

屋外広場、駐車場等清掃業務 仕様書

(1) 多目的広場 (A=8,000 m²)

区 分	清 掃 区 域	清 掃 内 容	清掃回数
日常清掃	一般部 (多目的広場)	荒ごみ等拾い掃き	1 回/日
	植栽部、ステージ	荒ごみ等拾い	
	便器：多目的1、男子大2、小4、女子大5)	水洗い、掃き拭き	2 回/日
	便所床、灰皿、洗面台、手摺、鏡等	洗淨、磨き	1 回/日
	その他	トイレットペーパー補充、ごみ処理	
定期清掃	案内板、掲示板	清拭	1 回/週
	一般部、ステージ	水洗い	2 回/年

(2) 多目的広場地下駐車場 (A=15,150 m²)

区 分	清 掃 区 域	清 掃 内 容	清掃回数
日常清掃	駐車場床 (地下1、2階)	荒ごみ等拾い掃き	1回/2日
	地下1、2階ホール床、エレベーター床 (2基)	荒ごみ等拾い掃き	1回/日
	階段床 (3箇所)	掃き拭き	
	スロープ、エレベータードア、内壁、操作盤、案内板、掲示板、階段上屋内外低所ガラス面	清拭	1回/週
	管理事務室	ごみ処理	随時
	便所床、B1便器 (多目的2、男子大1、小2、女子大2) 便所床、B2便器 (多目的2、男子大1、小3、女子大3)	水洗い、掃き拭き	2回/日
	便器、灰皿、洗面台、手摺、鏡等	洗浄、磨き	1回/日
	その他	トイレットペーパー補充、ごみ処理	
定期清掃	階段上屋内外高所ガラス面	清拭	1回/月
	駐車場床 (地下1、2階)、スロープ床 (4箇所)	水洗い及び清拭	1回/年
	階段床、地下1、2階ホール床	水洗い及び清掃	2回/年
	便所床、壁面	水洗い及び清拭	

(3) 高松シンボルタワー地下駐車場 (A=8,800 m²)

区 分	清 掃 区 域	清 掃 内 容	清掃回数
日常清掃	駐車場床 (地下1、2階)	荒ごみ等拾い掃き	1回/2日
	管理事務室	ごみ処理	随時
定期清掃	スロープ床 (2箇所)	荒ごみ等拾い掃き	1回/週
	駐車場床 (地下1、2階)、スロープ床 (2箇所)	水洗い及び清掃	1回/年

(4) 玉藻地区ハーバープロムナード第1駐車場、港湾緑地第2駐車場、港湾緑地第3駐車場

キャッスルプロムナード駐車場

(A=約4,969.10 m²)

区 分	清 掃 区 域	清 掃 内 容	清掃回数
日常清掃	駐車場部	荒ごみ等拾い	1回/日
	植栽部	荒ごみ等拾い	
定期清掃	植栽部	除草作業	1~2回/年

(5) 高松市立高松駅前広場地下駐車場 (A=18,971m²)

区 分	清 掃 区 域	清 掃 内 容	清掃回数
日常清掃	駐車場床 (地下1、2階)	荒ごみ等拾い掃き	1回/2日
	階段床 (4箇所) 地下1、2階のホール床、エレベーター床 (2基)	荒ごみ等拾い掃き	1回/日
	スロープ床 (3箇所)、エレベータードア・ 内壁、操作盤、案内板、掲示板、階段上屋内外 低所ガラス面	清拭	1回/週
	管理事務室	ごみ処理	随時
	便所床、B1便器 (多目的2、男子大2、小 2、女子大3) 便所床、B2便器 (多目的1、男子大3、小 4、女子大3)	水洗い、掃き拭き	2回/日
	灰皿、洗面台、手摺、鏡等	洗浄、磨き	1回/日
	その他	トイレトペーパー補 充、ごみ処理	
定期清掃	階段上屋内外高所ガラス面	清拭	1回/月
	駐車場床 (地下1、2階) スロープ床 (3箇 所)	水洗い及び清拭	1回/年
	階段床 (4箇所)、地下1、2階ホール床	水洗い及び清拭	2回/年
	便所床 (4箇所、多目的トイレ含む)、壁面	洗浄、清拭	

(6) 高松市立高松駅前広場地下駐輪場 (A=5,009m²)

区 分	清 掃 区 域	清 掃 内 容	清掃回数
日常清掃	駐輪場床	荒ごみ等拾い掃き	1回/2 日
	出入口階段 (3箇所)	荒ごみ等拾い掃き	1回/日
	整理員事務所	ごみ処理	随時
定期清掃	出入口上屋内外低所ガラス面	清拭	1回/週
	案内板、掲示板	清拭	
	出入口上屋内外高所ガラス面	清拭	1回/月
	出入口階段床	水洗い及び清拭	2回/年
	駐輪場床	水洗い及び清拭	1回/年

(7) 高松駅南交通広場駐車場 (A=926m²)

区 分	清 掃 区 域	清 掃 内 容	清掃回数
日常清掃	駐車場部	荒ごみ等拾い	1回/日

地下駐車場、地下駐輪場、港湾駐車場、高松駅南交通広場駐車場 清掃対象面積 内訳書

(単位：m²)

多目的広場 地下駐車場	面積	高松シンボルタワー 地下駐車場	面積	港湾 駐車場	面積	高松駅南 交通広場 駐車場	面積	高松駅前広場 地下駐車場	面積	高松駅前 広場地下 駐輪場	面積
清掃対象面積	12,900	清掃対象面積	8,200	清掃対象 面積	約 4,969.1	清掃対象 面積	926	清掃対象面積	16,000	清掃対象 面積	3,900
車路、車室	11,200	車路、車室	7,924	駐車場部、 植栽部	約 4,969.1	駐車場部	926	車路、車室	14,155	車路、車室	3,391
階段	65							階段	90	階段	210
	59								96		176
	71								75		123
小計	195							小計	33	小計	509
									294		
スロープ床	469	スロープ床	117					スロープ床	267		
	437		159						339		
	236	小計	276					小計	449		
	206								1,055		
小計	1,348										
EVホール	24							EVホール	74		
	60								305		
小計	84							小計	379		
便所	31							便所	58		
	42								59		
小計	73							小計	117		
EV	2基							EV	2基		

施設賠償責任保険 仕様書

施設賠償責任保険

項 目	内 容
保険条件	賠償責任保険普通保険約款
	施設所有管理者特別約款
総面積	
国際会議場	707・93㎡
展示場	542・35㎡
多目的広場	約8,000㎡
てん補限度額	
対人	1名1億円
	1事故5億円
対物	1事故1,000万円
免責金額	なし

項 目	内 容
国際会議場内絵画	<p>動産総合保険 「未来の扉」 四宮金一 作 保険金額 500万円 免責金額 1件につき5万円 （付帯特約）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保管中担保 ・臨時費用不担保（但し、火災・落雷・破裂・爆発の場合を除く） ・格落損害不担保特約 ・騒じょう危険不担保特約 ・使用人等の不誠実行為不担保特約 ・テロ危険等不担保特約

項 目	内 容
保険条件	賠償責任保険普通保険約款
	施設所有管理者特別約款（管理者が常駐している施設のみ）
対象施設	
多目的広場地下駐車場	地下１Ｆ・２Ｆ（302 台）、管理室、車路、通路等 15,142.75 ㎡ エレベーター２機
シンボルタワー地下駐車場	地下１Ｆ・２Ｆ（218 台）、管理室、車路、通路等 9,165.68 ㎡ エレベーター２機
高松駅前広場地下駐車場	地下１Ｆ・２Ｆ（396 台）、管理室、車路、通路等 18,971 ㎡ エレベーター２機
高松駅前広場地下自転車駐車場	地下１Ｆ（2,411 台）、管理室、車路、通路等 5,009 ㎡ 自転車用エスカレーター３機
玉藻地区ハーバープロムナード第 １ 駐車場	地上１Ｆ（33 台）車路、通路等 1,165.90 ㎡
港湾緑地第２駐車場	地上１Ｆ（50 台）車路、通路等 1,493.20 ㎡
港湾緑地第３駐車場	地上１Ｆ（10 台）車路、通路等 1,940.00 ㎡
キャッスルプロムナード駐車場	地上１Ｆ（10 台）車路、通路等 約 370 ㎡
高松駅南交通広場駐車場	地上１Ｆ（36 台）車路、通路等 926 ㎡
てん補限度額	
自動車	
多目的広場地下駐車場	120,600 千円
シンボルタワー地下駐車場	96,300 千円
高松駅前広場地下駐車場	148,500 千円
高松駅前広場地下自転車駐車場	4,550 千円（受託物）
施設・昇降機 （自転車用エスカレーター含む）	
対人	1 名 1 億円
	1 事故 5 億円
対物	1 事故 1,000 万円
免責金額	なし

「香川県観光情報センター（かがわプラザ）受付業務」業務仕様書

1. 委託業務の名称

香川県観光情報センター受付業務

2. 業務目的

香川県観光情報センター（以下「かがわプラザ」という。）の来館者に対する案内等に従事し、施設の整備の趣旨及び施設の公共性を踏まえ業務の遂行に努めるものとする。

3. 業務体制

来館者への案内等が円滑に実施可能な人員を配置すること

4. 業務日等

(1) 業務日

＊休館日： 12月29日から翌年1月3日

その他休館日と定める日

(2) 業務時間

午前8時45分から午後6時15分まで（1時間の休憩時間を含む。）とする。

5. 業務内容

(1) 受付業務

- ① 来館者の受付・案内
- ② 来館者への簡易な観光情報の案内や説明
- ③ 赤ちゃんルームの管理
- ④ けが人及び病人に対する応急処置
- ⑤ 来館者の危険行為及び禁止行為に対する注意
- ⑥ 簡易なクレームに対する対応
- ⑦ 緊急時における来館者の誘導
- ⑧ 遺失物、拾得物の受付
- ⑨ 館内の簡易な清掃及び整理整頓
- ⑩ パンフレット等の補充
- ⑫ その他、上記業務に付随する業務

(2) 鍵の開錠・施錠業務

- ① 毎日9時にかがわプラザ正面入り口を開錠すること。
- ② 毎日18時に館内の安全確認をするとともにかがわプラザ正面入り口を施錠すること。

6. 従事者の研修内容等

防火防災協議会が実施する災害時の避難誘導等訓練に参加すること。

7. 従事者の業務実施上の留意点

- (1) 業務の実施にあたっては、常に来館者の立場に立ち、親切、丁寧、適切かつ迅速な対応を心がけること。
- (2) 業務時間内の私語、遅刻や無断欠勤は厳に慎むこと。
- (3) 業務時間内は、名札を付けること。また、服装は常に清潔にしておくこと。

多目的広場植栽管理業務仕様書

1. 植栽管理費

(1) 多目的広場植栽管理内訳

項 目	数 量	単位	回数	摘 要
剪定	104	本	1	常緑＝松 4 4 落葉＝オオシマザクラ 1 3、カ ワツザクラ 1、ケヤキ 1 8 ヤマモミジ 1 1 本
高木防除	104	本	1	

※台風等による不測の被害復旧は含まない。

2. 植栽修繕費

(1) 多目的広場植栽修繕内訳

項 目	数 量	単位	回数	摘 要
高木植替え	2	本	1	ケヤキ
	1	本	1	黒松
中木植替え	2	本	1	カワツザクラ
	50	本	1	
高木修正			5	